

令和元年度 業務実績報告書

(第3期中期計画・第1事業年度)

令和2年6月



地方独立行政法人 静岡県立病院機構

目 次

I 機構の概要 (平成31年4月1日現在)

1	名 称	1
2	所 在 地	1
3	法人の設立年月日	1
4	設 立 団 体	1
5	目 的	1
6	業 務	1
7	資本金の額	1
8	代表者の役職氏名	1
9	役 員	2
10	組 織 図	2
11	法人が運営する病院の概要	3

II 当該事業年度における業務実績報告

1	対 象 期 間	5
2	業務実績全般	5
	(1) 機構全体	5
	(2) 総合病院	15
	(3) こころの医療センター	16
	(4) こども病院	17
3	県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため にとるべき措置	18
	(1) 医療の提供	18
	(2) 医療従事者の確保及び質の向上	22
	(3) 医療に関する調査及び研究	23
	(4) 医療に関する地域への支援	27
	(5) 災害等における医療救護	28
4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	28
	(1) 効率的な業務運営体制の強化	28
	(2) 事務部門の専門性の向上	29
	(3) 収益の確保と費用の節減	29
5	項目別実績	30
	(参考) 用語解説	64

【数値の表記方法について】

この報告書内の数値は表示単位未満を四捨五入のため、各項目の和と総計が一致しない場合がある。



静岡県立総合病院

 地方独立行政法人 静岡県立病院機構

Shizuoka Prefectural Hospital Organization

ともにつくる 信頼と安心の医療

静岡県における保健医療施策として求められる高度又は特殊な医療の提供、地域医療の支援等を行うことにより、県内医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とする



静岡県立こころの医療センター



静岡県立こども病院

I 機構の概要 (平成31年4月1日現在)

1 名称

地方独立行政法人静岡県立病院機構

2 所在地

静岡市葵区北安東四丁目27番1号

3 法人の設立年月日

平成21年4月1日

4 設立団体

静岡県

5 目的

静岡県における保健医療施策として求められる高度又は特殊な医療の提供、地域医療の支援等を行うことにより、県内医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与する。

6 業務

(1) 病院の名称及び所在地

名 称	所 在 地
静岡県立総合病院	静岡市葵区北安東
静岡県立こころの医療センター	静岡市葵区与一
静岡県立こども病院	静岡市葵区漆山

(2) 業務の範囲

- ・医療を提供すること。
- ・医療に関する調査及び研究を行うこと。
- ・医療に関する技術者の研修を行うこと。
- ・医療に関する地域への支援を行うこと。
- ・災害等における医療救護を行うこと。
- ・及び上記の附帯業務。

7 資本金の額

6,822,733,469円

8 代表者の役職氏名

理事長 田 中 一 成

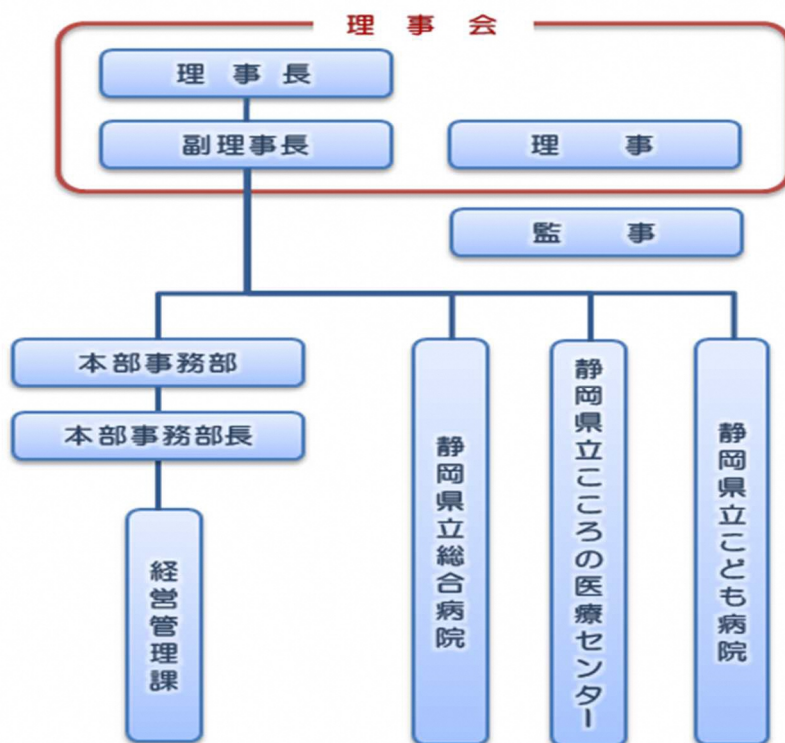
9 役 員

(平成31年4月1日現在)

役 員 名	区 分	氏 名
理 事 長	常 勤	田 中 一 成
副 理 事 長	常 勤	山 口 重 則
理 事	常 勤	村 上 直 人
理 事	常 勤	坂 本 喜 三 郎
理 事	非 常 勤	柏 崎 順 子
理 事	非 常 勤	椎 名 正 樹
理 事	非 常 勤	中 村 彰 宏
理 事	非 常 勤	星 野 希 代 絵
監 事	非 常 勤	齋 藤 安 彦
監 事	非 常 勤	高 橋 純 子

(定款に定めた定数 理事長1名・副理事長1名・理事7名以内・監事2名)

10 組 織 図



○ 全職員数 (平成31年4月1日現在、現員)

医 師 ※	441名
看 護 師	1,366名
医 療 技 術	333名
事 務 ほ か	125名
計	2,265名

※職員数には、アソシエイトを含む。また、医師には歯科医師5名、自治医大初期研修医4名、へき地指定公立病院派遣医2名、有期職員医師153名を含む。

※職員の増減状況は、14ページ参照。

11 法人が運営する病院の概要

(1) 病院の名称・所在地等

(平成31年4月1日現在)

区分	地方独立行政法人 静岡県立病院機構		
病院名	総合病院	こころの医療センター	こども病院
所在地	静岡市葵区北安東 4丁目27-1	静岡市葵区与一 4丁目1-1	静岡市葵区漆山860番地
開設年月日	昭和58年2月1日	昭和31年11月1日	昭和52年4月1日
診療科 (医療法)	内科、救急科、心療内科、精神科、循環器内科、心臓血管外科、腎臓内科、泌尿器科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、脳神経外科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、呼吸器外科、産婦人科、乳腺外科、小児科、整形外科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、血液内科、皮膚科、形成外科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、病理診断科、腫瘍内科	精神科、内科、外科、歯科	小児科、小児救急科、新生児小児科、血液・腫瘍内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、アレルギー科、神経内科、循環器内科、皮膚科、小児外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科、歯科、麻酔科、放射線科、産科、精神科、児童精神科、臨床検査科、病理診断科、リハビリテーション科
	31科	4科	29科
許可病床数 (元年度)	一般 662床 結核 50床	精神 280床 (稼働172床)	一般 243床 (稼働235床) 精神 36床
年間延患者数 (元年度実績)	入院 225,595人 外来 448,945人	入院 54,037人 外来 39,647人	入院 75,736人 外来 111,874人
理念	信頼し安心できる質の高い全人的医療を行います	安全・良質・優しいこころの医療を、いつでもどこでも誰にでも	私たちは、すべての子どもと家族のために、安心と信頼の医療を行います
備考	昭和23年6月 中央病院 昭和33年3月 富士見病院	「養心荘」 平成9年4月1日名称変更	

※昭和39年4月1日 中央病院、富士見病院、養心荘の3病院で病院事業会計開始。

(2) 施設状況

(平成31年4月1日現在)

区分	病棟		許可 病床数	内 容
総 合	本館	3A	40	産婦人科、小児科（新生児）、消化器外科、病院管理ベッド
		3B	36	小児科、頭頸部・耳鼻いんこう科、救命救急科、形成外科、病院管理ベッド
		4A	44	総合内科、皮膚科、整形外科
		4B	46	腎臓内科、泌尿器科
		4D	41	血液内科、眼科、歯科口腔外科、病院管理ベッド
		5A	46	消化器外科、泌尿器科、病院管理ベッド
		5B	47	消化器内科、消化器外科、腫瘍内科、病院管理ベッド
		6A	42	整形外科、消化器内科、病院管理ベッド
		6B	50	結核
		6C	48	呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科
	6D	39	呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、放射線科	
	北館	3E	40	整形外科、脳神経内科、救急科
		4E	34	消化器外科、乳腺外科、形成外科、循環器内科、病院管理ベッド
		5E	18	緩和医療科
	循環器病 センター	1G	12	救命救急科
		3G	14	集中治療室（ICU）、冠疾患集中治療室（CCU）
4G		47	循環器内科、心臓血管外科	
5G		48	脳神経内科、脳神経外科、病院管理ベッド	
先端医学棟	4M	20	高度治療室（HCU）	
	計	712	(稼働712床)	
こ こ ろ	北1	42	医療観察法12床、慢性重症30床	
	北2	45	救急	
	北3	54	(休棟)	
	南1	42	回復期	
	南2	43	救急	
	南3	54	(休棟)	
	計	280	(稼働172床)	
こ ど も	北2	36	新生児集中治療室（NICU）、回復治療室（GCU）	
	北3	30	内科系乳幼児	
	北4	28	感染観察	
	北5	28	内科系幼児学童	
	西2	24	産科、母体胎児集中治療室（MFICU）	
	西3	25	循環器科	
	CCU	12	循環器集中治療室（CCU）	
	PICU	12	小児集中治療室（PICU）	
	西6	48	外科系	
	東2	36	こころの診療科	
	計	279	(稼働271床)	

II 当該事業年度における業務実績報告

1 対象期間

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの1年間
(中期計画の期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間)

2 業務実績全般

(1) 機構全体

ア 総括

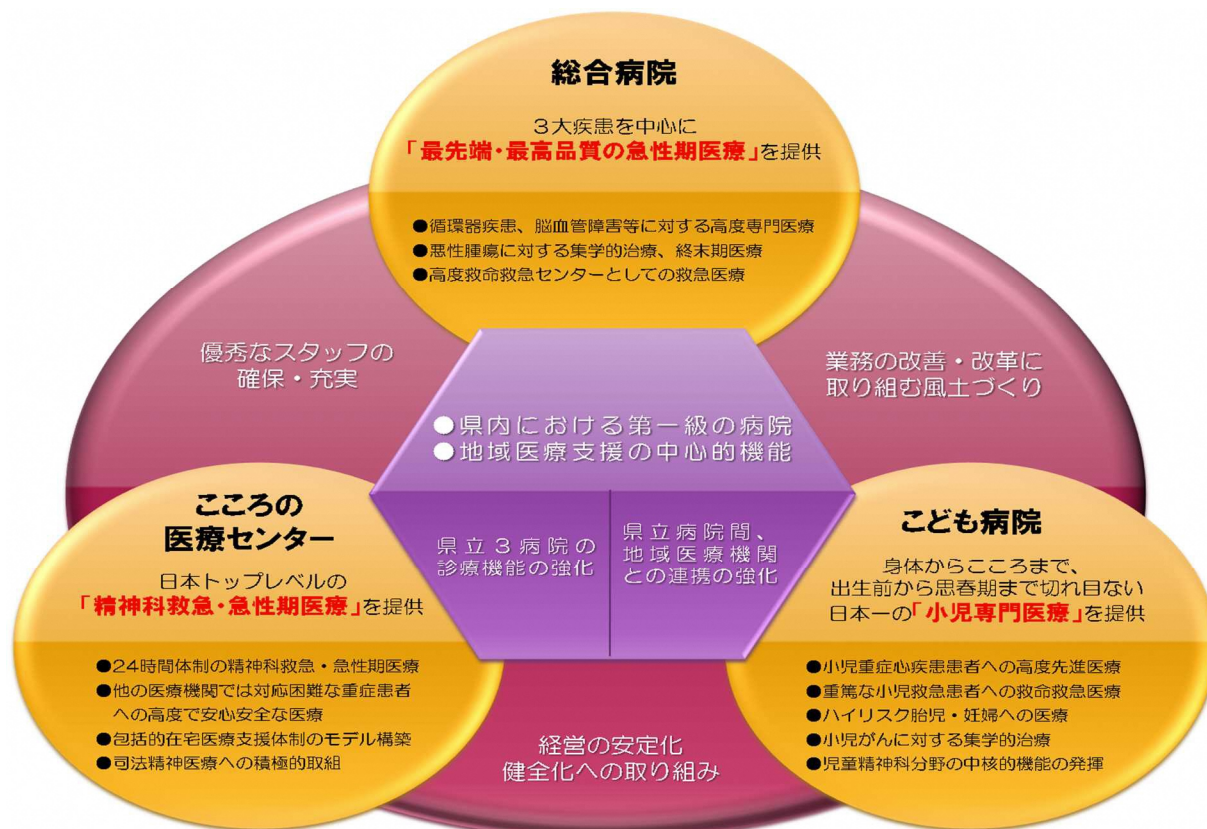
静岡県立病院機構は、高度・専門・特殊医療や救急・急性期医療等の分野において第一級の病院であること及び地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、地方独立行政法人の特徴である機動性や効率性等を發揮した病院経営に取り組んでいる。

法人化11年目となる令和元年度の経営状況(3病院計)は、入院延患者数は年度計画(以下「計画」)を下回ったが、外来延患者数は計画を上回った。

収支は、経常損益が431百万円(経常収支比率100.9%)、当期純利益が302百万円となり、地方独立行政法人化後11年連続で黒字決算を達成した。

引き続き、本機構は、医療の質を高め、高度・専門・特殊医療や救急・急性期医療等に積極的に取り組み、医療面では充実した質の高い医療を提供し、経営面では機能的で効率的な病院経営を推進し、本県の医療の確保と向上に貢献していく。

県立病院機構が目指す病院像



イ 業務実績

(ア) 入院診療

- ・ 総合病院は、年度計画（以下「計画」）を下回る延患者数(▲10,150人)だが、患者1人1日当たり入院単価（以下、入院単価：入院収益÷年延入院患者数）は計画を上回った。（+2,804円）。
- ・ こころの医療センターは、計画を下回る延患者数(▲3,025人)となり、入院単価も計画を下回った（▲469円）。
- ・ こども病院は、計画を上回る延患者数（+1,660人）だが、入院単価は計画を下回った（▲736円）。

(イ) 外来診療

- ・ 総合病院は、計画を上回る延患者数（+17,945人）となり、外来単価（以下、外来単価：外来収益÷年延外来患者数）も計画を上回った（+945円）。
- ・ こころの医療センターは、計画を下回る延患者数（▲1,358人）だが、外来単価は計画を上回った（+184円）。
- ・ こども病院は、計画を上回る延患者数（+921人）となり、外来単価も計画を上回った（+651円）。

○ 令和元年度 業務量及び単価等実績（税込）

区 分		総 合	こころ	こども	合計
入 院	入院延患者数(人)	225,595 (235,745)	54,037 (57,062)	75,736 (74,076)	355,368 (366,883)
	病床稼働率(%)	一般91.1 (一般95.2)	85.8 (90.6)	76.4 (74.7)	86.6 (89.5)
	入院患者1人 1日当たり単価(円)	82,992 (80,188)	24,804 (25,273)	97,719 (98,455)	77,282 (75,335)
外 来	外来延患者数(人)	448,945 (431,000)	39,647 (41,005)	111,874 (110,953)	600,466 (582,958)
	外来患者1人 1日当たり単価(円)	21,964 (21,019)	6,508 (6,324)	14,131 (13,480)	19,484 (18,556)

※（ ）書きは、計画数値を示す。

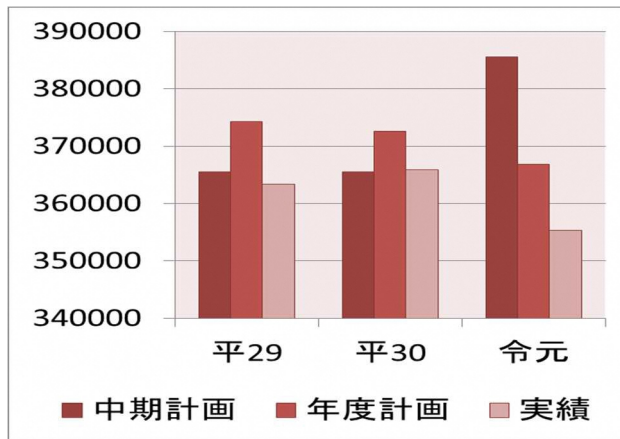
※患者1人1日当たり単価は税込金額（調定額ベースで算定）。

※病床稼働率は、総合662床、こころ172床、こども271床で算定。

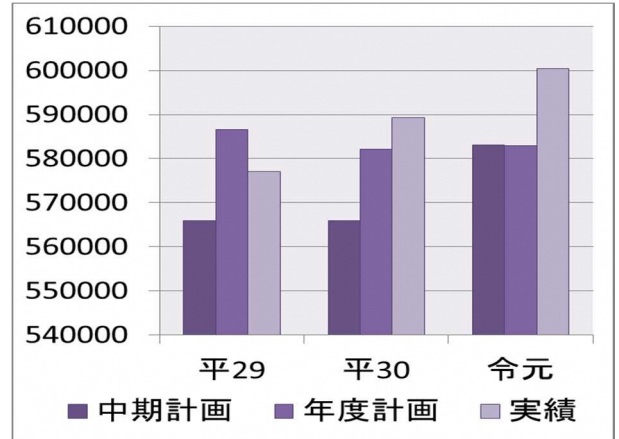
<参考資料>

○患者数の推移 (29年度実績～元年度)

入院延患者数 (3病院計) (単位:人)



外来延患者数 (3病院計) (単位:人)



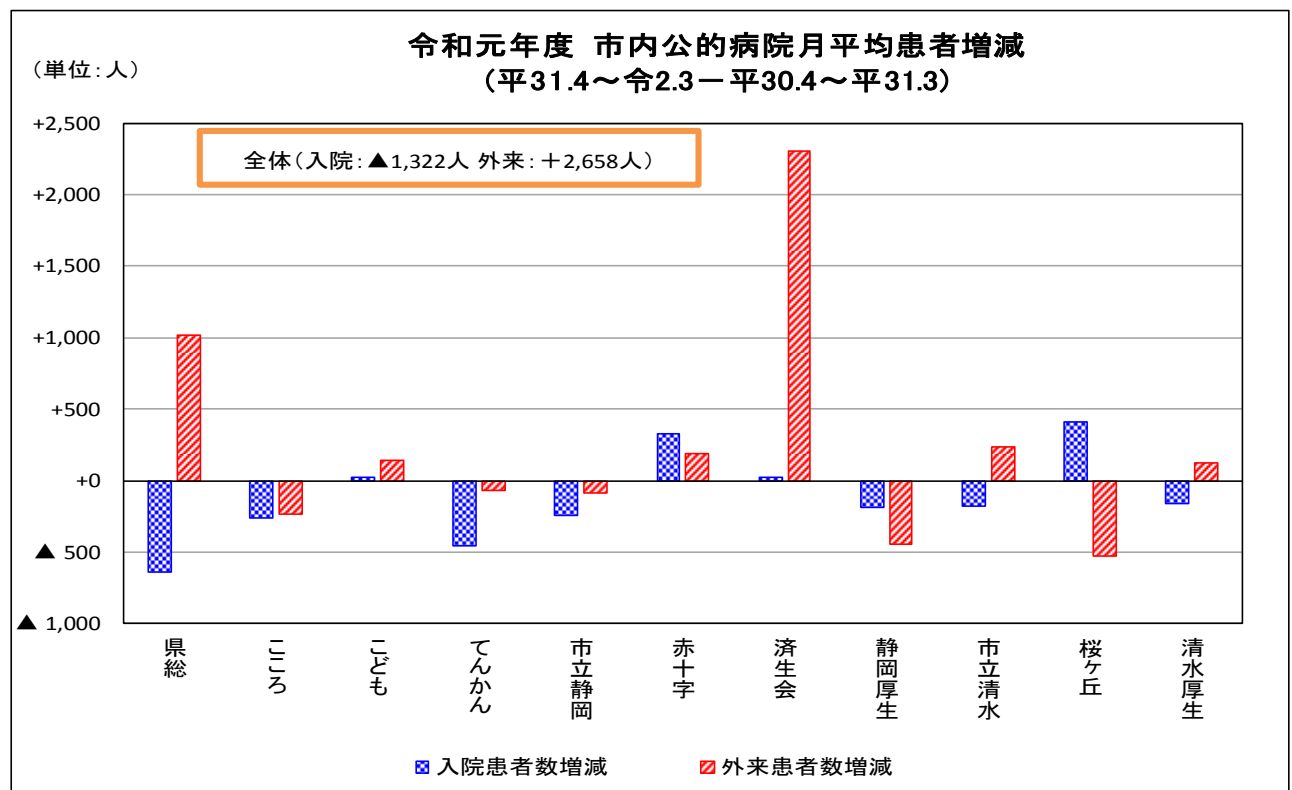
- 元年度は入院延患者数が中期計画、年度計画を下回るが、外来延患者数は中期計画、年度計画を上回った。

○市内公的病院患者動向 (月平均延患者数: 平31.4～令元.3-平30実績比較)

(単位:人)

区分	県 総	こころ	こども	てんかん	市立静岡	赤十字	済生会	静岡厚生	市立清水	桜ヶ丘	清水厚生	合計	
入院	令元	18,800	4,503	6,311	8,954	13,738	12,869	14,207	5,489	10,800	2,816	3,608	102,095
	平30	19,442	4,768	6,283	9,407	13,982	12,539	14,179	5,673	10,975	2,404	3,765	103,417
	差	▲ 642	▲ 265	+28	▲ 453	▲ 244	+330	+28	▲ 184	▲ 175	+412	▲ 157	▲ 1,322
外来	令元	37,412	3,304	9,323	2,882	23,231	16,330	21,853	7,008	15,106	5,294	7,041	148,784
	平30	36,392	3,534	9,182	2,951	23,319	16,144	19,545	7,451	14,874	5,818	6,916	146,126
	差	+1,020	▲ 230	+141	▲ 69	▲ 88	+186	+2,308	▲ 443	+232	▲ 524	+125	+2,658

- 市内公的病院の入院延患者は減少傾向にあり、総合病院とこころの医療センターにおいても減少した。
- 市内公的病院の外来延患者は増加傾向にあり、総合病院とこども病院においても増加した。



(ウ) 令和元年度収支 (税込)

① 収益的収支 (税込)

(単位:千円)

区分	款	項	最終予算額 (計画)	決算額 (実績)	増減額 (達成度)	決算額 (前年度)	増減額 (前年比)
収益	営業 収益	医業収益	41,124,662	39,778,092	▲ 1,346,570	38,579,826	1,198,266
		運営費負担金収益	6,838,000	6,840,818	2,818	6,827,371	13,447
		その他営業収益	601,597	642,005	40,408	513,281	128,724
		小計	48,564,259	47,260,915	▲ 1,303,344	45,920,477	1,340,438
	営業外 収益	運営費負担金収益	162,000	159,182	▲ 2,818	172,629	▲ 13,447
		その他営業外収益	311,206	301,630	▲ 9,576	291,917	9,714
		小計	473,206	460,812	▲ 12,394	464,546	▲ 3,733
	臨時利益	臨時利益	25,000	25,000	0	0	25,000
		計	49,062,465	47,746,727	▲ 1,315,738	46,385,023	1,361,704
費用	営業 費用	医業費用	47,831,415	46,301,294	▲ 1,530,121	44,383,393	1,917,901
		一般管理費	393,854	356,878	▲ 36,976	349,722	7,156
		小計	48,225,269	46,658,171	▲ 1,567,098	44,733,114	1,925,057
	営業外 費用	財務費用	292,873	285,598	▲ 7,275	303,575	▲ 17,976
		その他営業外費用	377,114	346,610	▲ 30,504	349,534	▲ 2,924
		小計	669,987	632,209	▲ 37,778	653,109	▲ 20,900
	臨時損失	臨時損失	293,920	154,800	▲ 139,120	261,144	▲ 106,345
	計	49,189,176	47,445,180	▲ 1,743,996	45,647,368	1,797,812	
	経常利益	142,209	431,347	289,138	998,800	▲ 567,452	
	当期純利益	▲ 126,711	301,548	428,259	737,656	▲ 436,108	

※単位未満四捨五入のため各項目の和と総計が一致しない場合がある(以下同様)。

- ・ 医業収益は、総合病院、こころの医療センターで入院延患者数が計画を下回ったことなどから、計画を1,346,570千円下回ったが、経費(計画比▲610,750千円)、材料費(計画比▲375,574千円)等が計画を下回ったため、医業費用についても計画を1,530,121千円下回った。
- ・ 結果として、経常損益は431,347千円で、計画を289,138千円上回り、経常収支比率100%以上(100.9%)を達成した。
- ・ 当期純利益は301,548千円で、計画を428,259千円上回った。

② 資本的収支実績 (税込)

(単位:千円)

区分	款	項	最終予算額 (計画)	決算額 (実績)	増減額 (達成度)	決算額 (前年度)	増減額 (前年比)
収入	資本 収入	長期借入金	4,840,000	2,371,000	▲2,469,000	4,270,900	▲1,899,900
		長期貸付金回収額	-	50,450	50,450	44,400	6,050
		補助金・寄附金等	-	8,770	8,770	45,117	▲36,347
		計	4,840,000	2,430,220	▲2,409,780	4,360,417	▲1,930,197
支出	資本 支出	建設改良費	4,920,057	2,423,954	▲2,496,103	4,407,251	▲1,983,297
		償還金	3,195,957	3,195,954	▲3	3,131,188	64,766
		長期貸付金	194,800	131,023	▲63,778	165,600	▲34,578
		計	8,310,814	5,750,931	▲2,559,883	7,704,039	▲1,953,108
総	収	支	▲3,470,814	▲3,320,711	150,103	▲3,343,622	22,911

(エ) 病院別収支

③ 収益的収支実績 (税込)

(単位: 千円)

款	項	総合	こころ	こども	法人計
営業 収益	医 業 収 益	29,098,221	1,607,673	9,072,198	39,778,092
	運営費負担金収益	2,654,274	1,065,901	3,120,643	6,840,818
	その他営業収益	412,190	50,021	179,794	642,005
	小 計	32,164,685	2,723,595	12,372,635	47,260,915
営業外 収益	運営費負担金収益	85,726	14,099	59,357	159,182
	その他営業外収益	251,986	9,126	40,519	301,630
	小 計	337,712	23,225	99,876	460,812
臨時利益	臨 時 利 益	25,000	0	0	25,000
収 益 計 (予 算 額 ※ < 計 画 >) (増 減 額)		32,527,397 (33,379,578) (▲ 852,181)	2,746,820 (2,819,658) (▲ 72,838)	12,472,511 (12,863,229) (▲ 390,718)	47,746,727 (49,062,465) (▲ 1,315,738)
営業費 業用	医 業 費 用	31,786,665	2,512,042	12,002,587	46,301,294
	一 般 管 理 費	118,959	118,959	118,959	356,878
	小 計	31,905,624	2,631,001	12,121,547	46,658,171
営業外 費用	財 務 費 用	158,680	21,686	105,232	285,598
	その他営業外費用	259,801	11,205	75,605	346,610
	小 計	418,481	32,891	180,836	632,209
臨時損失	臨 時 損 失	143,870	7,672	3,257	154,800
費 用 計 (予 算 額 ※ < 計 画 >) (増 減 額)		32,467,975 (33,573,005) (▲ 1,105,029)	2,671,564 (2,747,040) (▲ 75,476)	12,305,640 (12,869,131) (▲ 563,491)	47,445,180 (49,189,176) (▲ 1,743,996)
経 常 利 益 (予 算 額 ※ < 計 画 >) (増 減 額)		178,292 (401) (177,890)	82,928 (91,229) (▲ 8,301)	170,128 (50,579) (119,549)	431,347 (142,209) (289,138)
当 期 純 損 益 (予 算 額 ※ < 計 画 >) (増 減 額)		59,421 (▲ 193,427) (252,848)	75,256 (72,618) (2,638)	166,870 (▲ 5,902) (172,772)	301,548 (▲ 126,711) (428,258)

- ・ 総合病院の経常損益は178,292千円で、計画を177,890千円上回った。立体駐車場の完成に伴い、外来患者数が増加したことなどが要因である。
- ・ こころの医療センターの経常損益は82,928千円で、計画を8,301千円下回った。これは、司法病棟への入院患者数等が減ったことにより、医業収益が計画を下回ったことなどが要因である。
- ・ こども病院の経常損益は170,128千円で、計画を119,549千円上回った。これは、外来患者数・単価の増加により診療収益が計画を上回ったことなどが要因である。

① 資本的収支 (税込)

(単位：千円)

款	項	総合	こころ	こども	法人計
資本収入	長期借入金	1,773,000	165,000	433,000	2,371,000
	長期貸付金回収額	37,333	3,027	10,090	50,450
	その他収入	6,544	0	2,226	8,770
	計	1,816,877	168,027	445,316	2,430,220
資本支出	建設改良費	1,797,404	170,531	456,019	2,423,954
	償還金	1,860,775	296,142	1,039,037	3,195,954
	長期貸付金	96,957	7,861	26,205	131,023
	計	3,755,135	474,535	1,521,260	5,750,931
総収支	▲ 1,938,259	▲ 306,508	▲ 1,075,945	▲ 3,320,711	

- 元年度の建設改良費は2,423,954千円で、その内訳は、3病院の器械備品等資産購入が1,045,255千円(A)、建設改良工事が1,378,699千円(B)となった。(A)の主なものとしては、総合病院で手術顕微鏡及び録画用システム、人工心肺装置、外科用X線撮影装置を整備、こども病院で一般X線発生装置を整備した。(B)の主なものとしては、総合病院の第I期リニューアル工事、こころの医療センターの院内トイレ改修工事、こども病院の本館リニューアル工事等である。
- また、長期貸付金131,023千円は、看護師確保対策として、当機構に就職を希望する看護学生に対して修学資金の貸付を行ったほか、職員の育成及び資質向上等を目的に、職員に対し資格等の取得に必要な資金の貸付を行ったものである。

(オ) 決算指標実績<3病院計> (税込)

区分	項目	計画	実績	増減
収支構造	経常収支比率 (%)	100.3	100.9	+0.6
	医業収支比率 (%)	85.4	85.9	+0.5
収入構造	病床稼働率 (%)	89.5	86.6	▲2.9
	入院患者1人1日当たり単価 (円)	75,335	77,282	+1,947
	外来患者1人1日当たり単価 (円)	18,556	19,484	+928
費用構造	職員給与比率 (%)	58.2	56.4	▲1.8
	材料費比率 (%)	31.1	33.2	+2.1

※患者1人1日当たり単価は、調定額ベースで算定。病床稼働率は、3病院の稼働病床数で算定。

- 収支構造の各指標は、経常収支比率が計画を0.6ポイント上回る100.9%となった。また、医業収支比率は計画を0.5ポイント上回る85.9%となった。
- 収入構造では、入院患者1人1日当たり単価は計画を1,947円上回り、外来患者1人1日当たり単価は、計画を928円上回った。収益確保の取り組みとしては、総合病院では、手術室の効率的な運用による手術件数の増加や入院センターによるベッドコントロールを実施した。こころの医療センターでは、医療観察法対象患者のうち、本県以外の対象患者についても、要請に応じて積極的に受け入れる等、病床稼働率の向上に向けて取り組んだ。こども病院では手術件数の増加に伴う患者数の増加から外科系病棟等での効率的なベッドコントロールを実施している。
- 費用構造では、職員給与比率、材料費比率はそれぞれ計画比1.8ポイント減、2.1ポイント増となった。

【収支構造】

- ・ 経常収支比率 $\text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$
病院が安定した経営を行うための財政基盤を確保するための指標で、適正な区分負担を前提として100%以上が望ましい。
- ・ 医業収支比率 $\text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$
医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標で、100%以上が望ましい。

【収入構造】

- ・ 病床稼働率 $\text{年間延入院患者数} \div \text{年延病床数 (稼働病床} \times \text{暦日数)} \times 100$
病院の施設が有効に活用されているか判断する指標である。
- ・ 入院患者1人1日当たり単価 $\text{入院収益} \div \text{年延入院患者数}$
- ・ 外来患者1人1日当たり単価 $\text{外来収益} \div \text{年延外来患者数}$
病院の収入分析をするうえで基本的な指標。収入を増加させるため、患者数(量的要素)と1人当たりの収入(質的要素)が重要となる。

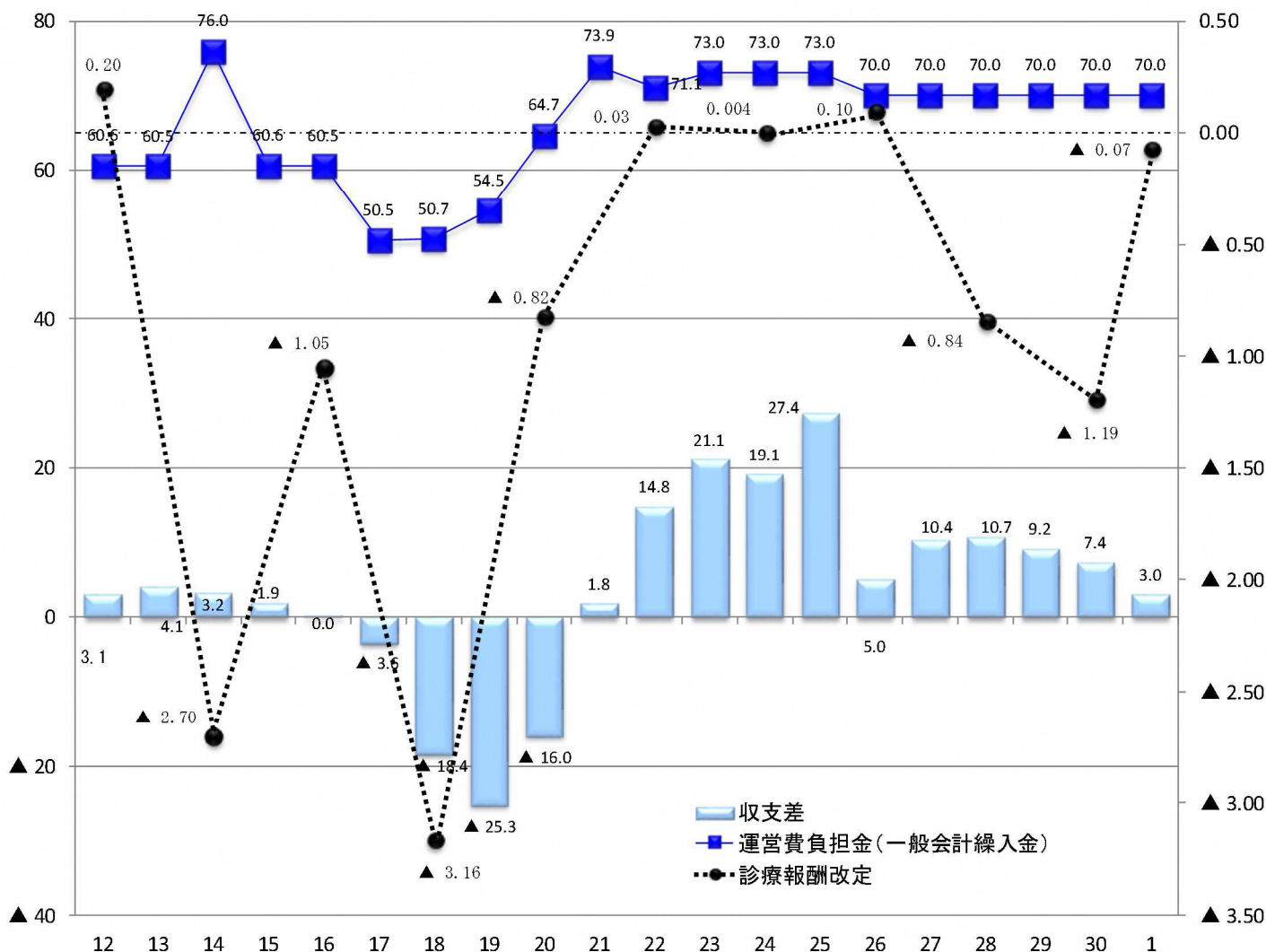
【費用構造】

- ・ 職員給与比率(職員給与費対医業収益比率) $\text{職員給与費} \div \text{医業収益} \times 100$
病院の職員数等が適正であるか判断する指標。職員給与費をいかに適切なものとするかが病院経営の重要なポイントである。
- ・ 材料費比率(材料費対医業収益比率) $\text{材料費} \div \text{医業収益} \times 100$
この比率が高い場合、材料費の購入価格(方法)を見直し、材料費の削減を図る必要がある。(薬品・診療材料・その他)

(力) 決算状況の推移 (収支と繰入金(県負担金)・診療報酬の改定) (3病院計)

収支差(億円)
一般会計繰入金(億円)

診療報酬改定 実質引上率(%)
(診療報酬+薬価・材料)



- ※ 平成14年度の一般会計繰入金75.98億円には、がんセンター開院準備経費分15.44億円を含む。
- ※ 平成17年度から平成19年度までは繰入金10億円を抑制(県財政事情を勘案)。
- ※ 平成21年度から地方独立行政法人へ移行したため、一般会計繰入金は運営費負担金に名称変更。
- ※ 平成24年度の診療報酬改定率は薬価部分を市場価格の下落を反映して1.375%引き下げの一方、医師の診療行為や入院料などの本体部分は1.379%引き上げた結果、実質的な改定率は+0.004%となった。
- ※ 平成26年度の診療報酬改定率は、薬価及び材料価格の改定を0.63%引き下げの一方、本体部分を0.73%引き上げた結果、全体改定率は+0.10%となった。(消費税率引上げ対応分を除いた実質改定率は▲1.26%)
- ※ 平成28年度の診療報酬改定率は、薬価及び材料価格の改定をそれぞれ1.22%、0.11%引き下げの一方、本体部分を0.49%引き上げた結果、全体改定率は▲0.84%となった。
- ※ 平成30年度の診療報酬改定率は、薬価及び材料価格の改定をそれぞれ1.65%、0.09%引き下げの一方、本体部分を0.55%引き上げた結果、全体改定率は▲1.19%となった。
- ※ 令和元年度の診療報酬改定率は、薬価の改定を0.51%引き下げ、材料価格の改定を0.03%引上げ、本体部分を0.41%引き上げた結果、全体改定率は▲0.07%となった。

(キ) 職員の状況 (各年度4月1日現在)

① 正規職員

(単位:人)

区分	総合		こころ		こども		本部		計	
	令元	令2	令元	令2	令元	令2	令元	令2	令元	令2
医師	179	184	14	13	90	91	-	1	283	289
歯科医師	4	6	-	-	1	1	-	-	5	7
看護師	807	829	120	124	436	444	3	1	1,366	1,398
看護師	803	826	120	124	436	444	3	1	1,362	1,395
准看護師	4	3	-	-	-	-	-	-	4	3
医療技術	226	237	25	26	82	84	-	-	333	347
研究員	2	2	-	-	-	-	-	-	2	2
事務	53	59	11	12	27	28	32	32	123	131
計	1,271	1,317	170	175	636	648	35	34	2,112	2,174

※アソシエイトを含む。

② 有期職員

(単位:人)

区分	総合		こころ		こども		本部		計	
	令元	令2	令元	令2	令元	令2	令元	令2	令元	令2
医師	91	96	3	4	58	46	1	0	153	146
歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-
看護師	64	62	9	10	14	16	-	-	87	88
看護師	64	62	9	10	13	15	-	-	86	87
准看護師	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1
医療技術	29	24	3	3	15	15	-	-	47	42
研究員	8	12	-	-	-	-	-	-	8	12
事務	156	149	9	11	56	47	7	10	230	217
補助職員	90	83	3	9	25	30	1	1	125	123
計	438	426	35	37	168	154	9	11	650	628

※補助職員:看護助手、薬剤助手、放射線助手、検査助手等

※短期間特別研修医は含まない。

(ク) 令和2年度職員の採用状況 (令和元年度採用試験実施状況) (令和2年3月末現在)

- 看護師の採用については、定期募集を年4回、経験者募集を年7回計画し、募集を行っている。きめ細やかな対策を迅速に実施することができ、看護師採用数の確保につながった。
- 人材確保のため、県内の養成校への訪問や修学資金の拡充の継続(貸与時期2期制等)、支度金制度の実施、病院見学会の旅費の拡充(市外 最大5万円)、静鉄電車・バス等へのポスター掲載等きめ細やかな対策を迅速に実施し、必要な看護師を採用している。(平27 149人、平28 136人、平29 113人、平30 113人、令元 123人)
- また、看護学生向けに就職情報を提供する民間事業者が開催する合同就職説明会への参加や就職情報サイトへの情報掲載等を積極的に行うと共に、看護師就職説明会において、看護学生を集めるために説明会展の周知メールの送信、当日は、看板等の設置やノベルティの配布を行った。
- 医療技術については26人(薬剤師(一般)5人、薬剤師(経験者)1人、診療放射線技師(一般)5人、臨床検査技師(一般)2人、理学療法士(経験者)2人、医療ソーシャルワーカー(一般)2人、医療ソーシャルワーカー(経験者)3人、精神保健福祉士(一般)1人、心理療法士(一般)1人、医療保育(経験者)1人、視能訓練士(一般)1人、遺伝カウンセラー(一般)1人、言語聴覚アソシエイト1人)を確保した。
- 事務については、正規職員1人、アソシエイト3人を確保した。(このうち、正規職員1人は、令和2年6月1日付け採用)

(単位：人)

区 分	令元試験実施 【令2採用】	平30試験実施 【令元採用】	差引
看護 師	123	113	10
事 務	4	3	1
医療 技術	26	31	▲5
計	153	147	6

※前倒し採用は試験実施年度に集計。

令和元～2年度 職員数の推移

(単位：人)

区 分	平31.4.1 現員数 a	元年度中 採用者数 b	元年度中退職者数		令2.3.31 現員数 e=a+b-c+d	令2.4.1 採用者数 f	令2.4.1 現員数 g=e-d+f	
			C	うち令2.3.31 退職者数 d				
医師	正 規	288	8	39	28	284	34	296
	有 期	153	13	179	166	154	155	146
	計	441	21	218	194	438	189	442
看護 師	1,366	12	108	60	1,336	114	1,398	
医療 技術	333	3	13	10	332	22	347	
研 究 員	2	-	-	-	2	-	2	
事 務		123	9	2	2	130	3	131
	うちプロパー	68	9	2	2	75	3	77
計	2,265	45	341	266	2,238	328	2,320	

※ アソシエイトを含む(令元 看護6人、医療技術8人、事務6人 令2 看護9人、医療技術8人、事務14人)

※ 正規医師には、歯科医師、自治医初期研修医、へき地地診医師を含む

※ 有期医師の契約は1年更新、短期間特別研修医は除く

(ケ) 補助職員(医療秘書、助手等)の配置状況(各年度4月1日現在)

(単位：人)

区分		平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2
総合	医師事務補助	50	55	66	73	73	71	70
	看護助手	88	81	80	74	73	66	61
	コメディカル助手	18	17	18	18	19	22	20
	小計	156	153	164	165	165	159	151
こころ	医師事務補助	1	2	2	2	2	2	2
	看護助手	10	8	8	9	8	8	9
	コメディカル助手	2	2	2	2	2	2	2
	小計	13	12	12	13	12	13	13
こども	医師事務補助	18	18	18	18	19	19	20
	看護助手	19	21	22	21	21	25	22
	コメディカル助手	4	5	5	5	5	5	6
	小計	41	44	45	44	45	49	48
合計	医師事務補助	69	75	86	93	94	92	92
	看護助手	117	110	110	104	103	99	92
	コメディカル助手	24	24	25	25	26	29	28
	合計	210	209	221	222	223	220	212

(2) 総合病院

<理 念>

「信頼し安心できる質の高い全人的医療を行います」

全人的医療：身体、精神、心理、生活様式などを含めた総合的な視点から、患者さん自身の全体的な健康回復を目指す医療

<基本方針>

- 1 医療を受ける人々の立場に立ち、説明に基づく心のこもった医療を行います。
- 2 県内の中核病院として高度医療や先進的医療に取り組み、地域医療を支援します。
- 3 救急医療、災害医療、へき地医療、結核医療などの政策医療を積極的に担います。
- 4 将来の医療を担う質の高い人材を育成します。
- 5 快適な職場環境の整備と透明性の高い健全な病院運営に努めます。

<総 括>

総合病院は、県内医療機関の中核的病院として、各疾患の総合的な医療をはじめ、3大疾患（循環器疾患、脳疾患、がん疾患）に対する高度・専門医療や救急・急性期医療を提供している。

先端医学棟、循環器病センター等における最新の設備と医療機器を最大限に活用し、循環器疾患、脳疾患に対する高度・専門医療、がん疾患に対する集学的治療及び終末期医療、高度救命救急センターとしての救急医療を主要事業の三本柱として取り組んでいる。

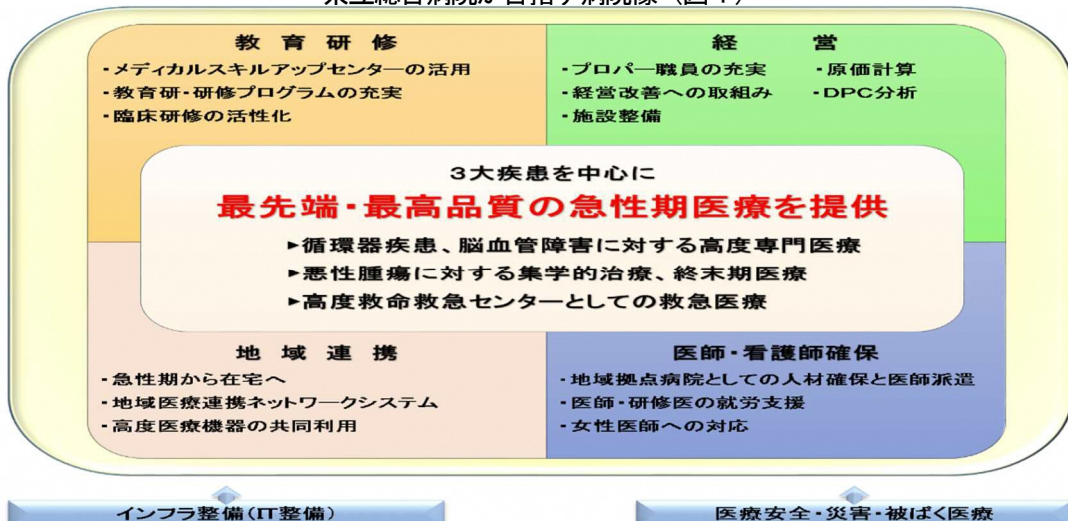
また、県内の中核的病院として、高度・専門・特殊医療を提供するため、紹介・逆紹介の推進による地域の医療機関との機能分化及び連携強化に努めている。

経営面においては、医療の高度化、手術件数増加に伴う診療材料費の増加や、化学療法実施件数増加に伴う薬品費の増加（がん治療薬：オプジーボ、アバスチン等）に対応するため、施設基準の積極的な取得の他、平均在院日数の短縮、集中治療系病棟（ERHCU、ICU、HCU）の稼働率向上や入院料加算算定件数の増加、各診療科の稼働状況にあわせた病床再編等の経営改善に取り組んでいる。

その結果、入院単価と入院収益は前年度実績を上回った。また、北立体駐車場稼働による利便性向上等の要因により、外来延患者数、外来単価、外来収益は前年度実績を上回った。

今後も県立総合病院が目指す病院像（図1）のとおり、県立病院としての役割を果たすべく、各種機能の強化に努める。

県立総合病院が目指す病院像（図1）



(3) こころの医療センター

<理 念>

安全・良質・優しいこころの医療を、いつでもどこでも誰にでも

<基本方針>

- 1 患者さんの人権と尊厳を守ります。
- 2 24時間365日、精神科救急医療を提供します。
- 3 最新の知識と技術を取り入れた高度専門医療を提供します。
- 4 手厚いチーム医療によって早期退院を目指します。
- 5 在宅医療とリハビリテーション、社会参加を支援します。
- 6 社会資源を開拓し、連携を強化します。
- 7 司法精神医療、災害医療などの公益医療に主体的に参加します。
- 8 社会人・組織人・医療人としての人材育成に努めます。
- 9 広い視野に立って研鑽を重ね、積極的に社会へ情報発信します。
- 10 健全で透明性の高い病院経営を目指します。

<総 括>

こころの医療センターでは、日本トップレベルの「精神科救急・急性期医療」を提供するため、「救急・急性期医療の充実」、「在宅医療の拡充」、「高度な医療技術の導入」及び「司法精神医療の充実」を重点的に推進し、目標とする精神科医療の体制整備（図2参照）に取り組んでいる。

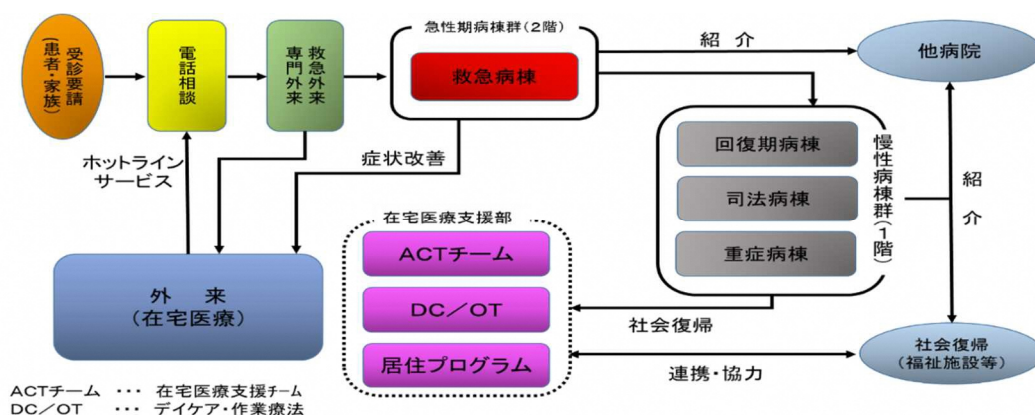
平成22年度より急性期病棟群（救急及び急性期病棟）を中心に救急・急性期患者の受け入れを行い、それを後方的に支援する慢性病棟群（回復期及び慢性重症病棟）との機能分化を進め、平成25年度には急性期病棟を救急病棟に移行する等、診療体制を強化した。平成28年度には南1病棟の一部個室化、平成30年度も引き続き個室化を進め、救急病棟、回復期病棟における病棟間の連携強化を図り、効率的な病棟運営に努めている。

一方、精神科における医療は、「入院医療中心から地域生活中心へ」という方針が世界的趨勢であることから、在宅医療支援部門を強化し、多職種チームによる地域生活での支援体制の整備と長期入院者の退院促進に取り組んでいる。

あわせて、退院後の安定的な生活を維持し、再入院を防止することを目的に、患者に対する心理・社会的治療に積極的に取り組んでいる。

また、クロザピンや修正型電気けいれん療法（m-ECT）など、高度な医療の導入に積極的に取り組むとともに、医療観察法指定入院医療機関として安定した運営を継続するなど、県内精神医療の中核病院としての役割を果たすべく取り組んでいる。

こころの医療センター診療体制（図2）



(4) こども病院

<理 念>

「私たちは、すべての子どもと家族のために、安心と信頼の医療を行います。」

<基本方針>

「患者中心の医療サービスの継続」

地域医療機関と連携し、診断・治療が困難なこどもの患者へ
質の高い効果的な医療を提供

こども病院が目指す方向 (図3)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 専 門 病 院 | 安全を重視した質の高い医療 |
| 2 教 育 | 教育内容の充実が最大目標の一つ |
| 3 地 域 連 携 | 相互支援に基づいた地域医療連携 |
| 4 効率的な病院経営 | 独善に陥らない標準的な経営と改善努力 |
| 5 働きやすい病院 | スタッフの満足度が高い労働環境 |

*平成24年4月改定



<総 括>

こども病院は、昭和52年度の開院以来、静岡県の地域医療、小児医療に貢献するという設立趣旨に則り、高度かつ先進的な医療を実践してきた。

現在では、県内小児医療の中核病院として、循環器疾患医療、小児救急医療、周産期医療、小児がん医療、児童精神科医療を中心に、すべての小児の健康問題に対応可能な小児専門総合医療施設として、質の高い医療を県民に提供している。

国際交流においては、平成29年11月に友好協力協定を締結した浙江大学医学院附属儿童医院からの研修医の受入を平成28年度から継続しており、令和元年度も10月には院長らが訪問し、講演を行うとともに研修医2名の受入を予定するなど、積極的な交流を行った。

また、平成31年4月1日付けで、これまでの当院の小児がん医療への取組みにより、厚生労働省から全国15施設の小児がん拠点病院の1つとして新たに指定された。拠点病院として、診療体制の整備、地域医療機関との連携、移行期医療への対応などさらなる機能強化を図っている。

令和元年6月には、老朽化していた本館のリニューアル工事が開始され、薬剤部門、放射線部門、検査部門の劣化改修、ランドリーの移転により患者アメニティの整備を進めている。

職員の就業環境の向上を図るため、新築建替えされた院内保育所において、4月から二重保育、病後児保育についても対応している。

3 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 医療の提供

ア 総合病院

○ 業務実績を示す各種指標

- 入院延患者数及び病床稼働率は、平均在院日数の短縮等の影響により、計画値を下回ったが、入院単価は、計画値を上回った。
また、外来延患者数及び外来単価はいずれも計画値を上回った。
- 入院単価の主な増加要因は、施設基準の新規取得等の他、心臓血管外科や循環器内科を中心とした診療内容の高度化、DPC入院期間Ⅱ以内の退院率向上、DPC副傷病名付与率向上等が挙げられる。
また、外来単価の増加要因は、外来化学療法件数の増加、高額薬剤（がん治療薬：オプジーボ、アバスタチン等）の使用等、高度医療に取り組んだ効果によるものである。

令和元年度 業務量及び単価等年間実績

区分			年度計画	実績	増減	達成率(%)
入院	一般病床	入院延患者数 (人)	235,745	220,628	▲15,117	93.6
		病床稼働率 (%)	95.2	91.1	▲4.1	95.7
		平均在院日数 (日)		11.4		
	結核病床	入院延患者数 (人)	5,115	4,967	▲148	97.1
		病床稼働率 (%)	28.0	27.1	▲0.9	96.8
		平均在院日数 (日)		67.9		
患者1人1日当たり単価 (円)		80,188	82,992	2,804	103.5	
外来	外来延患者数 (人)	431,000	448,945	17,945	104.2	
	患者1人1日当たり単価 (円)	21,019	21,964	945	104.5	

※患者1人1日当たり単価は、税込金額(調定額ベースで算定)。病床稼働率は、一般病床662床で算定、結核病床は50床で算定

- 紹介率は計画値を上回ったが、逆紹介率は計画値を下回った。今後も病診・病病連携の推進に努める。

令和元年度 紹介率・逆紹介率年間実績

(単位：%)

区分	年度計画	実績	増減
紹介率	90以上	92.4	+2.4
逆紹介率	175以上	174.7	▲0.3

※紹介率・逆紹介率の算定方法は、P60の用語解説を参照。

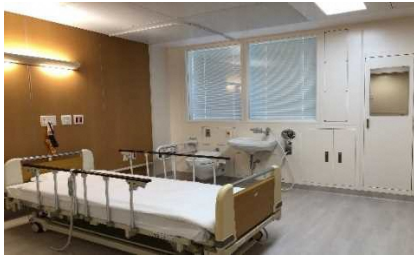
- ・ 医療の提供については、循環器疾患及び、脳疾患に対する高度・専門医療、がん疾患に対する集学的治療及び終末期医療、高度救命救急センターとしての救急医療を主要事業の三本柱として重点的に取り組んでおり、平成31年3月の厚生労働省告示により、全国1,730のDPC病院の中で、引き続きDPC特定病院群（全国155病院が指定）を維持し、大学病院本院群と同等の高度医療及び医師研修を実施する病院として認められた。（県内では当院を含め6病院）
- ・ 循環器疾患、脳疾患に対する医療については、先端医学棟3階に設置したCT・MRI・血管造影の3種類のハイブリッド手術室を活用し、最新の治療器材と鮮明な画像診断により、経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）、ステントグラフト内挿術、経皮的僧帽弁接合不全修復術（MitraClip）等の低侵襲で高度な手術を実施している。
- ・ がん疾患に対する医療については、手術、化学療法、放射線治療等を効果的に組み合わせた高度な集学的治療を実施しており、当院に対して症例が集約化されている。
手術は、先端医学棟3階、4階に設置したハイブリッド手術室、内視鏡手術室、ロボット支援手術室を含む22室の手術室を効率的に運用し、手術件数を着実に伸ばしている。放射線治療は、先端医学棟1階に設置したリニアック3台を稼働し、強度変調回転放射線治療（VMAT）や脳定位放射線治療、体幹部定位放射線治療等の高精度な放射線治療を実施している。化学療法は、がん専門資格を有する腫瘍内科を始めとする医師、看護師、薬剤師等が連携し、安全かつ適切な治療を行っている。
また、令和元年9月に緩和ケアセンター（緩和ケアチーム）を新たに組織し、院内における緩和医療の提供体制を充実させるとともに、地域の医療機関等との定期的なカンファレンスを通じて連携強化に取り組んでいる。
なお、令和2年3月27日付けで、各医療圏において1施設のみが指定される地域がん診療連携拠点病院（高度型）に指定された。
- ・ 救急医療については、高度救命救急センターとして重症熱傷、重症外傷、急性中毒等の重篤な救急患者の受入を行っている。また、平成26年6月にドクターカーを導入し、救命救急センターのスタッフが災害や事故の現場に急行又は搬送途中の救急車とドッキングして治療を開始することにより、救命率の向上に繋がっている。
- ・ SARS-CoV-2（以下、「新型コロナウイルス」という。）感染症に関しては、院内検査及び患者受入体制構築の準備を進めた。
- ・ 施設整備については、先端医学棟に移設した手術室の跡地を利用し、本館リニューアル工事の一部である無菌病棟の整備を行った。令和元年7月末に工事が完了し、8月1日から運用を開始した。病棟全体の空気清浄度をクラス100,000以上とし、清潔な環境下において化学療法や移植後の管理を行っている。特に、空気清浄度クラス100の幹細胞移植室4床においては、移植を要する急性白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫等の症例を積極的に受け入れ、静岡医療圏のみならず静岡県内の症例を広くカバーしている。病棟機能は幹細胞移植室4床（空気清浄度クラス100）、個室4床（空気清浄度クラス1,000）、個室2床（空気清浄度クラス10,000）、4床室16床（空気清浄度クラス10,000）、調剤室、トレーニングデイルーム等を備えた一般病床26床となる。



<無菌病棟 入口>



<幹細胞移植室 外側>



<幹細胞移植室（空気清浄度クラス100）>



<トレーニングダイニングルーム>

イ こころの医療センター

○ 業務実績を示す各種指標

- 延患者数については、入院、外来ともに計画を下回った。単価については、入院は計画を下回ったが、外来は計画を上回った。

令和元年度 業務量及び単価

区 分		年度計画	実績	増減	達成率(%)
入 院	入院延患者数(人)	57,062	54,037	▲3,025	94.7
	入院患者1人1日当たり単価(円)	25,273	24,804	▲469	98.1
	平均在院日数(日)		104.8		
	病床稼働率(%)	90.6	85.8	▲4.8	94.7
外 来	外来延患者数(人)	41,005	39,647	▲1,358	96.7
	外来患者1人1日当たり単価(円)	6,324	6,508	+184	102.9

※患者1人1日当たり単価は、税込金額(調定額ベースで算定)。平均在院日数は、医療観察法病床を除いて算定。病床稼働率は、172床で算定。

- 紹介率は計画を下回っているが、逆紹介率は計画を上回っている。今後も退院の促進等に努めていく。

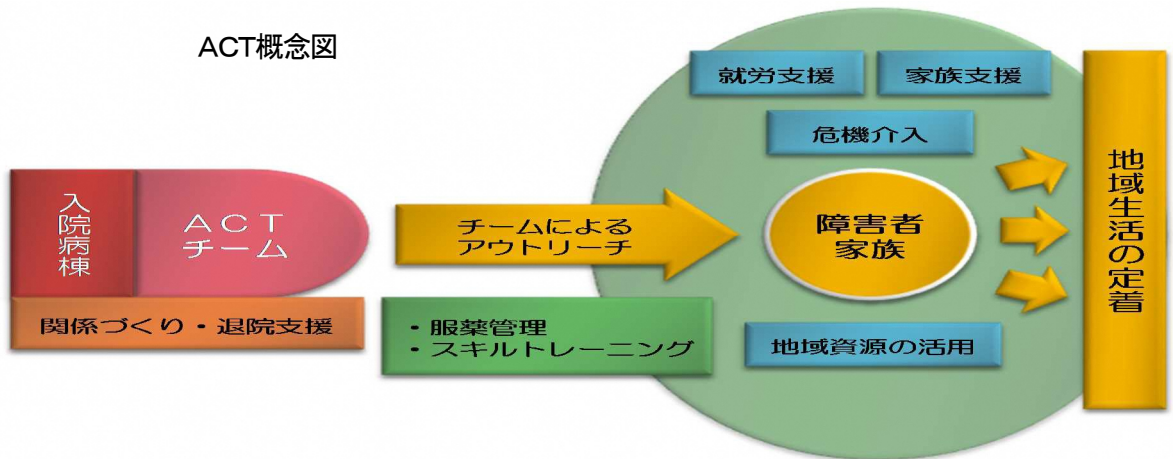
令和元年度 紹介率・逆紹介率

(単位：%)

区 分	年度計画	実績	増 減
紹 介 率	57.0	56.1	▲0.9
逆 紹 介 率	30.0	33.7	+3.7

- 救急・急性期を中心とした診療体制の整備を図るとともに、包括的在宅医療支援体制モデルの構築や精神科救急相談体制の整備など、退院後の在宅支援を行うシステムを構築することで、「早期に集中的治療を行い、早期に社会復帰する」という体制づくりを継続して進めた。
- 先端薬物療法(クロザピン)や高度な治療法である修正型電気けいれん療法(m-ECT)の実施など、医療水準の向上と重症患者の病状改善に積極的に取り組んだ。
- 退院後の安定した地域生活の維持、再入院の防止に向け、心理・社会的治療の一環として、患者に対する心理教育・家族教室に積極的に取り組んだ。
- 包括的在宅ケア(ACT)チームによる退院支援と手厚い24時間365日サポート体制による退院後の地域生活支援モデルの構築を進めた。

ACT概念図



- ・ 県内唯一の医療観察法指定入院医療機関として本県及び他県関係の入院処遇対象者を受け入れており、機能の充実を図り、地域完結型の医療環境の形成を進めている。

ウ こども病院

○ 業務実績を示す各種指標

- ・ 入院について、延患者数は計画を上回ったものの、単価は計画を下回った。
- ・ 外来については、延患者数、単価とも計画を上回った。

令和元 年度 業務量及び単価等

区 分		年度計画	実績	増減	達成率(%)
入 院	入 院 延 患 者 数 (人)	74,076	75,736	+1,660	102.2
	入院患者1人1日当たり単価 (円)	98,455	97,719	▲736	99.3
	平 均 在 院 日 数 (日)		10.3		
	病 床 稼 働 率 (%)	74.7	76.4	+1.7	102.2
外 来	外 来 延 患 者 数 (人)	110,953	111,874	+921	100.8
	外来患者1人1日当たり単価 (円)	13,480	14,131	+651	104.8

※患者1人1日当たり単価は、税込金額（調定額ベースで算定）。平均在院日数は、NICU、GCU、MFICU、PICU、精神科、短期3を除いて算定。病床稼働率は271床で算定。

- ・ 紹介率・逆紹介率ともに計画を下回っている。引き続き地域医療機関との連携に努めていく。

令和元年度 紹介率・逆紹介率

(単位：%)

区 分	年度計画	実績	増減
紹 介 率	94.0	90.9	▲3.1
逆 紹 介 率	53.0	47.7	▲5.3

- ・ 全国初の小児循環器集中治療専門医を配置したCCU、カテーテル治療や遠隔エコー診断等の先進的治療など、循環器疾患に対する高度先進的医療の提供に努めている。
- ・ 循環器病棟に準重症患者を受け入れる病室を活用し、小児重症心疾患患者を受け入れる体制を整備している。
- ・ 自治体立病院では全国初、小児専門病院では全国2番目となる小児用補助人工心臓を導入しており、心臓移植が必要な小児患者の治療を移植直前まで可能とする体制を整備している。
- ・ 総合周産期母子医療センターの指定を受け周産期医療の中核を担い、ハイリスク胎児・妊婦、新生児に高度な先進的治療を提供している。
- ・ 平成31年4月には、これまでの当院の小児がん医療への取組みが評価され、厚生労働省から全国15施

設の小児がん拠点病院の1つとして新たに指定された。拠点病院として、診療体制の整備、地域医療機関との連携、移行期医療への対応などさらなる機能強化を図る必要がある。

小児がん相談室を設置し、AYA世代患者への研修会開催等により支援体制の充実を図った。

- ・ 令和元年12月には、がんゲノム医療連携病院となり、がん診療におけるゲノム検査を実施するための準備を開始した。
- ・ 小児救命救急センターの指定を受けている小児集中治療センター（PICU）と小児救急センター（ER）を中心に、24時間365日を通して、初期救急を含めた小児救急患者を受け入れている。
- ・ 厚生労働省の「子どもの心の診療ネットワーク事業」に参画し、ネットワーク構築のため学校・地域との連携強化に努めるなど、県内の児童精神科医療における中核的な機能を発揮している。

救急の体制



ドクターヘリ



ドクターカー



小児救急センター

(2) 医療従事者の確保及び質の向上

ア 総合病院

- ・ 医療技術者の研修については、研修医の海外研修への派遣や看護師の認定看護師研修への派遣、県立大学との共同研究等により、県立病院に相応しい医療技術者の育成に努めている。また、先端医学棟稼動に伴い、循環器病センター6階から先端医学棟2階へ拡張移転したメディカルスキルアップセンターにおいては、模擬病室の設置や各種高度なシミュレーターの導入により、院内外の多くの医療従事者に利用されており、医療の質の向上に寄与している。
- ・ 国際交流では、友好協力協定及び覚書を締結している中国浙江省の7医院から研修生10人(医師)を受け入れた。また、令和元年10月に、浙江中医薬大学附属第二医院と研究友好協力に係る覚書を締結したほか、JICA研修生10人を受け入れた。

イ こころの医療センター

- ・ 医療技術者の研修については、認定看護師研修の派遣等、精神医療の向上に資する人材の育成に努めている。特に認定看護師については、7名の精神科認定看護師と1名の感染管理認定看護師が在籍し、医療の質の向上に貢献している。

ウ こども病院

- ・ 専門家を招聘してセミナーや研修会を定期的で開催するとともに、海外研修や認定看護師研修等に職員を積極的に派遣するなど、院内外の研修会等を通じて病院全体の医療技術の向上に努めている。
- ・ 国際交流においては、友好協力協定をしている、マレーシア国立循環病センター、浙江大学附属児童医院、深セン市小児病院との間で、診療支援、医師・看護師の研修派遣・受入れ等、積極的な交流を行った。
- ・ 地域の医療機関等の看護師や看護学生等への継続的な実習研修や、医療関係者を対象とした講演会等を定期的で開催し、職員だけでなく院外の医療従事者にも教育研修機能を開放している。

(3) 医療に関する調査及び研究

- 先端医学棟5階に設置したリサーチサポートセンターを活用し、医師が診療業務をしながら臨床研究に取り組んでいる他、きこえとことばのセンター（静岡県乳幼児聴覚支援センター）では乳幼児期の難聴や人工内耳の装用による脳の発達のメカニズムに関する研究を実施した。
- 県民の健康寿命延伸のため、研究の推進、人材の育成、成果の還元の拠点となる社会健康医学大学院大学の開学に向け、リサーチサポートセンターを拠点に、研究員の確保や機器整備等、研究体制の強化に取り組み、医療ビッグデータの活用に関する研究、効果的な健康増進施策・疾病予防対策のための疫学研究、ゲノムコホート研究を3本の柱とする社会健康医学研究を実施している。

平成31年3月に文部科学省より科学研究費の応募が可能な研究機関として指定されているが、これは県内の医療機関では5施設目、一般的な総合病院では県内初の指定となった。

- 令和2年1月、研究の質の更なる向上を図るため、慶應義塾大学院医学研究科との連携協力に関する協定を締結した。
- 効率的な病院運営のため、診療情報（DPCデータ）に基づく症例分析を行い、医局会においてDPC入院期間Ⅱ以内での退院状況や副傷病名の付与率向上等に係る説明と協力依頼により、平均在院日数の短縮やDPCコーディングの適正化に取り組んだ。

【医学奨励研究の内訳】 令和元年度

病 院	研 究 課 題	部 署	構成人数
総 合	性腺機能低下症例における血中キスペプチン濃度の測定	糖尿病内科	5
	糖代謝異常による水溶性ビタミン群の濃度に及ぼす影響についての検討	糖尿病内科	4
	Kallmann 症候群の新規原因遺伝子の同定とその発症機構のゲノム科学的研究	糖尿病内科	2
	糖尿病・内分泌治療におけるオキシトシンの臨床応用への可能性	糖尿病内科	2
	本邦の原発性大結節性副腎過形成症 (PMAH) 患者における ARMC5 遺伝子の意義	遺伝研究部	2
	全ゲノムシーケンスを用いた網膜色素変性 1 家系の原因遺伝子検索	遺伝研究部	4
	アルドステロン産生腺腫における体細胞遺伝子変異の検討	高血圧研究部	4
	バセドウ病患者における骨代謝の評価	糖尿病内科	4
	高齢者胃癌患者における術前 CT 上の骨格筋量が長期予後に与える影響について	消化器外科	2
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌における TSST-1 産生制御機構の解明	消化器外科	2
	食道切除術胸骨後胃管再建術後縫合不全と胸郭入口部の広さとの関係についての検討	消化器外科	4
	冠動脈バイパス術で使用される No-touch SVG の病理、生理学的検討	心臓血管外科	5
	静岡県レセプトデータを用いた透析患者の大動脈弁置換術後の遠隔成績についての検討	心臓血管外科	3
	慢性 B 型大動脈解離症例における偽腔血流シミュレーションによる遠隔イベントの予測	心臓血管外科	2
	移植腎動脈狭窄同定における FeUrea の有用性	腎臓内科	3
	智歯抜歯後偶発症に対する臨床学的検討	歯科口腔外科	4
	院外心停止症例における自動除細動器の心電図記録による生存率・神経学的予後の検討	救命救急センター	9
	紙巻タバコおよび過熱式タバコの心血管バイオマーカーに対する影響の比較研究	臨床研究部	3
	細胞外基質分子の局在から見た甲状腺腫瘍の病理組織学的特徴の解明	病理学部	2
	甲状腺術中迅速組織診断における凍結標本作製の精度向上に向けた研究	病理学部	9

病 院	研 究 課 題	部 署	構成人数
総 合	疑義照会による処方変更が病院経営に与える影響	薬剤部	21
	薬剤師外来の運用確立とがん指導薬剤師による non-Oncology Pharmacist のコーチング効果に関する研究	薬剤部	5
	胃癌術後低栄養患者に対する効果的な栄養指導方法の構築	栄養管理室	4
	脊椎後方手術時の顔面の褥瘡予防のためのリスク因子及び綿状創傷被覆・保護材と高すべり性スキンケアパッドの比較	看護部	2
	クリティカル期におけるアドバンスケアプランニング 代理意思決定支援の関わりを通して	看護部	1
	高度急性期病院の入院前問診による患者の看護上の問題の実態	入退院センター	3
	高度急性期病院における入院前問診時の外来への電話問い合わせの実態	入退院センター	3
	DST 介入対象者における入院前と退院時の自立度変化とその関連要因	看護部	2
	胃癌術式別の術前術後の骨格筋面積の推移	消化器外科	2
	実用的な声帯ハイスピードカメラ記録解析装置の作製	頭頸部・耳鼻いんこう科	1
	CKD 合併がん患者におけるデノスマブの安全性に関する多施設共同試験	薬剤部	5
	静岡県国保連ビッグデータによるアトピー性皮膚炎の特性に関する解析	皮膚科	4
	Vessel wall imaging を用いた頭蓋骨血管狭窄病変の評価	脳神経外科	4
	ICU 入室患者における血液型と出血リスクに関する観察研究	救命救急科 集中治療科	5
	静岡県立総合病院・静岡県立こども病院・リサーチサポートセンターを中心とした成人先天性心疾患レジストリー作成のための調査	循環器内科	6
	強皮症の日本人特異的遺伝的背景の解明	免疫研究部	2
計		36	145
こころ	精神科領域の薬薬連携における病院薬剤師の関わりの検討	薬剤室	4
	計		1

病 院	研 究 課 題	部 署	構成人数	
こども	思春期以上の小児がん患児に対する生殖機能温存説明方法の検討	看護部	3	
	仮想現実 (VR)、拡張現実 (AR)、複合現実 (MR) の頭蓋顎顔面領域手術への応用	形成外科	2	
	子宮頸管粘膜を用いて絨毛膜下血腫の予後判定に関する研究	産科	5	
	拍動する脳モデルを用いた脳脊髄液の動態解明	脳神経外科	2	
	先天性心疾患における房室弁弁葉にかかる応力の解明:シミュレーションを用いた新しい評価法の検討	循環器科	6	
	先天性心疾患患者へのMSWIに対する調査—MSWへのアンケート調査を通して—	地域医療連携室	1	
	「小児血液腫瘍性疾患患者におけるステロイドによる眼圧上昇および眼内組織形態学的変化に関する前方視的観察研究」ならびに「小児急性白血病患者治療におけるステロイド全身投与時の眼圧変化（後方視的研究）」	血液腫瘍科	10	
	クロスミキシングテストを臨床に活かそう～少ない検体を有効活用！～	検査技術室	8	
	CCU看護師のストレスへのシミュレーショントレーニングの効果	循環器集中治療科	4	
	静岡県立こども病院・静岡県立総合病院・リサーチサポートセンターを中心とした成人先天性疾患レジストリー作成のための調査	心臓血管外科	5	
	尿細胞診検体を用いた尿中ポドサイトの検出意義及び腎糸球体病態の比較検討	検査技術室	10	
	遺伝子検査におけるバリエーション解釈の標準化と遺伝カウンセリング体制の検討	遺伝染色体科	1	
	化学療法を受ける患者のための栄養サポートツールの作成	栄養管理室	8	
	病理検査総合管理アプリケーション開発	検査技術室	7	
	60秒毎の心拍数差標準偏差 (SDHR60s) とRR間隔の標準偏差 (SDNN) の比較検討	新生児科	4	
	ダントロレンナトリウム顆粒実用化への取り組み	薬剤室	4	
	家族支援の充実に向けた当科の新生児ケア・マニュアル活用	北2病棟	8	
	鼻咽腔ファイバースコープ検査による口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能の評価	形成外科	2	
	計		18	90

(4) 医療に関する地域への支援

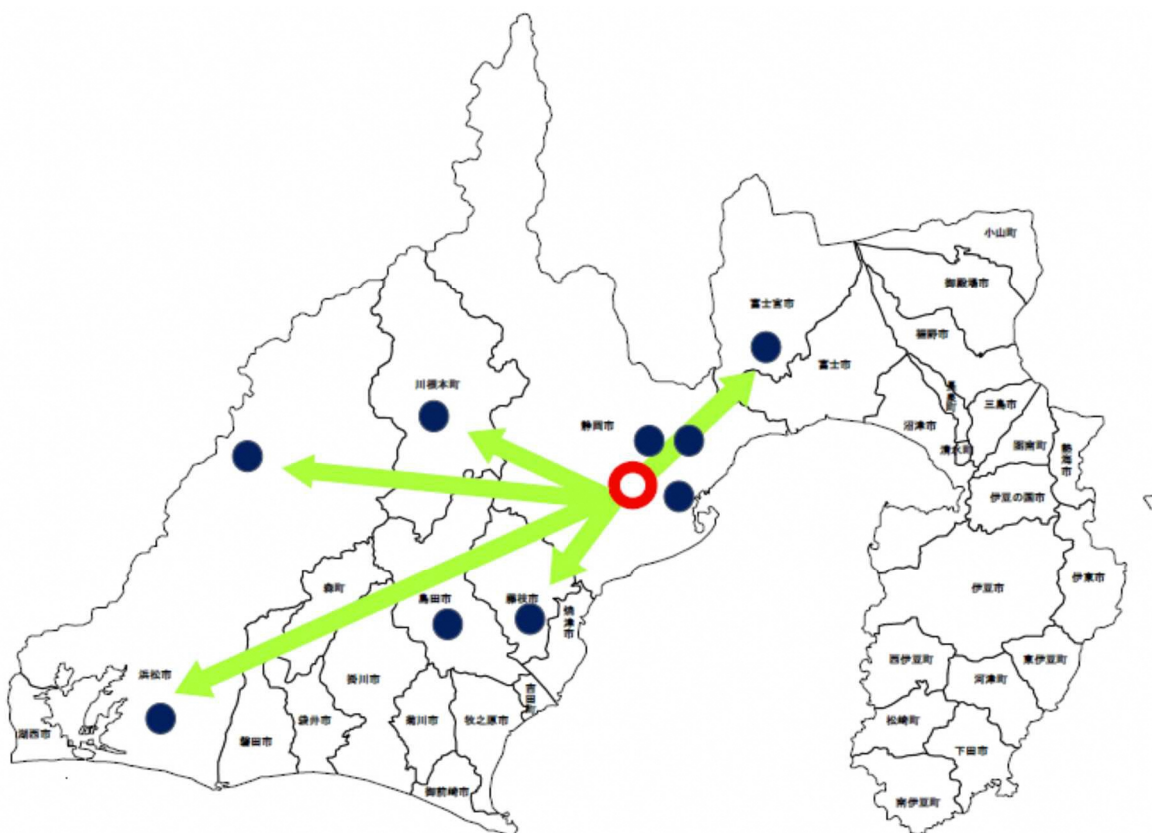
ア 総合病院

地域医療の支援については、平成 19 年に地域医療支援病院として承認されており、医師会・歯科医師会とも連携し、紹介患者への医療の提供、救急患者の受入等の取組を通して地域医療の確保に努めた。

県立病院医師交流制度等に基づき 9 医療機関に対して延 752 人の医師派遣を行うとともに、CT・MRI の高度医療機器の共同利用を推進した。

また、平成 22 年度総務省委託事業である地域 ICT 利活用広域連携事業により開始した「ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル」は順調に拡大しており、令和 2 年 3 月末現在、開示施設は 16 病院、参照施設は 118 施設となった。今後も各地域の医師会と協働し、ネットワークの更なる推進に努める。

令和元年度 県立総合病院の医師派遣



イ こころの医療センター

地域医療の支援については、医師、看護師の講演会等への講師派遣等に取り組んだほか、医療観察法における鑑定の要請に協力する等、県内精神医療の中核病院としての役割を果たしている。

ウ こども病院

- ・ 小児科の基幹施設として、新専門医制度に対応した研修を行い適切に対応した。
- ・ 地域医療支援病院としての役割を果たすため、医師不足が顕著な公的病院や急病センター等計 7 の医療機関等に対して、延 282 人の医師を派遣した。
- ・ 映像通信システムを通じて、浜松医科大学やマレーシア国立循環器病センターなどと定期的に症例検討会を実施している。また、県内 4 病院と連携して心エコー画像の遠隔診断を行うなど、映像情報を活用した地域医療機関等との連携及び支援を行っている。
- ・ 児童精神科医療におけるネットワーク構築のため、小中学校教諭を対象とした精神保健講座や児童

養護施設の巡回相談を実施するなど、学校・地域との連携強化に努めている。

- ・ 県内の医師や看護師を対象とした症例検討会を開催するなど、地域の周産期医療の質向上と他医療機関との連携体制を強化した。
- ・ 地域の救急医療機関や消防機関を対象とした研究会を開催するなど、小児救急医療の体制強化を図った。

(5) 災害等における医療救護

- ・ 災害拠点病院は、災害時に多発する重篤救急患者を受け入れ、自己完結型の医療救護チームを被災地に派遣し、地域医療機関への応急用資器材の貸し出し機能を有する病院であり、県下 21 病院が指定されている。
- ・ 総合病院は、基幹災害拠点病院に指定されており、災害拠点病院の機能をさらに強化した要員の訓練や研修機能を有し、災害医療に関して県の中心的役割を果たす病院であることが求められている。
- ・ 総合病院とこども病院は、静岡市長から「静岡県医療救護計画」に基づき、救護病院（重症患者及び中等症患者の処置及び収容を行う病院）に指定されているほか、総合病院は、被ばく医療について、二次被ばく医療機関に指定されている。
- ・ 防災計画等の取組については、災害対応マニュアルの見直しを進め、東日本大震災以降の国の施策の見直しなどに対応した改訂を行うとともに、総合病院では、災害発生時の断水に備えるため、地下水を上水として活用できるような対策を実施した。改訂したマニュアルに基づき訓練を実施した。
- ・ 総合病院における被ばく医療については、関係機関が主催する講習会等の受講等、施設要件を満たすための取組みを行い、平成 30 年 10 月に原子力発電所の重大事故に備えた原子力災害拠点病院として静岡県から指定を受けた。
- ・ こころの医療センターでは、6 病院（宮城県立精神医療センター、千葉県精神医療センター、大阪府立精神医療センター、岡山県精神医療センター、島根県立こころの医療センター、山口県立こころの医療センター）と災害時における自治体精神科病院の相互支援に関する協定を締結している。また、災害発生直後に精神科医療における支援が可能な DPAT（災害派遣精神科医療チーム）を保有し、災害発生時に被災地への DPAT の派遣や県の要請に基づく支援等を実施する体制を整備している。新型コロナウイルス感染症関連では、医師 1 名と看護師 2 名が武漢からの帰国者に対してスクリーニングや面談などの業務に従事した、また、同医師は、クルーズ船支援者等のスクリーニング等の業務にも従事した。

4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 効率的な業務運営体制の強化

ア 機構全体

- ・ 理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を、8月を除く毎月開催し、意思決定の迅速化に努めている。
- ・ 医療機器の購入について、購入と複数年分の保守を一括で入札することで、全体での経費削減に取り組んだ。
- ・ 地方独立行政法人制度のメリットを活かして契約の複数病院一括化及び複数年契約化を進める一方で、契約によっては分割して発注することによって競争性を高めるなど、柔軟に契約方法を変更することで経営改善を推進した。
- ・ 経費の節減のみならず、モニタリング制度（インセンティブ（契約期間の延長）の付与や業務内容が適切ではない場合の減額等が課せられている。）の適用などにより、業務の質の向上も図った。
- ・ 業務改善の推進として、機構の業務改善運動推進制度を設置しており、業務改善に積極的に取り組む組織風土の醸成に努めた。

イ 総合病院

- ・ 平均在院日数の短縮に向け、各診療科においてD P C入院期間Ⅱ以内での退院を促進し、効率的な病棟運営に努めた。
- ・ 先端医学棟3階、4階に設置した22室の手術室とH C U 20床の一体的かつ効果的な運用に努めた。
- ・ 入退院センターによる入院前から退院後までの一貫したサポート（入院前問診・オリエンテーション等）により、患者満足度向上と病棟看護師の業務量軽減を図った。また、空床情報の一元管理と、適切なベッドコントロールが行われており、病棟再編や病床稼働率の向上に繋がっている。
- ・ 重症系病棟の稼働率向上に向けて、医師が中心となり効率的な病棟運営に努めた。
- ・ 自治体共済会MR Pベンチマークシステムの活用及び共同購入組織「一般社団法人日本ホスピタルアライアンス（略称：NHA）」への加盟により、薬品、診療材料に係る価格交渉や品目の切り替えを推進し、薬品費、診療材料費の削減に努めた。

ウ こころの医療センター

- ・ 平成28年2月に導入した電子カルテの活用により、情報の共有によるチーム医療の推進、並びに業務の効率化・省力化を進めた。
- ・ 毎月の経営戦略委員会や管理会議において病院の経営状況を報告するなど、院内で経営に関する情報を共有することにより、職員全体の経営意識の向上を図った。

エ こども病院

- ・ 医事委託業者と共同で定期的に勉強会等を実施し、各診療科との連携を密にして確実に診療報酬請求を行うなど、診療収益の増加に努めた。
- ・ 診療材料の単価、品目、業者等の見直し、消耗品の節約、委託契約の業務内容の見直し、職員の時間外勤務の適正化等により、経費削減に努めた。また、令元年10月から共同購入の取組開始を予定しており、これにより汎用材料のより一層の価格削減された。
- ・ 毎月の管理会議において病院の経営状況を報告するなど、院内で経営に関する情報を共有することにより、職員全体の経営意識の向上を図った。

(2) 事務部門の専門性の向上

- ・ 事務職員基礎研修、会計研修等を実施し、業務関連知識の向上を図った。
- ・ 診療情報管理士資格の取得支援制度を設け、資格者の増員を図った。
- ・ 業務の標準化を図るため、事務部門の業務マニュアル整備・活用に向けた取組を実施し、あわせて、院内コミュニケーションシステム上に集約したマニュアルを公開し、情報の共有化を図った。

(3) 収益の確保と費用の節減

- ・ 薬品費や診療材料費については、競合する薬剤を引き合いに出した交渉により薬品費の大幅な値引を実現したほか、診療材料の共同購入による価格交渉など経費の節減に取り組んだ。また、SPDが期限を確認し、期限切迫品の表示や使用頻度の高い部署へ移管を行うことにより、多くのロスを防ぐことができた。
- ・ 医療機器の保守については、保守の必要性が低下した機器の変更契約を例年年度末に行っていたが、年度中の早期に実施することとしたことで、不要な保守を未然に防ぐことにつなげた。

項目別業務実績評価

＜評価基準＞
 S 計画に対し十分に取組み、顕著な成果が得られている。
 A 計画に対し十分に取組み、成果が得られている。
 B 計画に対し十分に取組み、成果が得られていない。
 C 計画に対し十分に取組み、成果が得られていない。

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置

中期計画

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																										
第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する事項	第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置	第1 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置																																														
1 医療の提供	1 医療の提供 県立病院機構の職員は、県立病院が担う役割と責任を認識するとともに、医療機関に求められる基本的な診療理念を理解し、医療の提供に当たってはそれを実践する。	1 医療の提供 基本的な診療理念 各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組む。 ①患者への十分な説明と同意の徹底 ②医療技術の向上 ③チーム医療の推進 ④医療安全対策の充実 ⑤患者満足の向上	1	各病院	セカンドオピニオン数 (単位：件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>総合</td><td>107</td><td>112</td><td>114</td><td>115</td><td>90</td><td>112</td></tr> <tr><td>こども</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>セカンドオピニオン相談総数(総合)</td><td>45</td><td>63</td><td>39</td><td>58</td><td>58</td><td>48</td></tr> </table> 医療相談件数(件) (単位：件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>医療相談件数(件)</td><td>101</td><td>128</td><td>121</td><td>148</td><td>150</td><td>110</td></tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	総合	107	112	114	115	90	112	こども	—	—	—	—	—	—	セカンドオピニオン相談総数(総合)	45	63	39	58	58	48	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	医療相談件数(件)	101	128	121	148	150	110	—
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																										
総合	107	112	114	115	90	112																																										
こども	—	—	—	—	—	—																																										
セカンドオピニオン相談総数(総合)	45	63	39	58	58	48																																										
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																										
医療相談件数(件)	101	128	121	148	150	110																																										
1 医療の提供	1 医療の提供 基本的な診療理念 診療に当たっては、患者自らが選択し納得できるよう、患者への十分な説明など、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づき医療安全に提供するため、医療技術の向上、チーム医療の推進、医療安全対策の充実などに取り組む。	(1) 基本的な診療理念 各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組む。 ①患者への十分な説明と同意の徹底 ②医療技術の向上 ③チーム医療の推進 ④医療安全対策の充実 ⑤患者満足の向上	2	総合	クリニカルパス管理委員会において、新規作成及び修正に係る審議、承認を行った。 クリニカルパスの新規作成、適用率等実績 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>新規作成(件)</td><td>34</td><td>18</td><td>16</td><td>15</td><td>34</td><td>9</td></tr> <tr><td>修正(件)</td><td>68</td><td>51</td><td>224</td><td>130</td><td>253</td><td>100</td></tr> <tr><td>適用率(%)</td><td>73.8</td><td>75.8</td><td>66.3</td><td>62.6</td><td>63.3</td><td>63.9</td></tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	新規作成(件)	34	18	16	15	34	9	修正(件)	68	51	224	130	253	100	適用率(%)	73.8	75.8	66.3	62.6	63.3	63.9	A														
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																										
新規作成(件)	34	18	16	15	34	9																																										
修正(件)	68	51	224	130	253	100																																										
適用率(%)	73.8	75.8	66.3	62.6	63.3	63.9																																										
1 医療の提供	1 医療の提供 基本的な診療理念 診療に当たっては、患者自らが選択し納得できる最良の医療を提供するため、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づき医療安全に提供するため、医療技術の向上、チーム医療の推進、医療安全対策の充実などに取り組む。	(1) 基本的な診療理念 各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組む。 ①患者への十分な説明と同意の徹底 ②医療技術の向上 ③チーム医療の推進 ④医療安全対策の充実 ⑤患者満足の向上	3	こども	令和2年3月末現在稼働クリニカルパス4件(m-ECI、転倒転落、鑑症入院、クロザリン) 稼働クリニカルパス数 (単位：件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>稼働クリニカルパス</td><td>44</td><td>46</td><td>48</td><td>48</td><td>51</td><td>51</td></tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	稼働クリニカルパス	44	46	48	48	51	51	A																												
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																										
稼働クリニカルパス	44	46	48	48	51	51																																										
1 医療の提供	1 医療の提供 基本的な診療理念 診療に当たっては、患者自らが選択し納得できる最良の医療を提供するため、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づき医療安全に提供するため、医療技術の向上、チーム医療の推進、医療安全対策の充実などに取り組む。	(1) 基本的な診療理念 各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組む。 ①患者への十分な説明と同意の徹底 ②医療技術の向上 ③チーム医療の推進 ④医療安全対策の充実 ⑤患者満足の向上	4	こども	稼働クリニカルパス数 (単位：件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>稼働クリニカルパス</td><td>44</td><td>46</td><td>48</td><td>48</td><td>51</td><td>51</td></tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	稼働クリニカルパス	44	46	48	48	51	51	A																												
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																										
稼働クリニカルパス	44	46	48	48	51	51																																										

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																														
				③チーム医療を推進し、多職種による病院横断的な活動を通して、質の高い医療を提供する。	<p>チーム医療の推進（カンファレンスの開催）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>チーム名</th> <th>20年度/回</th> <th>21年度/回</th> <th>22年度/回</th> <th>23年度/回</th> <th>24年度/回</th> <th>25年度/回</th> <th>26年度/回</th> <th>27年度/回</th> <th>28年度/回</th> <th>29年度/回</th> <th>30年度/回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>感染症対策チーム</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">各病院</td> <td>精神科チーム</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>チーム医療の推進（カンファレンスの開催）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>チーム名</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>感染症対策チーム</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">各病院</td> <td>精神科チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	チーム名	20年度/回	21年度/回	22年度/回	23年度/回	24年度/回	25年度/回	26年度/回	27年度/回	28年度/回	29年度/回	30年度/回	総合	感染症対策チーム	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	褥瘡対策チーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	呼吸ケアチーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	認知症ケアチーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	各病院	精神科チーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	緩和ケアチーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	栄養サポートチーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	感染防止対策チーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	褥瘡対策チーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	区分	チーム名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	総合	感染症対策チーム	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	呼吸ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	認知症ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	各病院	精神科チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	緩和ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	栄養サポートチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	感染防止対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	<p>最良の医療を提供するため、診療科の枠を越えた多職種カンファレンスを実施した。特に総合病院では、精神科医師の責任により、令和元年7月に精神科カンファレンスの実施を推進した。多職種によるチーム医療を推進するとともに、診療報酬算定により収益面においても大きく貢献した。</p> <p>A</p>																								
区分	チーム名	20年度/回	21年度/回	22年度/回	23年度/回	24年度/回	25年度/回	26年度/回	27年度/回	28年度/回	29年度/回	30年度/回																																																																																																																																																																																																																																																																								
総合	感染症対策チーム	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回	10回																																																																																																																																																																																																																																																																								
	褥瘡対策チーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																																																																																																																																																																								
	呼吸ケアチーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																																																																																																																																																																								
	認知症ケアチーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																																																																																																																																																																								
各病院	精神科チーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																																																																																																																																																																								
	緩和ケアチーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																																																																																																																																																																								
	栄養サポートチーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																																																																																																																																																																								
	感染防止対策チーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																																																																																																																																																																								
	褥瘡対策チーム	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	チーム名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																																																																																																																																																								
総合	感染症対策チーム	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																								
	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	呼吸ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	認知症ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
各病院	精神科チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	緩和ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	栄養サポートチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	感染防止対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
			5		<p>チーム医療の推進（カンファレンスの開催）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>チーム名</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>感染症対策チーム</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">各病院</td> <td>精神科チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>チーム医療の推進（カンファレンスの開催）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>チーム名</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>感染症対策チーム</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">各病院</td> <td>精神科チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	チーム名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	総合	感染症対策チーム	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	呼吸ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	認知症ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	各病院	精神科チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	緩和ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	栄養サポートチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	感染防止対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	区分	チーム名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	総合	感染症対策チーム	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	呼吸ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	認知症ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	各病院	精神科チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	緩和ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	栄養サポートチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	感染防止対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	<p>各病院において、7回の院内感染対策研修、20回の医療安全対策研修を行い、安全・安心な医療の提供に対する職員への意識づけと、体制整備を行っている。</p> <p>各病院（企画）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>A</p>	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	総合	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
区分	チーム名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																																																																																																																																																								
総合	感染症対策チーム	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																								
	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	呼吸ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	認知症ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
各病院	精神科チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	緩和ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	栄養サポートチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	感染防止対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	チーム名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																																																																																																																																																								
総合	感染症対策チーム	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																								
	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	呼吸ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	認知症ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
各病院	精神科チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	緩和ケアチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	栄養サポートチーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	感染防止対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
	褥瘡対策チーム	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																																																																																																																																																									
総合	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7																																																																																																																																																																																																																																																																									
			6	④医療安全至上及び感染対策委員会を中心に、マニュアルの見直しや研修会を通じて院内感染防止対策・医療安全対策を実施する。	<p>医療安全対策、院内感染対策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>患者様満足調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>95.8</td> <td>95.6</td> <td>97.8</td> <td>98.2</td> <td>98.9</td> <td>99.0</td> <td>98.1</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>「患者様の声」の推移（看護）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意見</td> <td>82</td> <td>72</td> <td>57</td> <td>92</td> <td>85</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>感謝</td> <td>49</td> <td>32</td> <td>37</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>「患者様の声」については、看護師に対する意見が増加しており、そのうち感謝の割合が増加した。今後も寄せられた意見を参考に質の高い看護が提供できるよう努める。</p> <p>A</p>	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	総合	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	入院	95.8	95.6	97.8	98.2	98.9	99.0	98.1	98.0	98.0	98.0	98.0	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	意見	82	72	57	92	85	81	81	81	81	81	81	感謝	49	32	37	28	29	40	40	40	40	40	40																																																																																																																																																																																											
区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																																																																																																																																																									
総合	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																																																																																																																																																									
入院	95.8	95.6	97.8	98.2	98.9	99.0	98.1	98.0	98.0	98.0	98.0																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																																																																																																																																																									
意見	82	72	57	92	85	81	81	81	81	81	81																																																																																																																																																																																																																																																																									
感謝	49	32	37	28	29	40	40	40	40	40	40																																																																																																																																																																																																																																																																									
			7		<p>固定チームナースニングによる看護提供を行うことで、看護の継続性を図り、患者の安心を高める。</p> <p>総合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>95.8</td> <td>95.6</td> <td>97.8</td> <td>98.2</td> <td>98.9</td> <td>99.0</td> <td>98.1</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>A</p>	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	入院	95.8	95.6	97.8	98.2	98.9	99.0	98.1	98.0	98.0	98.0	98.0																																																																																																																																																																																																																																																							
区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																																																																																																																																																									
入院	95.8	95.6	97.8	98.2	98.9	99.0	98.1	98.0	98.0	98.0	98.0																																																																																																																																																																																																																																																																									

中期目標	中期計画	年度計画	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																
<p>(2) 県立病院が担う役割</p> <p>他の医療機関では対応困難な高度・特殊医療など、県の保健医療施策として求められている医療を確実に提供するとともに、地域連携に努め、県内医療機関の中核病院としての役割を果たすこと。また、医療技術の進展等に対応し、高度・高度・専門医療等の更なる充実・強化に努めること。</p>	<p>(2) 県立病院が担う役割</p> <p>他の医療機関では対応困難な高度・特殊医療が確実に提供できるように、先進的技術・治療法の導入に努める。情報通信技術を活用した医療連携を推進する。</p> <p>県内医療機関の中核病院として、緊急時における後方病床の確保や人材育成などの支援体制の整備を行うとともに、地域の医療機関との機能分担や紹介率、逆紹介率の向上により、地域連携の強化を図る。</p> <p>【目標値】 ・紹介率(総合、こころ、こども) ・逆紹介率(総合、こころ、こども)</p>	<p>(2) 県立病院が担う役割</p> <p>県内の中核病院として高度・専門・特殊医療を提供するため、地域の医療機関との機能分担を推進し、地域の医療機関との連携を強化する。</p> <p>① 紹介・逆紹介の推進 ② 地域連携クリニカルパスの推進 ③ かかりつけ医との診療情報の共有化の推進 ④ ふじのくにバーチャル・メカ・ホスピタル(ふじのくにねわ)の推進</p> <p>【目標値】 ・紹介率(総合、こころ、こども) ・逆紹介率(総合、こころ、こども)</p>	<p>⑤ 患者の視点に立った質の高い医療の提供を目指し、患者満足度調査を行い、患者満足度の改善につなげる。</p>	<p>業務の実績</p> <p>平成25年から調査実施時期を統一し、実施している。</p> <p>患者満足度調査 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>95.8</td> <td>95.6</td> <td>97.8</td> <td>98.2</td> <td>98.9</td> <td>90以上</td> <td>98.0</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>88.2</td> <td>89.6</td> <td>93.2</td> <td>94.0</td> <td>94.3</td> <td>85以上</td> <td>93.6</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>88.2</td> <td>89.8</td> <td>88.5</td> <td>94.4</td> <td>91.0</td> <td>85以上</td> <td>95.7</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>91.3</td> <td>91.9</td> <td>98.4</td> <td>97.5</td> <td>96.1</td> <td>90以上</td> <td>99.0</td> </tr> <tr> <td>心臓</td> <td>91.2</td> <td>90.9</td> <td>98.1</td> <td>99.3</td> <td>98.9</td> <td>90以上</td> <td>99.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>各病院(企画)</p>	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度	総合	95.8	95.6	97.8	98.2	98.9	90以上	98.0	内科	88.2	89.6	93.2	94.0	94.3	85以上	93.6	外科	88.2	89.8	88.5	94.4	91.0	85以上	95.7	こども	91.3	91.9	98.4	97.5	96.1	90以上	99.0	心臓	91.2	90.9	98.1	99.3	98.9	90以上	99.0	<p>説明</p> <p>総合病院では、患者等の意見があった時点で、所管部署に伝え、改善につなげている。例えば、食事の味が薄いという意見に対しては、温分の代わりに出汁を効かせた調理法にする等の対応を行った。また、季節を考慮した和洋中の献立を新たに設ける等の対応を行った。</p> <p>北立体駐車場に設けた対応により、院内駐車場の満足度は、93.9%となり、前年度に引き続き高い数値を維持することができた。なお、以前課題であった総合病院前の渋滞については、北立体駐車場完成後発生していない。今後は、来院者数や駐車場混雑状況を注視していく。</p> <p>A</p> <p>こころの医療センターでは、全体で前年比4.7ポイント増の95.7%であった。病に、受付や会計の対応が100%と職員の丁寧な対応が高い評価となっている。また、待ち時間についても3.3ポイント改善され、今後も継続的に取り組んでいく。なお、要望の多かったトイレの改善については、衛生設備の改修工事が完了している。</p> <p>こども病院では、要望の多かった菓店のスペース拡充・商品の充実を図るため、改修工事を実施し、3月末にオープンした。</p>
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度																																														
総合	95.8	95.6	97.8	98.2	98.9	90以上	98.0																																														
内科	88.2	89.6	93.2	94.0	94.3	85以上	93.6																																														
外科	88.2	89.8	88.5	94.4	91.0	85以上	95.7																																														
こども	91.3	91.9	98.4	97.5	96.1	90以上	99.0																																														
心臓	91.2	90.9	98.1	99.3	98.9	90以上	99.0																																														
				<p>業務の実績</p> <p>平成25年から調査実施時期を統一し、実施している。</p> <p>患者満足度調査 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>88.0</td> <td>88.1</td> <td>89.0</td> <td>90.0</td> <td>92.1</td> <td>90以上</td> <td>92.1</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>27.5</td> <td>194.3</td> <td>161.5</td> <td>115.5</td> <td>111.3</td> <td>175以上</td> <td>114.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>総合</p>	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度	総合	88.0	88.1	89.0	90.0	92.1	90以上	92.1	紹介率	27.5	194.3	161.5	115.5	111.3	175以上	114.7	<p>紹介先、逆紹介先となる地域のクリニック等への訪問を積極的に行い、連携強化に努めている。紹介率は、逆紹介率は昨年より増加したものの、逆紹介率は、昨年より増加したものの、目標には達していないため、今後、地域のクリニック訪問やふじのくにねわなどの活用等を通じて率の向上に努める。</p> <p>B</p> <p>他の医療機関では受け入れが困難な重症患者や、救急・急性期の患者を積極的に受け入れていくことから、紹介率は昨年実績を上回っているが、目標には達しなかった。</p> <p>今後は、こども病院をはじめ、地域の医療機関との連携を図るほか、先進的治療であるm-ECIやクロロゲン治療など、他の医療機関では対応困難な患者を積極的に受け入れ、紹介率の向上に努める。</p> <p>B</p> <p>逆紹介率は、昨年実績は下回ったものの、上らず相対・地域連携スタッフが地域や行政と協働して地域連携や移行支援に努め、目標数値は達成している。</p> <p>他の医療機関と連携を図ることにより、紹介率を維持するとともに積極的な逆紹介を行った。地域医療支援病院として、紹介率・逆紹介率ともに施設基準を満たしており、地域医療支援病院の機能を果たした。ただし、目標数値には達していないため、今後は地域医療機関との連携に努めていく。</p> <p>地域の医療機関等との連携により、地域連携クリニカルパスの活用を推進し、円滑な運用に努めている。</p> <p>A</p>																								
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度																																														
総合	88.0	88.1	89.0	90.0	92.1	90以上	92.1																																														
紹介率	27.5	194.3	161.5	115.5	111.3	175以上	114.7																																														
				<p>業務の実績</p> <p>平成25年から調査実施時期を統一し、実施している。</p> <p>患者満足度調査 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>91.8</td> <td>93.0</td> <td>94.7</td> <td>94.1</td> <td>92.6</td> <td>90以上</td> <td>90.9</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>53.2</td> <td>52.0</td> <td>52.5</td> <td>48.5</td> <td>43.7</td> <td>53以上</td> <td>47.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>総合</p>	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度	総合	91.8	93.0	94.7	94.1	92.6	90以上	90.9	紹介率	53.2	52.0	52.5	48.5	43.7	53以上	47.1	<p>他の医療機関と連携を図ることにより、紹介率を維持するとともに積極的な逆紹介を行った。地域医療支援病院として、紹介率・逆紹介率ともに施設基準を満たしており、地域医療支援病院の機能を果たした。ただし、目標数値には達していないため、今後は地域医療機関との連携に努めていく。</p> <p>地域の医療機関等との連携により、地域連携クリニカルパスの活用を推進し、円滑な運用に努めている。</p> <p>A</p>																								
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	元年度																																														
総合	91.8	93.0	94.7	94.1	92.6	90以上	90.9																																														
紹介率	53.2	52.0	52.5	48.5	43.7	53以上	47.1																																														

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																
<p>(3) 県立病院が重点的に取り組む医療</p> <p>県立総合病院においては、先端医学棟の設備・機能を最大限に活用し、3次疾患(がん、脳血管疾患、心疾患)を中心に高度・専門医療や急性期医療を提供すること。また、高度救命救急センターの運用による広範囲救急等、高度救急医療を継続して提供するほか、広域的な救急医療提供の体制を整備すること。</p> <p>なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率90%以上、入院患者満足度80%以上、外来患者満足度85%以上の達成を目指すこと。</p> <p>県立こころの医療センターにおいては、精神科救急・急性期医療の提供や他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図るほか、多様な精神疾患への対応や早期入院・早期社会復帰を支援する医療提供体制の充実を図ること。</p> <p>なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率85%以上、外来患者満足度85%以上の達成を目指すこと。</p> <p>県立こころも病院においては、小児重症心疾患患者やハイリスク胎児・妊婦、新生児に対する高度・先進医療を提供すること。また、小児がん拠点病院としての機能強化、高度な小児救急医療の実施及び児童精神分野の医療の充実を図るほか、患者の円滑な退院・在宅移行を支援する体制整備に努めること。</p> <p>なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率75%</p>	<p>(3) 県立病院が重点的に取り組む医療</p> <p>県が掲げる6疾病5事業を念頭に、各県立病院が専門性を活かしつつ、県立病院間や地域の医療機関との連携を強化して、病態に即した的確な医療を提供する。特に、全国的な課題とされている救急医療や急性期医療の充実を重点的に取り組む。</p>	<p>(3) 県立病院が重点的に取り組む医療</p> <p>各県立病院は、県が求める政策医療を念頭に、それぞれの特性を生かし、以下の医療に重点的に取り組む。</p>	<p>13</p>	<p>③④地域医療ネットワークシステムを整備・活用する。</p>	<p>業務の実績</p> <p>各病院(企業)</p> <table border="1"> <caption>ネットワーク構築 (単位:人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立総合病院</td> <td>14,424</td> <td>15,341</td> <td>19,265</td> <td>24,475</td> <td>33,270</td> </tr> <tr> <td>小児重症心疾患センター</td> <td>3,264</td> <td>3,264</td> <td>3,264</td> <td>3,264</td> <td>4,128</td> </tr> <tr> <td>小児がん拠点病院</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>小児救急医療センター</td> <td>122</td> <td>150</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>小児がん拠点病院</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>小児救急医療センター</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>ふじのくにパナチャール・メガ・ホスピタルについても、情報の開示施設である各地域の中核病院、診療所・医師会とともに、ふじのくにパナチャール・メガ・ホスピタル協議会を運営し、複数医療機関間相互の診療情報共有のため広域ネットワーク構築を構築して運用している。</p>	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	県立総合病院	14,424	15,341	19,265	24,475	33,270	小児重症心疾患センター	3,264	3,264	3,264	3,264	4,128	小児がん拠点病院	11	11	11	11	11	小児救急医療センター	122	150	20	21	22	小児がん拠点病院	11	13	13	9	8	小児救急医療センター	11	13	13	9	8	<p>説明</p> <p>開示施設数及び参画施設数は前年度と比較して減少したものの、令和元年度の新規開示件数は、前年度と比較して増加した。</p> <p>A</p>						
区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																	
県立総合病院	14,424	15,341	19,265	24,475	33,270																																																	
小児重症心疾患センター	3,264	3,264	3,264	3,264	4,128																																																	
小児がん拠点病院	11	11	11	11	11																																																	
小児救急医療センター	122	150	20	21	22																																																	
小児がん拠点病院	11	13	13	9	8																																																	
小児救急医療センター	11	13	13	9	8																																																	
<p>(3) 県立病院が重点的に取り組む医療</p> <p>循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こころも病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしている。</p>	<p>ア 循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こころも病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしている。</p>	<p>ア 循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こころも病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしている。</p>	<p>14</p>	<p>・周産期医療、精神科患者の身体合併症、認知症に対して、機体内3病院が連携し、より適切な医療の提供を行う。</p>	<p>業務の実績</p> <p>各病院</p> <table border="1"> <caption>周産期医療における搬送実績 (単位:件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児がん総合</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>小児救急総合</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>小児がん総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小児救急総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>この医療センターから総合病院へ身体合併症による搬送件数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児がん総合</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>小児救急総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	小児がん総合	9	8	7	7	7	小児救急総合	8	14	11	15	13	小児がん総合	0	0	0	0	0	小児救急総合	0	0	0	0	0	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	小児がん総合	3	4	7	4	9	小児救急総合	0	0	0	0	0	<p>3病院1法人のメリットを活かし、患者の搬送、医師の応援体制等病院間の連携協力体制を構築して行く。</p> <p>総合病院に常勤の精神科医師を配置し、精神科医療体制の構築に向けた連携を実施している。</p> <p>こころの医療センターとこころも病院の精神科医師と合同で症例検討会を開催している。</p> <p>こころも病院から総合病院に主に34週以降の切迫早産の場合の母体搬送が行われた。同一法人のため搬送時の医師の応援派遣がスムーズであることや設備の有効活用が図られている。</p> <p>今後、総合病院精神科病棟の整備にあたり、精神科医師が中心となり、機轉における精神科医療のあり方や役割分担を含めた検討を進める。</p> <p>A</p>
区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																	
小児がん総合	9	8	7	7	7																																																	
小児救急総合	8	14	11	15	13																																																	
小児がん総合	0	0	0	0	0																																																	
小児救急総合	0	0	0	0	0																																																	
区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																	
小児がん総合	3	4	7	4	9																																																	
小児救急総合	0	0	0	0	0																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																												
<p>以上、入院患者満足度90%以上の達成を目標とすること。 エイズ等の感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療等を提供すること。また、認知症をはじめとした精神科患者の身体合併症、周産期医療における産科合併症以外の合併症及び二次的障害を含む産後ケアへの対応など、一病院では対応が困難な分野においては、県立3病院のそれぞれの特性を活かし、相互に連携を取り、適切な対応を図ること。 その他、移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題に取り組み、今後の疾病構造や県民の医療ニーズの変化等に対応し、県が求める政策医療に協力すること。また、医療施設や機器の整備については計画的に実施することにも、県民の医療ニーズの変化や医療技術の進展に応じ、機動的な対応を行うこと。</p>	<p>ウ 結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療に著実に取り組む。</p>	<p>ウ 結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療に著実に取り組む。</p>	15	<p>【総】結核病棟を維持する。また各種感染症や難病、アレルギー疾患医療は県内医療機関との連携、協力関係を進める。 【総・子】腎臓移植、造血幹細胞移植、強角膜片作成(総合病院のみ)等への取組みを継続する。 【子】アレルギー疾患拠点病院として、講習会の実施等の取組みを継続する。</p>	<p>(総合) 結核病棟は50床で運用している。エイズ患者病院としてエイズ患者の受入体制を整えている。入院患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>25年度</td><td>27年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td></tr> <tr><td>エイズ</td><td>14</td><td>98</td><td>119</td><td>108</td><td>111</td><td>92</td></tr> </table> <p>腎臓移植 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>25年度</td><td>27年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td></tr> <tr><td>腎臓移植</td><td>13</td><td>11</td><td>14</td><td>18</td><td>17</td><td>17</td></tr> <tr><td>造血幹細胞移植</td><td>8</td><td>8</td><td>11</td><td>8</td><td>17</td><td>14</td></tr> <tr><td>強角膜片作成</td><td>6</td><td>7</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>計</td><td>27</td><td>26</td><td>28</td><td>30</td><td>30</td><td>34</td></tr> </table> <p>総合・ことごと</p> <p>(ことごと) 腎臓移植は、平成27年度に3件、平成28年度に2件、平成29年度に2件、平成30年度に1件、令和元年度に4件を行った。</p> <p>造血幹細胞移植実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>25年度</td><td>27年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td></tr> <tr><td>骨髄移植</td><td>9</td><td>4</td><td>4</td><td>2</td><td>5</td><td>3</td></tr> <tr><td>臍帯血</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>自家末梢血</td><td>2</td><td>8</td><td>5</td><td>7</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>同種末梢血</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>13</td><td>13</td><td>11</td><td>10</td><td>14</td><td>10</td></tr> </table> <p>アレルギー疾患に関する研修会・講習会開催件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>25年度</td><td>27年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td></tr> <tr><td>総合</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>ことごと</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>計</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <p>アレルギー疾患講習会開催件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>25年度</td><td>27年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td></tr> <tr><td>総合</td><td>153</td><td>171</td><td>204</td><td>217</td><td>210</td><td>212</td></tr> <tr><td>ことごと</td><td>153</td><td>171</td><td>204</td><td>217</td><td>210</td><td>212</td></tr> </table> <p>総合</p>	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	エイズ	14	98	119	108	111	92	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	腎臓移植	13	11	14	18	17	17	造血幹細胞移植	8	8	11	8	17	14	強角膜片作成	6	7	3	4	2	3	計	27	26	28	30	30	34	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	骨髄移植	9	4	4	2	5	3	臍帯血	1	0	2	1	3	2	自家末梢血	2	8	5	7	4	4	同種末梢血	1	1	0	0	2	1	計	13	13	11	10	14	10	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	総合	-	-	-	-	1	1	ことごと	3	3	3	4	4	3	計	2	2	2	3	3	3	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	総合	153	171	204	217	210	212	ことごと	153	171	204	217	210	212	<p>(総合) 地域医療ネットワークセンター、MSWや理学療法士等が中心となり、入院早期から退院調整を積極的に支援した。</p> <p>A</p>
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																												
エイズ	14	98	119	108	111	92																																																																																																																																												
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																												
腎臓移植	13	11	14	18	17	17																																																																																																																																												
造血幹細胞移植	8	8	11	8	17	14																																																																																																																																												
強角膜片作成	6	7	3	4	2	3																																																																																																																																												
計	27	26	28	30	30	34																																																																																																																																												
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																												
骨髄移植	9	4	4	2	5	3																																																																																																																																												
臍帯血	1	0	2	1	3	2																																																																																																																																												
自家末梢血	2	8	5	7	4	4																																																																																																																																												
同種末梢血	1	1	0	0	2	1																																																																																																																																												
計	13	13	11	10	14	10																																																																																																																																												
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																												
総合	-	-	-	-	1	1																																																																																																																																												
ことごと	3	3	3	4	4	3																																																																																																																																												
計	2	2	2	3	3	3																																																																																																																																												
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																												
総合	153	171	204	217	210	212																																																																																																																																												
ことごと	153	171	204	217	210	212																																																																																																																																												
	<p>エ リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。</p>	<p>エ リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。</p>	16~18	<p>【総】リハビリテーション、相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。</p>	<p>(総合) リハビリテーション活動の支援を受けている。また、在宅において的確な支援を行うため、訪問看護の充実を図り、看護師に加え、精神保健福祉士や作業療法士などを含めた複数職種の積極的な実施に努めている。</p> <p>リハビリテーション活動実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>25年度</td><td>27年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td></tr> <tr><td>訪問看護</td><td>8,858</td><td>7,709</td><td>7,048</td><td>5,992</td><td>5,484</td><td>4,188</td></tr> <tr><td>理学療法</td><td>4,100</td><td>4,229</td><td>4,418</td><td>5,655</td><td>6,023</td><td>4,168</td></tr> <tr><td>作業療法</td><td>1,270</td><td>980</td><td>601</td><td>705</td><td>470</td><td>3,113</td></tr> <tr><td>合計</td><td>14,228</td><td>12,918</td><td>12,067</td><td>11,347</td><td>11,577</td><td>8,269</td></tr> </table> <p>訪問看護 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>25年度</td><td>27年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td></tr> <tr><td>訪問看護</td><td>2,181</td><td>2,000</td><td>1,911</td><td>1,906</td><td>1,996</td><td>1,710</td></tr> <tr><td>理学療法</td><td>2,119</td><td>2,119</td><td>2,119</td><td>2,119</td><td>2,119</td><td>2,119</td></tr> <tr><td>作業療法</td><td>2,119</td><td>2,119</td><td>2,119</td><td>2,119</td><td>2,119</td><td>2,119</td></tr> <tr><td>合計</td><td>6,419</td><td>6,238</td><td>6,149</td><td>6,144</td><td>6,234</td><td>5,948</td></tr> </table> <p>総合</p>	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	訪問看護	8,858	7,709	7,048	5,992	5,484	4,188	理学療法	4,100	4,229	4,418	5,655	6,023	4,168	作業療法	1,270	980	601	705	470	3,113	合計	14,228	12,918	12,067	11,347	11,577	8,269	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	訪問看護	2,181	2,000	1,911	1,906	1,996	1,710	理学療法	2,119	2,119	2,119	2,119	2,119	2,119	作業療法	2,119	2,119	2,119	2,119	2,119	2,119	合計	6,419	6,238	6,149	6,144	6,234	5,948	<p>A</p>																																																																						
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																												
訪問看護	8,858	7,709	7,048	5,992	5,484	4,188																																																																																																																																												
理学療法	4,100	4,229	4,418	5,655	6,023	4,168																																																																																																																																												
作業療法	1,270	980	601	705	470	3,113																																																																																																																																												
合計	14,228	12,918	12,067	11,347	11,577	8,269																																																																																																																																												
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																												
訪問看護	2,181	2,000	1,911	1,906	1,996	1,710																																																																																																																																												
理学療法	2,119	2,119	2,119	2,119	2,119	2,119																																																																																																																																												
作業療法	2,119	2,119	2,119	2,119	2,119	2,119																																																																																																																																												
合計	6,419	6,238	6,149	6,144	6,234	5,948																																																																																																																																												
	<p>エ リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。</p>	<p>エ リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。</p>	16~18	<p>【総】言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他の充実を図る。</p>	<p>(総合) リハビリテーション活動の支援を受けている。また、在宅において的確な支援を行うため、訪問看護の充実を図り、看護師に加え、精神保健福祉士や作業療法士などを含めた複数職種の積極的な実施に努めている。</p> <p>リハビリテーション活動実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>25年度</td><td>27年度</td><td>28年度</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td></tr> <tr><td>訪問看護</td><td>20,414</td><td>17,811</td><td>17,500</td><td>18,944</td><td>17,309</td><td>22,829</td></tr> <tr><td>理学療法</td><td>7,317</td><td>6,335</td><td>6,010</td><td>6,685</td><td>6,039</td><td>4,526</td></tr> <tr><td>作業療法</td><td>8,084</td><td>7,853</td><td>8,058</td><td>7,308</td><td>7,901</td><td>5,110</td></tr> <tr><td>合計</td><td>35,815</td><td>31,999</td><td>31,568</td><td>32,937</td><td>31,249</td><td>32,465</td></tr> </table> <p>総合</p>	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	訪問看護	20,414	17,811	17,500	18,944	17,309	22,829	理学療法	7,317	6,335	6,010	6,685	6,039	4,526	作業療法	8,084	7,853	8,058	7,308	7,901	5,110	合計	35,815	31,999	31,568	32,937	31,249	32,465	<p>A</p>																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																												
訪問看護	20,414	17,811	17,500	18,944	17,309	22,829																																																																																																																																												
理学療法	7,317	6,335	6,010	6,685	6,039	4,526																																																																																																																																												
作業療法	8,084	7,853	8,058	7,308	7,901	5,110																																																																																																																																												
合計	35,815	31,999	31,568	32,937	31,249	32,465																																																																																																																																												

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価														
	オ 遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	オ 遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	19	・遺伝子診療に関して、体制の整備・充実を図る。	総合	<p>遺伝子解析患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>25年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>受診患者数</td><td>144</td><td>131</td><td>135</td><td>147</td><td>161</td><td>146</td></tr> </table>	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	受診患者数	144	131	135	147	161	146
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度														
受診患者数	144	131	135	147	161	146														
	カ 認知症については、鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等の実施に取り組む。発達障害については、早期療育につなげる鑑別診断や治療を実施する。また、地域の保健福祉関係者への助言等の医学的支援や、医療従事者や教育関係者に対する研修の実施に取り組む。	カ 認知症については、鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等の実施に取り組む。発達障害については、早期療育につなげる鑑別診断や治療を実施する。また、地域の保健福祉関係者への助言等の医学的支援や、医療従事者や教育関係者に対する研修の実施に取り組む。	20 22	【総】・鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、認知症ケアチームの介介入、専門医療相談等を推進する。 ・精神科リエンゾンチームの運営を開始し、精神科外来の業務を確立する。 【心】・症状が重篤な認知症患者を受入れるための、精神科救急・急性期医療体制を確保する。 【心】・老年期特有の専門外来（老年期こころと物忘れ外来）により専門的な医療相談を実施する。 【子】・発達障害については、従来からの新生児退院診察や、新生児包括外来における低体重児の発達フォローを継続し、トレーニングについても継続して取り組む。	総合	<p>脳FDG-PETの実施件数は前年度とほぼ同数であった。一方、認知症ケア加算の算定件数は、前年度を下回った。</p>														
	キ 移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	キ 移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	23	・機構内各病院や他医療機関、県などと連携して移行期医療及び成人期医療を提供する。 ・【こころ】思春期及び小児科から成人への移行期における精神科医療体制の強化を図る。 ・【子】県担当員と協議しつつ、移行期医療支援センターの設置に向けた検討・準備を進める。 ・【心】医療的ケア児対応のための病棟整備について、検討を進める。	こども	<p>精神科救急、急性期医療体制を確保して症状が重篤な認知症患者を受け入れるとともに、老年期特有の専門外来（老年期こころと物忘れ外来）により専門的な医療相談を実施している。</p> <p>増加傾向にある発達小児科患者に対しては、従来以上に家族へのべアレントトレーニングを実施した。また、新生児科において、低出生体重児の発達フォローを継続して実施している。</p> <p>東部地区に発達障害を取り医師が少なく、患者が増加していることから、当院でも有期医師を1名増員し診療体制の充実を図った。また、今年度は県と連携して、東部地区の病院の医師4名に対し、発達障害医師養成研修を11回行った。</p>														
	キ 移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	キ 移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	23	・機構内各病院や他医療機関、県などと連携して移行期医療及び成人期医療を提供する。 ・【こころ】思春期及び小児科から成人への移行期における精神科医療体制の強化を図る。 ・【子】県担当員と協議しつつ、移行期医療支援センターの設置に向けた検討・準備を進める。 ・【心】医療的ケア児対応のための病棟整備について、検討を進める。	各病院	<p>機構内病院が県と連携し、こどもから成人まで切れ目のない医療を提供している。</p> <p>(総合)</p> <p>毎週火曜日に先天性心疾患外来を設置し、こども病院と当院の循環器内科医師が連携しながら診察を行った。</p> <p>(こころ)</p> <p>小児から成人までの移行期(児童)にあたる患者の紹介件数が増加している。</p> <p>また、こども病院の精神科医師との合同カンファレンス症例検討を行い、小児から成人への移行期医療のための連携強化を図っている。</p> <p>(こども)</p> <p>移行期医療に関する部署を組織化し、また、県からも移行期医療支援センター運営事業を委託することになった。今後、県と連携して移行期医療体制の拡充に取り組みたい。</p> <p>在宅移行の推進や在宅移行後の医療的ケア児への対応については、関係福祉機関、教育機関等において当院医師、看護師による講習や会議への出席等により支援をしている。</p>														

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																															
ク	高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術・放射線治療等の拡充など、高度な治療への対応の強化や適切な治療への提供に取り組む。また、医療を取り巻く環境変化に応じて、先進的な施設や設備等の充実に努める。	高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術・放射線治療等の拡充など、高度な治療への対応の強化や適切な治療への提供に取り組む。また、医療を取り巻く環境変化に応じて、先進的な施設や設備等の充実に努める。	24	各病院・本部(経営)	<p>減価償却費については、令和元年度実績額40億程度で、第3期中期計画期間中に47億程度まで上昇することを想定しているが、経営状況を見ながら適切に投資判断を行っている。</p> <p>総合病棟の無菌病棟については、第1期リニューアル工事において、旧手術室エリアの無菌病棟26床を整備するとともに、5F病棟を9床増床する改修工事を行い、8月から運用を開始した。</p> <p>令和元年度執行予定だった工事(こども北5改修)については、病院マスタープランとの整合、院内調整を行い、工事の基本方針を決定した。</p>																																
ケ	各県立病院は、質の高い医療を継続的に提供するため、次のとおり重点的に取り組む。	各県立病院は医療の提供に当たり、次のとおり重点的に取り組む。	-	-	<p>ICU/CCUの稼働率及び1日平均入室患者数は前年度を下回った。毎年度、上半期は循環器疾患や脳疾患の症例が少なく、下半期に稼働率が上昇する傾向があるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で入室患者数が伸びなかった。</p> <p>今後とも稼働率の向上に加え、特定集中治療室管理料の算定率向上に努める。手術件数は、順調に推移していることから、重症系病棟のニーズは継続するものと考えられる。</p>																																
ク	県立総合病院	県立総合病院診療事業 県内医療機関の中核的病院として、各疾患に対する総合的な医療をはじめ、3次疾患(心疾患、脳血管疾患、がん)に対する高度・専門医療や救急・急性期医療等を提供する。 各診療事業を推進するため、医師・看護師確保に取り組む。 県民に提供する医療<業務予定量> 病床数 712床 一般病床 662床 結核病床 50床 外来患者 431,000人 入院患者 235,745人	25	総合	<p>ICU/ICUは平成30年9月より14床で運用している。</p> <table border="1" data-bbox="399 1142 478 1344"> <caption>CCU/ICU稼働率 (単位:%)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>100.5</td> <td>102.6</td> <td>100.0</td> <td>113.1</td> <td>119.1</td> <td>100.3</td> <td>100.3</td> </tr> <tr> <td>入室患者数(人)</td> <td>738</td> <td>771</td> <td>729</td> <td>780</td> <td>771</td> <td>860</td> <td>860</td> </tr> <tr> <td>1日1床5人(人)</td> <td>10.1</td> <td>10.3</td> <td>11.0</td> <td>13.0</td> <td>14.3</td> <td>14.0</td> <td>14.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	稼働率(%)	100.5	102.6	100.0	113.1	119.1	100.3	100.3	入室患者数(人)	738	771	729	780	771	860	860	1日1床5人(人)	10.1	10.3	11.0	13.0	14.3	14.0	14.0
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																														
稼働率(%)	100.5	102.6	100.0	113.1	119.1	100.3	100.3																														
入室患者数(人)	738	771	729	780	771	860	860																														
1日1床5人(人)	10.1	10.3	11.0	13.0	14.3	14.0	14.0																														
ケ	急性心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患において、常時高度な専門的治療を提供する。加えて、生活習慣病としての危険因子を管理するため、地域の医療機関との連携を強化する。	循環器疾患患者に対して循環器センター機能を生かした常時高度な専門的治療を提供する体制の充実 ①重症心不全疾患の患者に対して冠状動脈疾患集中治療室(CCU/ICU)機能を最大限に生かした高度な専門的治療の提供 ②急性心筋梗塞、脳卒中発症患者に対して、常時救急受入体制の強化 ③循環器関連診療科の有機的な連携によるチーム医療の推進 ④ハイブリッド手術室の使用によるステントグラフト治療、TAVI(経カテーテル大動脈弁治療)、低侵襲心臓手術(MICS)等の高度専門医療の提供	26	総合	<p>脳卒中発症患者に対する急性期医療の提供体制を整備するとともに、在宅医療への情報提供等、在宅復帰に向けた取り組みを推進する。</p>																																
ク	急性心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患において、常時高度な専門的治療を提供する。加えて、生活習慣病としての危険因子を管理するため、地域の医療機関との連携を強化する。	循環器疾患患者に対して循環器センター機能を生かした常時高度な専門的治療を提供する体制の充実 ①重症心不全疾患の患者に対して冠状動脈疾患集中治療室(CCU/ICU)機能を最大限に生かした高度な専門的治療の提供 ②急性心筋梗塞、脳卒中発症患者に対して、常時救急受入体制の強化 ③循環器関連診療科の有機的な連携によるチーム医療の推進 ④ハイブリッド手術室の使用によるステントグラフト治療、TAVI(経カテーテル大動脈弁治療)、低侵襲心臓手術(MICS)等の高度専門医療の提供	27	総合	<p>脳卒中地域連携クリニック・ICU/ICU稼働率</p> <table border="1" data-bbox="558 1142 638 1344"> <caption>ICU/ICU稼働率 (単位:%)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>100.5</td> <td>102.6</td> <td>100.0</td> <td>113.1</td> <td>119.1</td> <td>100.3</td> <td>100.3</td> </tr> <tr> <td>入室患者数(人)</td> <td>738</td> <td>771</td> <td>729</td> <td>780</td> <td>771</td> <td>860</td> <td>860</td> </tr> <tr> <td>1日1床5人(人)</td> <td>10.1</td> <td>10.3</td> <td>11.0</td> <td>13.0</td> <td>14.3</td> <td>14.0</td> <td>14.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	稼働率(%)	100.5	102.6	100.0	113.1	119.1	100.3	100.3	入室患者数(人)	738	771	729	780	771	860	860	1日1床5人(人)	10.1	10.3	11.0	13.0	14.3	14.0	14.0
区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																														
稼働率(%)	100.5	102.6	100.0	113.1	119.1	100.3	100.3																														
入室患者数(人)	738	771	729	780	771	860	860																														
1日1床5人(人)	10.1	10.3	11.0	13.0	14.3	14.0	14.0																														

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																												
			28	③生活学習習慣を心血管疾患の発症危険因子としてとらえ、循環器内科、神経内科、腎臓内科、心臓血管外科等が有機的に連携して、チーム医療の推進を図る。 ④ハイブリッド手術室を運用する体制を整備し、高度専門医療を提供する。	<p>糖尿病・内分泌内科を始め、そのまま外来、透析室等において着実に指導を行い、糖尿病透析予防指導管理料の算定件数は前年度を大きく上回った。</p> <p>MR/ハイブリッド手術室は、手術室・MRI検査室を併設しており、主に脳神経外科の脳腫瘍切除術に使用される。CT/ハイブリッド手術室は、手術室にCT検査装置を併設しており、主に脳神経外科の脳血管腫瘍や脳腫瘍の手術に使用される。血管造影・ハイブリッド手術室は、手術室にX線血管造影装置を併設しており、主に心臓血管外科、循環器内科のTAVI、ステントアブレーション術、MitraClip等の手術に使用される。</p> <p>ハイブリッド手術室の使用件数は、毎年度、循環器疾患や脳疾患の症例が下半期に稼働率が上昇する傾向があるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で前年度より減少した。TAVIやステントアブレーション術等の低侵襲な手術の件数は、高い水準を維持している。特にMitraClipについては、全国12施設の一つとして、平成30年10月に実施施設の認定を受けており、実施件数は順調に増加しているなど、高度専門医療を提供している。</p>	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>説明</p>																																																																																																												
			29		<p>がん手術件数は前年度の値を上回った。施設面では、令和元年8月にリアニエーション棟での放射線治療を開始し、放射線治療件数についても、高度変調放射線治療(MRT)を始めとする高精度な治療の実施により、地域の医療機関等からの紹介患者が増加したため目標値を上回った。</p> <p>がん内初となる遺伝性乳癌卵巣癌総合診療センター施設に認定された他、がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療提供体制の構築を進めた。</p>	<p>がん手術件数は前年度の値を上回った。施設面では、令和元年8月にリアニエーション棟での放射線治療を開始し、放射線治療件数についても、高度変調放射線治療(MRT)を始めとする高精度な治療の実施により、地域の医療機関等からの紹介患者が増加したため目標値を上回った。</p> <p>がん内初となる遺伝性乳癌卵巣癌総合診療センター施設に認定された他、がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療提供体制の構築を進めた。</p>																																																																																																												
			30	①がん患者が速やかに検査や治療を受けられる体制を構築し、手術件数の増加に努める。	<p>がん手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>元年度</th> <th>令和元年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がんがん</td> <td>134</td> <td>135</td> <td>136</td> <td>133</td> <td>133</td> <td>130</td> <td>130</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>がんがん</td> <td>262</td> <td>310</td> <td>261</td> <td>267</td> <td>267</td> <td>267</td> <td>267</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>がんがん</td> <td>114</td> <td>138</td> <td>136</td> <td>139</td> <td>134</td> <td>134</td> <td>134</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>がんがん</td> <td>320</td> <td>324</td> <td>343</td> <td>352</td> <td>349</td> <td>349</td> <td>349</td> <td>349</td> </tr> <tr> <td>がんがん</td> <td>2,075</td> <td>2,014</td> <td>2,133</td> <td>2,205</td> <td>2,205</td> <td>2,205</td> <td>2,205</td> <td>2,205</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>2,720</td> <td>2,753</td> <td>2,769</td> <td>2,806</td> <td>2,806</td> <td>2,806</td> <td>2,806</td> <td>2,806</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>※がん手術合計、手術全数は複数手術をした場合は、それぞれを計上</p> <p>がん手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>元年度</th> <th>令和元年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がんがん</td> <td>10,605</td> <td>2,585</td> <td>435</td> <td>417</td> <td>31</td> <td>14,085</td> <td>14,085</td> <td>14,085</td> </tr> <tr> <td>がんがん</td> <td>10,609</td> <td>2,760</td> <td>484</td> <td>461</td> <td>41</td> <td>14,535</td> <td>14,535</td> <td>14,535</td> </tr> <tr> <td>がんがん</td> <td>10,489</td> <td>2,813</td> <td>445</td> <td>389</td> <td>56</td> <td>14,192</td> <td>14,192</td> <td>14,192</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度より複数診療科目算定件数とする。</p>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	元年度	令和元年	がんがん	134	135	136	133	133	130	130	129	がんがん	262	310	261	267	267	267	267	268	がんがん	114	138	136	139	134	134	134	134	がんがん	320	324	343	352	349	349	349	349	がんがん	2,075	2,014	2,133	2,205	2,205	2,205	2,205	2,205	手術件数	2,720	2,753	2,769	2,806	2,806	2,806	2,806	2,806	手術件数	25	25	25	25	25	25	25	25	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	元年度	令和元年	がんがん	10,605	2,585	435	417	31	14,085	14,085	14,085	がんがん	10,609	2,760	484	461	41	14,535	14,535	14,535	がんがん	10,489	2,813	445	389	56	14,192	14,192	14,192	<p>がん手術件数は前年度の値を上回った。施設面では、令和元年8月にリアニエーション棟での放射線治療を開始し、放射線治療件数についても、高度変調放射線治療(MRT)を始めとする高精度な治療の実施により、地域の医療機関等からの紹介患者が増加したため目標値を上回った。</p> <p>がん内初となる遺伝性乳癌卵巣癌総合診療センター施設に認定された他、がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療提供体制の構築を進めた。</p>
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	元年度	令和元年																																																																																																										
がんがん	134	135	136	133	133	130	130	129																																																																																																										
がんがん	262	310	261	267	267	267	267	268																																																																																																										
がんがん	114	138	136	139	134	134	134	134																																																																																																										
がんがん	320	324	343	352	349	349	349	349																																																																																																										
がんがん	2,075	2,014	2,133	2,205	2,205	2,205	2,205	2,205																																																																																																										
手術件数	2,720	2,753	2,769	2,806	2,806	2,806	2,806	2,806																																																																																																										
手術件数	25	25	25	25	25	25	25	25																																																																																																										
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	元年度	令和元年																																																																																																										
がんがん	10,605	2,585	435	417	31	14,085	14,085	14,085																																																																																																										
がんがん	10,609	2,760	484	461	41	14,535	14,535	14,535																																																																																																										
がんがん	10,489	2,813	445	389	56	14,192	14,192	14,192																																																																																																										
			31	①外来化学療法センターの環境整備を行い、化学療法の充実を図る。	<p>外来化学療法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>元年度</th> <th>令和元年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がんがん</td> <td>9,963</td> <td>10,508</td> <td>11,171</td> <td>11,680</td> <td>12,050</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度より複数診療科目算定件数とする。</p>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	元年度	令和元年	がんがん	9,963	10,508	11,171	11,680	12,050	12,000	12,000	12,000	<p>外来化学療法加算算定件数は、前年度の値及び目標値を上回った。また、現在外来化学療法センターは、北館1階に設置されているが、令和2年8月に本館2階への移転を予定し準備を進めた。</p>																																																																																										
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	元年度	令和元年																																																																																																										
がんがん	9,963	10,508	11,171	11,680	12,050	12,000	12,000	12,000																																																																																																										

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価
				②地域の医療機関等と連携し、緩和ケアや終末期ケアを推進する。	緩和ケアチーム介入症例数 (単位:件) 区分 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 症例数 381 403 372 389 418 527 緩和ケア診療加算算定患者数 (単位:件) 区分 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 件数 1 1 1 1 1 312 5,219	平成30年7月に新設された地域がん診療連携拠点病院(高度型)の申請に向け、指定要件となる緩和医療に係る体制強化に取り組んだ。緩和医療科医師1名(平成30年12月)の着任により、平成31年2月に緩和ケア診療加算算定の施設基準を取得し、緩和ケア診療加算算定を開始した。さらに、精神科医師1名(令和元年4月)の着任により、緩和ケアチームの活動がより活性化し、介入症例数及び緩和ケア診療加算算定件数が大幅に増加した。令和元年9月に緩和ケアセンター(緩和ケアチーム)を新たに組織し、院内における緩和医療の提供体制を充実させるとともに、地域の医療機関等との定期的なカンファレンスを通じて連携強化に取り組んだ。令和2年3月27日、県内初の地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定された。
			32		総合	A
			33	③がん相談支援センターの機能を増強し、がんに関する相談支援、情報の提供に努める。	がん相談件数 (単位:件) 区分 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 がん相談 3,784 3,955 4,357 5,586 4,374 4,729	がん相談支援センターにおいて、がんに関する専門資格を有する看護師を中心に対面及び電話による相談を実施した。
			34	④ロボット支援手術の件数増加に努める	総合	B
			35	○認知症や精神科患者の身体合併症などに対応できる体制の整備 ①認知症等に対応する医療提供体制の構築に向けた取組	総合	A
			36	○先端医学種に整備した各種ハイブリッド手術室や放射線治療室の運用により、適切な治療を提供していく。 ①ハイブリッド手術室を活用した高度専門医療の推進 ②高度放射線治療の推進	手術数 (単位:件) 区分 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 手術数 7,890 8,375 8,538 9,115 9,279(900)止 9,819 HCU患者数 (単位:人) 区分 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 人数 2,927 3,308 3,372 3,535 6,872 6,429	令和元年7月に精神科エリゾンチームの施設基準を取得し、活動を開始した。今後、精神科外来及び精神科病棟の整備方針の検討を行う予定である。 手術件数は主に外来手術件数の増加により、前年度の件数及び目標値を上回った。一方、HCU症患者数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、入室対象となる手術が減少したため、前年度を下回った。 今後とも手術室の一体的かつ効率的な運用に努める。
			37	○重篤な救急患者に対応する高度救命救急センターの運営 ①高度救命救急センター運営に必要な専門スタッフの確保・育成 ②集中治療専門医の確保 ③救急搬送患者の受入体制の充実	総合	A
				①②医師の増員を図るとともに、働きやすさに配慮した変則勤務が可能な体制を維持する。	医師の年間勤務総時数 (単位:%) 区分 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 総時数(人) 1,517 1,644 1,634 1,722 1,711 1,728 平均時数(人) 2,924 3,052 3,041 3,089 3,065 3,077 ※1:勤務時間外に発生した緊急対応時間 ※2:救急搬送患者の受入体制の確保 ※3:救急搬送患者の受入体制の確保	救急患者の円滑な受入体制を維持するため、救急当直体制の運用見直し等を実施するとともに、救命救急科医師の確保に努めている。

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																																																											
					<p>救急科医師9名体制で稼働</p> <table border="1"> <tr><th>救急車受入件数</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>34.2</td><td>37.1</td><td>36.3</td><td>34.6</td><td>37.4</td><td>36.7</td></tr> <tr><td>夜間</td><td>89.3</td><td>93.0</td><td>93.0</td><td>94.9</td><td>97.4</td><td>92.9</td></tr> </table> <p>救急車受入率</p> <table border="1"> <tr><th>救急車受入率</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>14.2</td><td>15.1</td><td>14.9</td><td>14.4</td><td>15.4</td><td>14.9</td></tr> <tr><td>夜間</td><td>20.3</td><td>21.4</td><td>21.4</td><td>21.8</td><td>22.8</td><td>21.8</td></tr> </table> <p>救急車受入率(夜間)</p> <table border="1"> <tr><th>救急車受入率(夜間)</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>29.3</td><td>30.8</td><td>30.8</td><td>31.8</td><td>32.8</td><td>31.8</td></tr> <tr><td>夜間</td><td>70.7</td><td>73.0</td><td>73.0</td><td>75.0</td><td>78.0</td><td>75.0</td></tr> </table> <p>救急車受入率(夜間)</p> <table border="1"> <tr><th>救急車受入率(夜間)</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>307</td><td>310</td><td>307</td><td>318</td><td>328</td><td>317</td></tr> <tr><td>夜間</td><td>710</td><td>720</td><td>710</td><td>720</td><td>730</td><td>710</td></tr> </table>	救急車受入件数	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	34.2	37.1	36.3	34.6	37.4	36.7	夜間	89.3	93.0	93.0	94.9	97.4	92.9	救急車受入率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	14.2	15.1	14.9	14.4	15.4	14.9	夜間	20.3	21.4	21.4	21.8	22.8	21.8	救急車受入率(夜間)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	29.3	30.8	30.8	31.8	32.8	31.8	夜間	70.7	73.0	73.0	75.0	78.0	75.0	救急車受入率(夜間)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	307	310	307	318	328	317	夜間	710	720	710	720	730	710	38	③救急車の受入を確実にできる診療体制を維持する。 ・ドクターカーの運用に関して、出勤可能な市町の拡大に努める。	<p>業務の実績</p> <table border="1"> <tr><th>救急車受入率</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>34.2</td><td>37.1</td><td>36.3</td><td>34.6</td><td>37.4</td><td>36.7</td></tr> <tr><td>夜間</td><td>89.3</td><td>93.0</td><td>93.0</td><td>94.9</td><td>97.4</td><td>92.9</td></tr> </table> <p>救急車受入率</p> <table border="1"> <tr><th>救急車受入率</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>14.2</td><td>15.1</td><td>14.9</td><td>14.4</td><td>15.4</td><td>14.9</td></tr> <tr><td>夜間</td><td>20.3</td><td>21.4</td><td>21.4</td><td>21.8</td><td>22.8</td><td>21.8</td></tr> </table> <p>救急車受入率(夜間)</p> <table border="1"> <tr><th>救急車受入率(夜間)</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>29.3</td><td>30.8</td><td>30.8</td><td>31.8</td><td>32.8</td><td>31.8</td></tr> <tr><td>夜間</td><td>70.7</td><td>73.0</td><td>73.0</td><td>75.0</td><td>78.0</td><td>75.0</td></tr> </table> <p>救急車受入率(夜間)</p> <table border="1"> <tr><th>救急車受入率(夜間)</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>307</td><td>310</td><td>307</td><td>318</td><td>328</td><td>317</td></tr> <tr><td>夜間</td><td>710</td><td>720</td><td>710</td><td>720</td><td>730</td><td>710</td></tr> </table>	救急車受入率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	34.2	37.1	36.3	34.6	37.4	36.7	夜間	89.3	93.0	93.0	94.9	97.4	92.9	救急車受入率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	14.2	15.1	14.9	14.4	15.4	14.9	夜間	20.3	21.4	21.4	21.8	22.8	21.8	救急車受入率(夜間)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	29.3	30.8	30.8	31.8	32.8	31.8	夜間	70.7	73.0	73.0	75.0	78.0	75.0	救急車受入率(夜間)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	307	310	307	318	328	317	夜間	710	720	710	720	730	710	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>救急科医師数は前年度から変わっていないが、現在も救急当直体制の見直しを行っているが、現在も医師数が充足しているとは言えない状況である。</p> <p>救急患者数及び救急車受入件数は、新型コロナウイルス感染症の影響で2月・3月の件数が減少したため前年度と比較して減少した。</p> <p>・救急患者数 令和元年度 12,882人 前年度比 -230人 令和元年度受入件数 令和元年度 5,553件 前年度比 -371件 ドクターカーは事故による重症外傷や胸痛等の備置器具が疑われる病態に対して出勤している。出勤件数は前年度と同数であった。</p>
救急車受入件数	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	34.2	37.1	36.3	34.6	37.4	36.7																																																																																																																																																																											
夜間	89.3	93.0	93.0	94.9	97.4	92.9																																																																																																																																																																											
救急車受入率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	14.2	15.1	14.9	14.4	15.4	14.9																																																																																																																																																																											
夜間	20.3	21.4	21.4	21.8	22.8	21.8																																																																																																																																																																											
救急車受入率(夜間)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	29.3	30.8	30.8	31.8	32.8	31.8																																																																																																																																																																											
夜間	70.7	73.0	73.0	75.0	78.0	75.0																																																																																																																																																																											
救急車受入率(夜間)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	307	310	307	318	328	317																																																																																																																																																																											
夜間	710	720	710	720	730	710																																																																																																																																																																											
救急車受入率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	34.2	37.1	36.3	34.6	37.4	36.7																																																																																																																																																																											
夜間	89.3	93.0	93.0	94.9	97.4	92.9																																																																																																																																																																											
救急車受入率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	14.2	15.1	14.9	14.4	15.4	14.9																																																																																																																																																																											
夜間	20.3	21.4	21.4	21.8	22.8	21.8																																																																																																																																																																											
救急車受入率(夜間)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	29.3	30.8	30.8	31.8	32.8	31.8																																																																																																																																																																											
夜間	70.7	73.0	73.0	75.0	78.0	75.0																																																																																																																																																																											
救急車受入率(夜間)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	307	310	307	318	328	317																																																																																																																																																																											
夜間	710	720	710	720	730	710																																																																																																																																																																											
				<p>①No.36 ②病率的な病院運営を行い、高い病床稼働率を維持する ③No.8</p>	<p>・病床稼働率</p> <table border="1"> <tr><th>病床稼働率</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>80.7</td><td>81.0</td><td>80.1</td><td>81.5</td><td>83.8</td><td>83.0</td></tr> </table> <p>・病床稼働率</p> <table border="1"> <tr><th>病床稼働率</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th></tr> <tr><td>全日</td><td>80.7</td><td>81.0</td><td>80.1</td><td>81.5</td><td>83.8</td><td>83.0</td></tr> </table>	病床稼働率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	80.7	81.0	80.1	81.5	83.8	83.0	病床稼働率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	全日	80.7	81.0	80.1	81.5	83.8	83.0	39	①効率的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供 ①手術件数の増加 ②病床稼働率90%以上の維持 ③患者満足度の向上	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>入院患者数は、医療観察法対象患者の減少や平均在院日数の短縮等により、目標値を下回っているが、限外からの司法患者を受け入れるなど、新規患者の獲得に努めている。外来患者数は、デイケア患者の地域移行が促進されたことなどにより、平成30年度実績を下回った。</p> <p>今後、デイケア患者のマネジメントを強化することなどにより、外来患者数の確保に努めるとともに、他の医療機関では対応困難な重症患者などを積極的に受け入れ、県内精神医療の中核病院としての役割を果たす。</p>																																																																																																																																													
病床稼働率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	80.7	81.0	80.1	81.5	83.8	83.0																																																																																																																																																																											
病床稼働率	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																											
全日	80.7	81.0	80.1	81.5	83.8	83.0																																																																																																																																																																											
				<p>【目録】県立総合病院 ・手術件数(総合) ・病床稼働率(総合) ・患者満足度(総合) ・ハイブリッド手術件数(総合) ・放射線治療症例件数(総合) ・外来化学療法件数(総合) ・ダヴィンチ使用手術件数(総合)</p>	<p>【目録】県立総合病院 ・手術件数(総合) ・病床稼働率(総合) ・患者満足度(総合) ・ハイブリッド手術件数(総合) ・放射線治療症例件数(総合) ・外来化学療法件数(総合) ・ダヴィンチ使用手術件数(総合)</p>	40	県立こころの医療センター診療事業 県内精神医療の中核病院として、総合的・専門的な精神科医療を提供するとともに、精神科救急・急性期医療や、他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図る。 県民に提供する医療<業務予定量> 病床数 280床 精神病床 280床 外来患者 41,005人 入院患者 57,062人	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>入院患者数は、医療観察法対象患者の減少や平均在院日数の短縮等により、目標値を下回っているが、限外からの司法患者を受け入れるなど、新規患者の獲得に努めている。外来患者数は、デイケア患者の地域移行が促進されたことなどにより、平成30年度実績を下回った。</p> <p>今後、デイケア患者のマネジメントを強化することなどにより、外来患者数の確保に努めるとともに、他の医療機関では対応困難な重症患者などを積極的に受け入れ、県内精神医療の中核病院としての役割を果たす。</p>																																																																																																																																																																									
				<p>県立こころの医療センター ・常時精神科救急医療相談に応じ、患者の支援体制の充実を図る。 ・救急患者を受け入れ、新たな入院患者が早期に退院し社会復帰できるように支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の充実を図る。</p>	<p>県立こころの医療センター ・常時精神科救急医療相談に応じ、患者の支援体制の充実を図る。 ・救急患者を受け入れ、新たな入院患者が早期に退院し社会復帰できるように支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の充実を図る。</p>	41	①②24時間体制で精神科救急医療相談に応じ、患者を受け入れるとともに、新たな入院患者が90日以内に退院し社会復帰できるように支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備を図る。	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>24時間体制で精神科救急医療相談に応じ、新たな入院患者が早期退院し社会復帰できるよう精神科救急・急性期医療の提供体制の整備に努めている。</p> <p>精神科救急ダイヤルは、平成30年度実績を大幅に上回り増加している。</p> <p>精神科救急入院料算定の基準である時間外診療件数は平成30年度を上回り目標値を達成している。</p>																																																																																																																																																																									

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																								
			42	①新たな入院患者が90日以内 に退院できるよう促進し、精神科 救急入院料の施設基準を維持 する。	早期治療 早期退院の実現により、救急精神(朝2)、急性期治療 病棟(北2)における「新規患者数」「新規患者3ヶ月以内在宅移 行率」はそれぞれの施設基準を満たしている。 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>2019年度</th><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th><th>2025年度</th></tr> <tr><td>新規患者数</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr> <tr><td>新規患者3ヶ月以内在宅移行率</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> </table>	年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	新規患者数	10	10	10	10	10	10	10	新規患者3ヶ月以内在宅移行率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	A																
年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																							
新規患者数	10	10	10	10	10	10	10																																							
新規患者3ヶ月以内在宅移行率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%																																							
	・他の医療機関では対応困難な 精神疾患患者への先進的治療 に積極的に取り組む。	○他の医療機関では対応困難な 精神疾患患者に対する高度医 療への積極的な取組 ①高度専門医療(クロザピン、m -ECT(修正型電気けいれん療 法)、心理・社会的治療(心理教 育、家族教室等))への取組	43	①薬物療法による治療効果が低 い重症患者に対する治療法とし て、m-ECT(修正型電気けいれ ん療法)を積極的に実施する。 ②高度・専門医療の積極的な実施	m-ECTの治療を本年度も継続して積極的に実施している。 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>2019年度</th><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th><th>2025年度</th></tr> <tr><td>m-ECT実施患者数</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><td>m-ECT実施患者3ヶ月以内在宅移行率</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> </table>	年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	m-ECT実施患者数	5	5	5	5	5	5	5	m-ECT実施患者3ヶ月以内在宅移行率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	A																
年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																							
m-ECT実施患者数	5	5	5	5	5	5	5																																							
m-ECT実施患者3ヶ月以内在宅移行率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%																																							
			44	①先端薬物療法(クロザピンな ど)を積極的に実施する。	平成23年度に作成したクリニカルパスに基づき治療を開始し、現在 60名に対して継続投与中である。 クロザピンによる治療体制が整い、平成22年4月27日、クロザピ ン使用委員会において、CPMIS(クロザピン患者モニタリング サーベイス)登録機関として承認された。 静岡県内では、浜松医科大学医学部付属病院、聖隷三方原病院に次 いで3番目の登録である。 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>2019年度</th><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th><th>2025年度</th></tr> <tr><td>登録患者数</td><td>25</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td></tr> <tr><td>新規登録患者数</td><td>0</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	登録患者数	25	30	30	30	30	30	30	新規登録患者数	0	5	0	0	0	0	0	A																
年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																							
登録患者数	25	30	30	30	30	30	30																																							
新規登録患者数	0	5	0	0	0	0	0																																							
			45	①心理・社会的治療についての 取組を積極的に実施する。	平成22年度から取組を始めた認知行動療法プログラムを、心理・ 社会的治療プログラムに加え、認知行動療法に加え、新たに心理 教育・家族教室への取り組みを実施している。また、心理教育に関す る院内外研修会を開催し、スタッフのレベルアップに努めている。 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>2019年度</th><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th><th>2025年度</th></tr> <tr><td>認知行動療法参加患者数</td><td>45</td><td>122</td><td>268</td><td>268</td><td>268</td><td>268</td><td>268</td></tr> <tr><td>心理教育参加患者数</td><td>165</td><td>165</td><td>165</td><td>165</td><td>165</td><td>165</td><td>165</td></tr> </table>	年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	認知行動療法参加患者数	45	122	268	268	268	268	268	心理教育参加患者数	165	165	165	165	165	165	165	A																
年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																							
認知行動療法参加患者数	45	122	268	268	268	268	268																																							
心理教育参加患者数	165	165	165	165	165	165	165																																							
	・入院患者が早期に退院し、地 域で安心して生活できるように、 多職種チームによる包括的在宅 医療支援体制を構築する。	○多職種チームによる包括的在 宅医療支援体制の構築 ①入院患者が早期に退院し、地 域で安心して生活できるように するための、多職種チームによる包 括的在宅医療支援体制の構築	46	①在宅医療支援部を中心とした 包括的在宅ケア(ACCT)チームに よる退院支援と手厚い24時間 365日サポート体制による退院後 の地域生活を支援する。	平成24年度に作成したガイドラインに沿って、ACCTによる支援を 実施している。平成22年2月の支援開始以来延べ22名の支援活動を実施 し、うち19名は安定した在宅生活に移行したため支援終了、2名は転 院により支援終了、2名は死亡により終了。令和元年度末現在、外来 患者5名、入院患者2名の支援を継続している。 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>2019年度</th><th>2020年度</th><th>2021年度</th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th><th>2025年度</th></tr> <tr><td>在宅患者数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>転院患者数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>死亡患者数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	在宅患者数	0	0	0	0	0	0	0	入院患者数	0	0	0	0	0	0	0	転院患者数	0	0	0	0	0	0	0	死亡患者数	0	0	0	0	0	0	0	A
年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度																																							
在宅患者数	0	0	0	0	0	0	0																																							
入院患者数	0	0	0	0	0	0	0																																							
転院患者数	0	0	0	0	0	0	0																																							
死亡患者数	0	0	0	0	0	0	0																																							

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																								
<p>・「心・神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の司法精神医療を積極的に果たす。</p>	<p>○医療観察法等の司法精神医療への積極的な関与 ①心・神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の司法精神医療への積極的な関与</p>	<p>平成24年8月より指定入院医療機関として27床で運用を開始。平成23年3月末には12床への病床が完了した。増床完了後対象者の受入が滞り、平成23年8月以降はほぼ病床の状態が稼働しており、受入利用が滞り、令和元年度は入院患者を上回る過剰があり、病床利用率が減少した。</p> <table border="1" data-bbox="207 940 319 1209"> <thead> <tr> <th colspan="2">医療観察法の稼働状況</th> <th colspan="5">(単位:床・%)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>93</td> <td>97.4</td> <td>90.1</td> <td>93.4</td> <td>96.1</td> <td>84.1</td> </tr> <tr> <td>稼働率 (%)</td> <td>93.4</td> <td>97.4</td> <td>90.1</td> <td>93.4</td> <td>96.1</td> <td>84.1</td> </tr> </tbody> </table>	医療観察法の稼働状況		(単位:床・%)					区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	定員	93	97.4	90.1	93.4	96.1	84.1	稼働率 (%)	93.4	97.4	90.1	93.4	96.1	84.1	47	<p>①医療観察法による入院処遇対象者を受け入れ、指定医療機関としての機能を最大限に発揮する。</p>	<p>平成24年8月より指定入院医療機関として27床で運用を開始。平成23年3月末には12床への病床が完了した。増床完了後対象者の受入が滞り、平成23年8月以降はほぼ病床の状態が稼働しており、受入利用が滞り、令和元年度は入院患者を上回る過剰があり、病床利用率が減少した。</p> <table border="1" data-bbox="207 1836 319 2154"> <thead> <tr> <th colspan="2">医療観察法の稼働状況</th> <th colspan="5">(単位:床・%)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>93</td> <td>97.4</td> <td>90.1</td> <td>93.4</td> <td>96.1</td> <td>84.1</td> </tr> <tr> <td>稼働率 (%)</td> <td>93.4</td> <td>97.4</td> <td>90.1</td> <td>93.4</td> <td>96.1</td> <td>84.1</td> </tr> </tbody> </table>	医療観察法の稼働状況		(単位:床・%)					区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	定員	93	97.4	90.1	93.4	96.1	84.1	稼働率 (%)	93.4	97.4	90.1	93.4	96.1	84.1	<p>元年度実績 自己評価 説明 入院処遇対象者の減少により、病床稼働率が昨年度を下回ったが、所轄行政機関の要請に応じ、県外対象者も積極的に受け入れた。また、令和元年度より、新たに指定入院医療機関を開拓することを目的に、保護観察所の社会復帰調整官と協力し、県内精神科医療機関を対象に「医療観察法初任者研修」を開催するなどの医療観察法についての理解を深める取り組みを行っている。</p> <p>A</p>
医療観察法の稼働状況		(単位:床・%)																																																												
区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度																																																								
定員	93	97.4	90.1	93.4	96.1	84.1																																																								
稼働率 (%)	93.4	97.4	90.1	93.4	96.1	84.1																																																								
医療観察法の稼働状況		(単位:床・%)																																																												
区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度																																																								
定員	93	97.4	90.1	93.4	96.1	84.1																																																								
稼働率 (%)	93.4	97.4	90.1	93.4	96.1	84.1																																																								
<p>・認知症・依存症・摂食障害など多様な精神疾患に対応できる体制を構築し、発達障害や思春期における精神疾患への対応を図る。</p>	<p>○認知症・依存症・摂食障害など多様な精神疾患に対応できる体制を構築し、発達障害や思春期及び小児から成人への移行期における精神疾患への対応 ①多様な精神疾患及び、小児から成人への移行期における精神疾患等に対するための体制の構築に向けた取組</p>	<p>①効果的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供 ②思春期病棟の整備に向けた検討 ③クロザピン投与患者数の増加 ④患者満足度の向上</p>	48	<p>①総合病院における身体合併症患者への精神科医療の提供体制を整備する。 ・小児から成人への移行期における精神科医療の提供体制を整備する。</p>	<p>総合病院へ精神科医師1名を配置し、身体合併症の精神科リエン機能を強化するとともに、病棟整備に向けた検討会に参加している。 思春期病棟の整備については、3病棟の精神科医療提供体制のあり方を踏まえて協議している。</p>	<p>県立3病院における精神科医療提供体制の整備を検討していく中で、小児から成人への移行期における医療提供体制のあり方を協議していく。</p>																																																								
<p>・効果的な病院運営を図り、県民に安全で質の高い医療及び外来患者満足度について、各事業年度高い水準を達成する。</p>	<p>○効果的な病院運営を図り、県民に安全で質の高い医療及び外来患者満足度について、各事業年度高い水準を達成する。</p>	<p>【目標値】県立こども病院 ・クロザピン投与患者数(こころ) ・病床稼働率(こころ) ・患者満足度(外来)(こころ)</p>	49	<p>①No.48 ②No.44 ③常時、救急患者を受け入れる体制の維持と、多職種連携による早期退院促進による効果的な病院運営に努める。 ④No.8</p>	<p>県立こども病院 28年度 83.3 29年度 83.9 30年度 90.6 31年度 91.1 32年度 85.2 33年度 85.8</p>	<p>南上病棟の個室化により、救急病棟の後方病棟としての機能が強化され、救急時からの病棟運用に貢献している。病棟全体では司法患者の減り平均在院日数の短縮等により、稼働率は目標値を達成した。</p>																																																								
<p>県立こども病院</p>	<p>県立こども病院診療事業 県内小児医療の中核病院として、一般医療機関では対応困難な小児患者に対する高度・専門医療やハイリスク妊婦に対する周産期医療を提供し、また小児期から成人期への移行期医療に取組む。 県民に提供する医療<業務予定量> 病床数 279床 一般病床 243床 精神病床 36床 外来患者 110,953人 入院患者 74,076人</p>	<p>【目標値】県立こども病院 ・クロザピン投与患者数(こころ) ・病床稼働率(こころ) ・患者満足度(外来)(こころ)</p>	50	<p>入院・外来患者数 28年度 77,771 29年度 78,069 30年度 77,800 31年度 75,388 32年度 74,076 33年度 75,726 34年度 101,770 35年度 103,292 36年度 104,666 37年度 110,761 38年度 110,183 39年度 110,953 40年度 111,874</p>	<p>入院・外来患者数 28年度 77,771 29年度 78,069 30年度 77,800 31年度 75,388 32年度 74,076 33年度 75,726 34年度 101,770 35年度 103,292 36年度 104,666 37年度 110,761 38年度 110,183 39年度 110,953 40年度 111,874</p>	<p>手術件数の増加等により患者数は目標を上回った。県内小児医療の中核病院として、一般医療機関では対応困難な小児患者に対する高度・専門医療やハイリスク妊婦に対する周産期医療の提供に努めている。</p>																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																	
<p>・小児重症心疾患患者に対してハイブリッド手術室等の先進設備を活用し、常時高度な先進治療の先導的施設として専門医等の育成に努める。</p>	<p>①小児重症心疾患患者に対し、常時高度な専門治療を提供する体制の充実及び小児心疾患治療の先進的施設としての専門医等の育成</p> <p>①小児重症心疾患患者へ常時対応による専門治療の提供体制の充実</p> <p>②小児循環器疾患治療スタッフに対する教育体制の充実や小児集中治療室(PICU)、新生児集中治療室(NICU)及び循環器集中治療室(CCU)の相互研修の実施を通じて治療レベルの向上による循環器センターの機能強化</p> <p>③小児用補助人工心臓装置の活用</p> <p>④心エコー画像のリアルタイム遠隔診断の実施</p> <p>⑤ハイブリッド手術室の改修による循環器治療の提供体制の充実</p>	<p>①地域医療連携と連携したハイブリッド胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの維持・充実と新生児科に対しての高度な専門治療を提供する体制の拡充</p> <p>①すべてのハイブリッド手術室に対応できるシステム作り</p> <p>②先天異常の出生前超音波診断や、出生後の管理・処置のための機器整備</p> <p>③新生児集中治療室(NICU)における低侵襲手術の実施</p>	<p>51</p>	<p>①心臓血管外科、循環器科の連携による専門治療と、術後の集中治療を行うCCUを加えた循環器センターの体制を維持・充実させる。</p> <p>②新生児科(NICU)・小児集中治療室(PICU)と共に研修施設を、ハイブリッド手術室の活用を図る。</p> <p>③心エコー画像の遠隔診断を継続実施する。</p> <p>④ハイブリッド手術室の2室化に向けた、ハイブリッド手術室の改修計画を策定する。</p>	<p>業務の実績</p> <p>平成28年に設置した循環器科棟に重症心疾患患者対応病室は、順調に運用されている。</p> <p>平成29年1月に自治体病院では全国初、小児専門病院では全国2番目となる小児用補助人工心臓を導入し、活用した。今後も効果的な運用を継続していく。</p> <table border="1"> <caption>心臓血管外科治療実績 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数</td> <td>133</td> <td>156</td> <td>170</td> <td>200</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>ハイブリッド手術室稼働 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働数</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>CCU稼働率 (単位: 人、%)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働数</td> <td>313</td> <td>313</td> <td>329</td> <td>279</td> <td>317</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>37.2</td> <td>35.3</td> <td>37.1</td> <td>33.3</td> <td>36.3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>循環器センターにおける研修医の人数 (単位: 人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>小児用補助人工心臓装置の稼働状況 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>心エコー画像遠隔診断実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	実施件数	133	156	170	200	179	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	稼働数	6	2	2	6	8	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	稼働数	313	313	329	279	317	稼働率	37.2	35.3	37.1	33.3	36.3	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	人数	5	7	7	6	9	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	稼働数	0	0	1	1	0	区分	28年度	29年度	30年度	元年度	稼働数	4	4	4	4	稼働率	9	7	5	7	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>心臓血管外科、循環器科の連携による専門治療と、術後の集中治療を行うCCUを加えた循環器センターの体制を維持・充実により、多くの小児重症心疾患患者を受け入れており、小児心疾患治療の先導的施設として、高度な循環器疾患医療の専門医の育成にも努めている。</p> <p>また、研修医も着実に受け入れており、小児心疾患治療の先導的施設として、高度な循環器疾患医療の専門医の育成にも努めている。</p> <p>ハイブリッド手術室においても心臓カテーテル治療は目標件数を上回った。</p> <p>カテーテル治療件数が高い水準で推移しているため、血管造影装置の増設のための検討を始めた。</p>
区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																		
実施件数	133	156	170	200	179																																																																																		
区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																		
稼働数	6	2	2	6	8																																																																																		
区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																		
稼働数	313	313	329	279	317																																																																																		
稼働率	37.2	35.3	37.1	33.3	36.3																																																																																		
区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																		
人数	5	7	7	6	9																																																																																		
区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																		
稼働数	0	0	1	1	0																																																																																		
区分	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																			
稼働数	4	4	4	4																																																																																			
稼働率	9	7	5	7																																																																																			
			<p>52</p>	<p>①地域の産科医療機関との前・後方連携を更に強化し、症例検討会・研修会を通じた産科医療の最新技術の導入を図る。</p> <p>②最新方式の超音波診断装置を導入する。</p> <p>③必要に応じNICU内での手術を継続実施する。</p>	<p>業務の実績</p> <p>産科医療連携と連携したハイブリッド胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの維持・充実と新生児科に対しての高度な専門治療を提供する体制の拡充</p> <p>①すべてのハイブリッド手術室に対応できるシステム作り</p> <p>②先天異常の出生前超音波診断や、出生後の管理・処置のための機器整備</p> <p>③新生児集中治療室(NICU)における低侵襲手術の実施</p>	<p>地域医療連携を対象とした研修会、検討会を定期的に開催し、地域の産科医療のレベルアップを図っている。</p> <p>NICUの入院延患者数は一定水準にある。稼働が減少しているが、これまで特定入院料の算定期間を超えてNICUで治療していた長期入院患者を転床させることで、病床稼働の効率化を図った。</p> <p>④心臓血管外科、循環器科の連携による専門治療と、術後の集中治療を行うCCUを加えた循環器センターの体制を維持・充実させる。</p> <p>⑤新生児科(NICU)・小児集中治療室(PICU)と共に研修施設を、ハイブリッド手術室の活用を図る。</p> <p>⑥心エコー画像の遠隔診断を継続実施する。</p> <p>⑦ハイブリッド手術室の2室化に向けた、ハイブリッド手術室の改修計画を策定する。</p>																																																																																	
			<p>53</p>	<p>①小児がん拠点病院(厚生労働省指定)として血液腫瘍細胞・腫瘍血移種などの治療法を、がん診療の機能強化</p> <p>②院内がん登録の推進</p> <p>③県立静岡がんセンターとの連携強化</p> <p>④AYA世代がん診療の連携等</p>	<p>業務の実績</p> <p>平成21年2月には厚生労働省から全国15施設の一つとして小児がん拠点病院の指定を受けた。令和元年度8月には、「県立静岡がんセンター」を医療法人格として設立した。小児がん診断ハンドブック(静岡県版)を医療機関へ配付した。</p> <table border="1"> <caption>がんセンターの院内がん登録実績 (単位: 例)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録数</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>AYA世代がん診療実施回数 (単位: 回)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	登録数	3	2	3	2	3	3	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	実施回数	1	1	1	1	1	1	<p>小児がんは成人と比較して発症数の少なさが、小児がんが拠点病院であり、こども病棟は、東の小児がん拠点病院として患者数を増減はあるものの、診療に取組む多くの患者を受け入れている。</p> <p>発症段階での継続した治療が必要であるため、長期フォローアップが必要であり、今後もAYA世代がん患者への研修会実施等により、支援の拡充を図っていく。</p> <p>平成31年4月に小児がん拠点病院の指定され、小児がん相談室の設置、院内がん登録認定者等の専任化等により体制整備に努めたほか、AYA世代がんが連携する医療従事者向け研修会を開催した。また、12月にはがんゲノム医療連携指定病院となり、がんゲノム医療についても取組を開始した。</p> <p>今後、がん公開講座や病室のグリーン度アップなど機能強化を図っていく。</p>																																																					
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																	
登録数	3	2	3	2	3	3																																																																																	
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																	
実施回数	1	1	1	1	1	1																																																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																
	<p>・重篤な小児救命救急患者を常時受け入れ可能な体制を維持・強化し、救急医療全般にわたって地域の医療機関と連携して受け入れる体制を整備する。</p>	<p>○重篤な小児救急患者を常時受け入れ可能な体制を維持・強化及び地域で不足する小児救急医療体制の充実等、小児救急医療のモデルとなる体制整備</p> <p>①院内各専門領域のバックアップによる、小児救急センター・小児集中治療センターを中心とした小児救急医療全般にわたる受入体制の強化、拡充</p> <p>②小児救命救急センターとしてメディアコントロール体制整備への協力</p> <p>③小児救急専門スタッフの教育の充実</p>	54	<p>①PICU(小児集中治療センター)・救急総合診療科を中心として小児救急医療体制の強化を図る。</p> <p>②小児救急センター・小児集中治療センターを中心とした、365日24時間小児救急患者の受入可能な体制を維持、充実させる。</p> <p>③院内の小児救急専門スタッフ(医師、看護師)育成に努める。</p>	<p>業務の実績</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">小児救急センターの患者数</th> <th colspan="2">25年度</th> <th colspan="2">26年度</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">31年度</th> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>5,529</td> <td>4,653</td> <td>5,038</td> <td>5,409</td> <td>5,051</td> <td>5,191</td> <td>5,015</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> </tr> <tr> <td>PICU診療患者数</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> <td>2,676</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>5,529</td> <td>4,653</td> <td>5,038</td> <td>5,409</td> <td>5,051</td> <td>5,191</td> <td>5,015</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>5,529</td> <td>4,653</td> <td>5,038</td> <td>5,409</td> <td>5,051</td> <td>5,191</td> <td>5,015</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>5,529</td> <td>4,653</td> <td>5,038</td> <td>5,409</td> <td>5,051</td> <td>5,191</td> <td>5,015</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> <td>5,191</td> </tr> </table> <p>①小児救命救急センターの指定を受けているPICU小児救急センターを中心とし、2時間365日を通して、軽症から重症まで小児救急患者を多く受け入れている。</p> <p>ER開設以降、富士富士宮、志太橋原等の救急患者が増加しており、地域で不足する小児救急体制を構築している。</p> <p>PICU病棟の医師確保に努め、専門スタッフを配置し、小児救急体制の充実を図っている。</p>	小児救急センターの患者数		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		入院患者数	5,529	4,653	5,038	5,409	5,051	5,191	5,015	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	PICU診療患者数	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	入院患者数	5,529	4,653	5,038	5,409	5,051	5,191	5,015	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	入院患者数	5,529	4,653	5,038	5,409	5,051	5,191	5,015	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	入院患者数	5,529	4,653	5,038	5,409	5,051	5,191	5,015	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	<p>説明</p> <p>小児救命救急センターの指定を受けているPICU小児救急センターを中心とし、2時間365日を通して、軽症から重症まで小児救急患者を多く受け入れている。</p> <p>ER開設以降、富士富士宮、志太橋原等の救急患者が増加しており、地域で不足する小児救急体制を構築している。</p> <p>PICU病棟の医師確保に努め、専門スタッフを配置し、小児救急体制の充実を図っている。</p>
小児救急センターの患者数		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度																																																																																								
入院患者数	5,529	4,653	5,038	5,409	5,051	5,191	5,015	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191																																																																																							
PICU診療患者数	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676	2,676																																																																																							
入院患者数	5,529	4,653	5,038	5,409	5,051	5,191	5,015	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191																																																																																							
入院患者数	5,529	4,653	5,038	5,409	5,051	5,191	5,015	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191																																																																																							
入院患者数	5,529	4,653	5,038	5,409	5,051	5,191	5,015	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191	5,191																																																																																							
	<p>・精神疾患を持つ小児患者やその家族に対して、児童精神科分野における中核的機能の発揮に努める。</p>	<p>○子どものこころの診療分野の県内における中核的機能の発揮</p> <p>①子どもの精神科専門病棟を有するこころの病院として、成人移行を見据えこころの医療センターとの連携体制を強化する</p> <p>②こころの心の診療ネットワーク事業、拠点病院として、教育・福祉・医療機関の連携ネットワークの更なる拡大、充実</p> <p>③臨床研修の充実による児童精神科医の継続的育成</p>	55	<p>②地域の医療・消防機関で構成されるメディアコントロール協議会に参加するとともに、PICUの主権により、救急医療・救急(消防)業務従事者向けの研究会、実習講習を行う。</p>	<p>各地域の医療機関、消防機関が参加するメディアコントロール協議会に当院も参加した。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">各地域の医療機関・消防機関が参加するメディアコントロール協議会</th> <th colspan="2">25年度</th> <th colspan="2">26年度</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">31年度</th> </tr> <tr> <td>参加機関数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>参加医師数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table>	各地域の医療機関・消防機関が参加するメディアコントロール協議会		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		参加機関数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	参加医師数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	<p>救急隊員を対象とした研修会等を定期的に開催し、県下の小児救急医療の質の向上を図った。</p>																																																
各地域の医療機関・消防機関が参加するメディアコントロール協議会		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度																																																																																								
参加機関数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																																																																																							
参加医師数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																																																																																							
	<p>・精神疾患を持つ小児患者やその家族に対して、児童精神科分野における中核的機能の発揮に努める。</p>	<p>○子どものこころの診療分野の県内における中核的機能の発揮</p> <p>①子どもの精神科専門病棟を有するこころの病院として、成人移行を見据えこころの医療センターとの連携体制を強化する</p> <p>②こころの心の診療ネットワーク事業、拠点病院として、教育・福祉・医療機関の連携ネットワークの更なる拡大、充実</p> <p>③臨床研修の充実による児童精神科医の継続的育成</p>	56	<p>①県内の児童精神科医療の中核機関としての治療の充実と必要に応じ、身体疾患を有する患者に対し当該担当科と連携して治療する。</p>	<p>県内の児童精神科医療の中核機関として、中部地域だけでなく、児童精神科の医療機関が少ない東部地域からも多くの患者を受け入れた。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">こころの診療科別当院別患者数</th> <th colspan="2">25年度</th> <th colspan="2">26年度</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">31年度</th> </tr> <tr> <td>東部</td> <td>715</td> <td>729</td> <td>759</td> <td>766</td> <td>770</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>1,034</td> <td>1,074</td> <td>1,077</td> <td>1,157</td> <td>1,190</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>31</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,780</td> <td>1,805</td> <td>1,846</td> <td>1,933</td> <td>1,970</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> </tr> </table>	こころの診療科別当院別患者数		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		東部	715	729	759	766	770	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	中部	1,034	1,074	1,077	1,157	1,190	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	西部	31	2	10	15	10	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	合計	1,780	1,805	1,846	1,933	1,970	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	<p>県内の児童精神科医療の中核機関として、中部地域だけでなく、児童精神科の医療機関が少ない東部地域からも多くの患者を受け入れた。</p>																
こころの診療科別当院別患者数		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度																																																																																								
東部	715	729	759	766	770	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750																																																																																							
中部	1,034	1,074	1,077	1,157	1,190	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227																																																																																							
西部	31	2	10	15	10	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14																																																																																							
合計	1,780	1,805	1,846	1,933	1,970	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991																																																																																							
	<p>・精神疾患を持つ小児患者やその家族に対して、児童精神科分野における中核的機能の発揮に努める。</p>	<p>○子どものこころの診療分野の県内における中核的機能の発揮</p> <p>①子どもの精神科専門病棟を有するこころの病院として、成人移行を見据えこころの医療センターとの連携体制を強化する</p> <p>②こころの心の診療ネットワーク事業、拠点病院として、教育・福祉・医療機関の連携ネットワークの更なる拡大、充実</p> <p>③臨床研修の充実による児童精神科医の継続的育成</p>	57	<p>②厚生労働省の「子どもの心の診療ネットワーク事業」に静岡県内の拠点病院として参加する。</p>	<p>事業を行っている全国18都府県1政令指定都市にある25の拠点病院(拠点病院を配置している都府県等) 岩手県、東京都、石川県、山梨県、静岡県、長野県、香川県、福岡県、佐賀県、大分県、熊本県、沖縄県、札幌市</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">こころの診療科別当院別患者数</th> <th colspan="2">25年度</th> <th colspan="2">26年度</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">31年度</th> </tr> <tr> <td>東部</td> <td>715</td> <td>729</td> <td>759</td> <td>766</td> <td>770</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>1,034</td> <td>1,074</td> <td>1,077</td> <td>1,157</td> <td>1,190</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>31</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,780</td> <td>1,805</td> <td>1,846</td> <td>1,933</td> <td>1,970</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> <td>1,991</td> </tr> </table>	こころの診療科別当院別患者数		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		東部	715	729	759	766	770	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	中部	1,034	1,074	1,077	1,157	1,190	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	西部	31	2	10	15	10	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	合計	1,780	1,805	1,846	1,933	1,970	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	<p>急増する子どもの心の問題に関するネットワーク構築のため、学校・地域との連携強化を図り、県内の小児精神保健ネットワークの中核的役割を果たしている。</p>																
こころの診療科別当院別患者数		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度																																																																																								
東部	715	729	759	766	770	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750																																																																																							
中部	1,034	1,074	1,077	1,157	1,190	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227																																																																																							
西部	31	2	10	15	10	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14																																																																																							
合計	1,780	1,805	1,846	1,933	1,970	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991																																																																																							
	<p>・精神疾患を持つ小児患者やその家族に対して、児童精神科分野における中核的機能の発揮に努める。</p>	<p>○子どものこころの診療分野の県内における中核的機能の発揮</p> <p>①子どもの精神科専門病棟を有するこころの病院として、成人移行を見据えこころの医療センターとの連携体制を強化する</p> <p>②こころの心の診療ネットワーク事業、拠点病院として、教育・福祉・医療機関の連携ネットワークの更なる拡大、充実</p> <p>③臨床研修の充実による児童精神科医の継続的育成</p>	58	<p>③児童精神科医の育成に努める。</p>	<p>児童精神科医を育成している。 有期職員医師採用実績</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">児童精神科医を育成している。</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">31年度</th> </tr> <tr> <td>採用人数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	児童精神科医を育成している。		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		採用人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	<p>児童精神科臨床研修として有期職員医師を採用し、児童精神科医の育成を行った。</p>																																																																								
児童精神科医を育成している。		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度																																																																																												
採用人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																	
	<p>・重症心身障害児等の医療的ケア児の退院、在宅移行を支援する体制について、県と連携して整備を図る。</p>	<p>○重症心身障害児等の医療的ケア児の退院、在宅移行を支援する体制、県と連携して具体化する。</p>	59	<p>・言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他の充実を図る。 ・医療的ケア児の在宅移行支援病棟の設置を検討する。</p>	<p>医療的ケア児に関する検社会関係業績 (単位:回)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>5年度</th> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>リハ実施業績 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>5年度</th> </tr> <tr> <td>児童福祉法</td> <td>20,411</td> <td>17,811</td> <td>18,914</td> <td>17,309</td> <td>19,000</td> <td>22,529</td> <td>22,529</td> </tr> <tr> <td>児童福祉法</td> <td>8,180</td> <td>7,253</td> <td>8,555</td> <td>8,403</td> <td>9,407</td> <td>9,414</td> <td>9,414</td> </tr> <tr> <td>児童福祉法</td> <td>35,311</td> <td>31,071</td> <td>32,170</td> <td>32,906</td> <td>31,219</td> <td>-</td> <td>31,943</td> </tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	5年度	回数	-	-	-	-	-	-	3	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	5年度	児童福祉法	20,411	17,811	18,914	17,309	19,000	22,529	22,529	児童福祉法	8,180	7,253	8,555	8,403	9,407	9,414	9,414	児童福祉法	35,311	31,071	32,170	32,906	31,219	-	31,943	<p>子ども</p>	<p>説明</p> <p>子ども病院は県内唯一の小児専門病院として小児の高度専門医療を担うこととされている。そのため、在宅移行、在宅移行後の患児・家族へのフォローをしていく等の急性期医療・福祉の分野となる医療的ケア児への対応については、各分野との関係を整理し、今後の方向性を検討していく。言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォローなどを行っており、目標値である理学療法件数は、目標を上回った。</p>
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	5年度																																																
回数	-	-	-	-	-	-	3																																																
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	5年度																																																
児童福祉法	20,411	17,811	18,914	17,309	19,000	22,529	22,529																																																
児童福祉法	8,180	7,253	8,555	8,403	9,407	9,414	9,414																																																
児童福祉法	35,311	31,071	32,170	32,906	31,219	-	31,943																																																
	<p>・効率的な病院運営を図り、また、県民に安全で質の高い医療の提供を行うため、病床稼働率及び入院・外来患者満足度について各事業年度で高い水準を達成する。</p>	<p>○効率的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供</p> <p>①病棟再編の検討 ②入院退院支援センターの設置に向けた検討 ③心臓カテーテル治療数の増加 ④病床稼働率75%以上の維持 ⑤患者満足度の向上</p>	60	<p>①ICUの統合等、病棟再編案を策定する。 ②入院退院支援センターの運用、設置場所の検討する。 ③No.51 ④効率的な病院運営を行い、高い病床稼働率を維持する。 ⑤No.8</p>	<p>入院支援センター設置ワーキング/開催実績 (単位:回)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>5年度</th> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>13</td> </tr> </table> <p>病床稼働率 (単位:%)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>5年度</th> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>79.8</td> <td>78.7</td> <td>78.7</td> <td>78.4</td> <td>76.2</td> <td>75以上</td> <td>76.4</td> </tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	5年度	回数	-	-	-	-	-	-	13	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	5年度	稼働率	79.8	78.7	78.7	78.4	76.2	75以上	76.4	<p>子ども</p>	<p>病棟稼働率については、目標である75%を上回った。また、効率的な病院運営を図るため、令和元年度に入院説明や術前検査等感染チェック等を行う、入院退院支援センターの設置に向けた検討を行った。入院退院支援センターについては、令和2年1月から一部(術前検査等感染チェック)稼働し、令和2年4月から正式稼働する。今後、ICUの再編を始めとする病棟の再編について、マスタープラン(施設改修計画)との整合を図りつつ、具体的な検討を行う。</p>																
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	5年度																																																
回数	-	-	-	-	-	-	13																																																
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	5年度																																																
稼働率	79.8	78.7	78.7	78.4	76.2	75以上	76.4																																																
	<p>【目標値】 ・心臓カテーテル治療実績(ことども) ・病床稼働率(ことども) ・患者満足度(入院・外来)(ことども)</p>	<p>【目標値】県立ことども病院 ・心臓カテーテル治療実績(ことども) ・病床稼働率(ことども) ・患者満足度(入院・外来)(ことども) ・小児がん登録件数(ことども) ・リハ実施件数(ことども)</p>	-	-	-	-																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																															
<p>2 上 医療従事者の確保及び質の向上</p> <p>各病院及び地域の医療水準の維持・向上を図るため、医師、看護師等医療従事者の確保に努めること。また、優秀な人材を育成するため、院内研修及び国内外との交流による研修機能の充実を図ること。さらに、医療従事者が働きやすい環境の整備に努めること。</p>	<p>2 上 医療従事者の確保及び質の向上</p> <p>県立病院が提供する医療の質の向上を図り、最適な医療を完全に提供するため、医療従事者が専門業務に専念できる体制や働きやすい環境の整備に努めることにより、優秀な人材の確保を行う。また、教育研修機能の充実や国内外の医療機関との交流などを推進し、医療従事者の育成に積極的に取り組む。</p>	<p>2 上 医療従事者の確保及び質の向上</p>	<p>61</p>	<p>各病院（総務）</p> <p>・業務運営に必要な人材の確保に努める。</p>	<p>業務の実績</p> <p>職員確保状況(令和4年4月1日現在) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>127</td> <td>135</td> <td>144</td> <td>151</td> <td>165</td> <td>179</td> <td>191</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>664</td> <td>678</td> <td>748</td> <td>804</td> <td>806</td> <td>801</td> <td>834</td> <td>829</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1</td> <td>110</td> <td>114</td> <td>115</td> <td>118</td> <td>120</td> <td>120</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>94</td> <td>94</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>432</td> <td>461</td> <td>453</td> <td>449</td> <td>444</td> <td>448</td> <td>448</td> <td>444</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>204</td> <td>201</td> <td>245</td> <td>269</td> <td>269</td> <td>283</td> <td>306</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,329</td> <td>1,399</td> <td>1,313</td> <td>1,368</td> <td>1,368</td> <td>1,363</td> <td>1,390</td> <td>1,397</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>94</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>95</td> <td>96</td> <td>91</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>59</td> <td>63</td> <td>71</td> <td>69</td> <td>68</td> <td>64</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>53</td> <td>52</td> <td>51</td> <td>49</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>143</td> <td>149</td> <td>152</td> <td>147</td> <td>148</td> <td>152</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>381</td> <td>389</td> <td>398</td> <td>394</td> <td>394</td> <td>392</td> <td>387</td> <td>388</td> </tr> </tbody> </table> <p>※有期職員は、正規職員の状況により必要人員を確保するため、目標は設定しない。</p>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	総合	127	135	144	151	165	179	191	193	医師	3	3	4	3	3	4	6	6	看護師	664	678	748	804	806	801	834	829	医師	13	12	12	14	14	14	13	13	看護師	1	110	114	115	118	120	120	122	医師	94	94	91	91	91	91	91	91	看護師	432	461	453	449	444	448	448	444	医師	204	201	245	269	269	283	306	288	看護師	5	4	5	4	4	5	7	7	計	1,329	1,399	1,313	1,368	1,368	1,363	1,390	1,397	医師	94	96	96	95	96	91	—	—	看護師	—	—	—	—	—	—	—	—	総合	59	63	71	69	68	64	—	—	医師	0	1	5	5	3	3	—	—	看護師	—	—	—	—	—	—	—	—	計	15	11	14	13	11	9	—	—	医師	53	52	51	49	55	58	—	—	看護師	—	—	—	—	—	—	—	—	計	12	15	13	12	13	14	—	—	医師	143	149	152	147	148	152	—	—	看護師	—	—	—	—	—	—	—	—	計	381	389	398	394	394	392	387	388	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>医師については、派遣医局等への働きかけを行ったほか、プログラム説明会等で病院の魅力の発信、レジナビ等医学生向け説明会への積極的な参加などを行ったが定数には満たなかった。今後も引き続き説明会への参加や病院見学などの受入を積極的に行い確保に努めるほか、優秀な人材の確保にも努めて行く。</p> <p>看護師の定時募集については、今年度から第1回から3病院を対象に実施し、計4回実施した。また、経験者を対象とした月次募集を計7回実施し、上半期間で切れ目のない募集を実施した。なお、看護師確保のため、就職説明会への参加や各種広報(公共交通機関への広告掲載)、修学資金員与制度の拡充、養成校訪問など様々な確保対策を進め、採用数の増加に繋げた。</p>
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																																																																																																																																																																																																													
総合	127	135	144	151	165	179	191	193																																																																																																																																																																																																													
医師	3	3	4	3	3	4	6	6																																																																																																																																																																																																													
看護師	664	678	748	804	806	801	834	829																																																																																																																																																																																																													
医師	13	12	12	14	14	14	13	13																																																																																																																																																																																																													
看護師	1	110	114	115	118	120	120	122																																																																																																																																																																																																													
医師	94	94	91	91	91	91	91	91																																																																																																																																																																																																													
看護師	432	461	453	449	444	448	448	444																																																																																																																																																																																																													
医師	204	201	245	269	269	283	306	288																																																																																																																																																																																																													
看護師	5	4	5	4	4	5	7	7																																																																																																																																																																																																													
計	1,329	1,399	1,313	1,368	1,368	1,363	1,390	1,397																																																																																																																																																																																																													
医師	94	96	96	95	96	91	—	—																																																																																																																																																																																																													
看護師	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																													
総合	59	63	71	69	68	64	—	—																																																																																																																																																																																																													
医師	0	1	5	5	3	3	—	—																																																																																																																																																																																																													
看護師	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																													
計	15	11	14	13	11	9	—	—																																																																																																																																																																																																													
医師	53	52	51	49	55	58	—	—																																																																																																																																																																																																													
看護師	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																													
計	12	15	13	12	13	14	—	—																																																																																																																																																																																																													
医師	143	149	152	147	148	152	—	—																																																																																																																																																																																																													
看護師	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																													
計	381	389	398	394	394	392	387	388																																																																																																																																																																																																													
			<p>62</p>	<p>各病院（総務）</p> <p>・研修医の確保に努める。</p>	<p>業務の実績</p> <p>初年度研修医数(総合病院) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>40</td> <td>41</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()が自由医大卒出身者</p> <p>後年度研修医数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>54</td> <td>58</td> <td>50</td> <td>46</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>55</td> <td>61</td> <td>65</td> <td>61</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>	1年度	2年度	3年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	20	22	21	22	22	24	24	25	25	18	22	19	21	21	20	20	23	23	計	40	41	43	43	44	44	48	48	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	50	54	58	50	46	48	2	2	4	4	2	2	3	3	3	3	3	3	計	55	61	65	61	61	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>医学生向け説明会に参加し、病院見学を受入を積極的に行った。</p>																																																																																																																																													
1年度	2年度	3年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																																																													
20	22	21	22	22	24	24	25	25																																																																																																																																																																																																													
18	22	19	21	21	20	20	23	23																																																																																																																																																																																																													
計	40	41	43	43	44	44	48	48																																																																																																																																																																																																													
26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																																																																																																																																
50	54	58	50	46	48																																																																																																																																																																																																																
2	2	4	4	2	2																																																																																																																																																																																																																
3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																
計	55	61	65	61	61																																																																																																																																																																																																																

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			63	<p>・即時的で効果的な人材を確保するため、採用試験を適宜実施する。</p>	<p>看護部については、定時募集に加えて随時募集を実施し、切れ目のない採用試験を実施している。また、優秀な人材確保のためコマデアカル及び事務においてアソシエイトの公募試験を実施した。</p> <table border="1"> <caption>正社員の内職状況(各年度4月1日現在) (単位:人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> <th>18年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医 師</td> <td>256</td> <td>241</td> <td>234</td> <td>229</td> <td>226</td> <td>226</td> <td>225</td> <td>224</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>准 医 師</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>准 医 師 補 佐</td> <td>1,224</td> <td>1,251</td> <td>1,317</td> <td>1,370</td> <td>1,370</td> <td>1,366</td> <td>1,366</td> <td>1,366</td> <td>1,366</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士</td> <td>304</td> <td>327</td> <td>320</td> <td>315</td> <td>319</td> <td>333</td> <td>347</td> <td>347</td> <td>347</td> </tr> <tr> <td>事務 系 員</td> <td>1,039</td> <td>1,118</td> <td>1,118</td> <td>1,118</td> <td>1,128</td> <td>1,128</td> <td>1,128</td> <td>1,128</td> <td>1,128</td> </tr> <tr> <td>一 計</td> <td>1,862</td> <td>1,941</td> <td>2,004</td> <td>2,025</td> <td>2,024</td> <td>2,024</td> <td>2,024</td> <td>2,024</td> <td>2,024</td> </tr> </tbody> </table> <p>本部</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> <th>18年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医 療 技 術 士</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士 補 佐</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士 補 佐 補 佐</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士 補 佐 補 佐 補 佐</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>一 計</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>各病院(総務)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> <th>18年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>准 医 師 補 佐</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士</td> <td>654</td> <td>678</td> <td>748</td> <td>804</td> <td>806</td> <td>807</td> <td>820</td> <td>820</td> <td>820</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士 補 佐</td> <td>196</td> <td>215</td> <td>211</td> <td>208</td> <td>214</td> <td>226</td> <td>227</td> <td>227</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>事務 系 員</td> <td>41</td> <td>49</td> <td>51</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>一 計</td> <td>1,020</td> <td>1,107</td> <td>1,116</td> <td>1,127</td> <td>1,127</td> <td>1,127</td> <td>1,127</td> <td>1,127</td> <td>1,127</td> </tr> </tbody> </table> <p>こころ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> <th>18年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>准 医 師 補 佐</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士</td> <td>114</td> <td>110</td> <td>114</td> <td>115</td> <td>118</td> <td>118</td> <td>120</td> <td>120</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士 補 佐</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>事務 系 員</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>一 計</td> <td>154</td> <td>150</td> <td>154</td> <td>153</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> </tr> </tbody> </table> <p>医 療 部</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> <th>18年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>准 医 師 補 佐</td> <td>90</td> <td>91</td> <td>80</td> <td>91</td> <td>94</td> <td>94</td> <td>90</td> <td>91</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士</td> <td>452</td> <td>461</td> <td>453</td> <td>449</td> <td>444</td> <td>444</td> <td>456</td> <td>444</td> <td>444</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士 補 佐</td> <td>81</td> <td>85</td> <td>83</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>82</td> <td>81</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>事務 系 員</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>一 計</td> <td>651</td> <td>675</td> <td>651</td> <td>653</td> <td>651</td> <td>651</td> <td>651</td> <td>651</td> <td>651</td> </tr> </tbody> </table> <p>こども</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> <th>18年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>准 医 師 補 佐</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士</td> <td>114</td> <td>110</td> <td>114</td> <td>115</td> <td>118</td> <td>118</td> <td>120</td> <td>120</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>医 療 技 術 士 補 佐</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>事務 系 員</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>一 計</td> <td>154</td> <td>150</td> <td>154</td> <td>153</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> <td>154</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	医 師	256	241	234	229	226	226	225	224	224	准 医 師	5	5	5	5	5	5	5	5	5	准 医 師 補 佐	1,224	1,251	1,317	1,370	1,370	1,366	1,366	1,366	1,366	医 療 技 術 士	304	327	320	315	319	333	347	347	347	事務 系 員	1,039	1,118	1,118	1,118	1,128	1,128	1,128	1,128	1,128	一 計	1,862	1,941	2,004	2,025	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024	区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	医 療 技 術 士	1	2	2	2	2	2	2	3	3	医 療 技 術 士 補 佐	1	1	1	1	1	1	1	1	1	医 療 技 術 士 補 佐 補 佐	27	28	27	25	25	25	25	25	25	医 療 技 術 士 補 佐 補 佐 補 佐	29	31	31	30	30	30	30	30	30	一 計	13	13	13	13	13	13	13	13	13	区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	准 医 師 補 佐	3	3	4	3	3	3	3	4	4	医 療 技 術 士	654	678	748	804	806	807	820	820	820	医 療 技 術 士 補 佐	196	215	211	208	214	226	227	227	227	事務 系 員	41	49	51	52	52	52	52	52	52	一 計	1,020	1,107	1,116	1,127	1,127	1,127	1,127	1,127	1,127	区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	准 医 師 補 佐	1	1	1	1	1	1	1	1	1	医 療 技 術 士	114	110	114	115	118	118	120	120	120	医 療 技 術 士 補 佐	26	26	26	26	25	25	25	25	25	事務 系 員	13	13	13	13	13	13	13	13	13	一 計	154	150	154	153	154	154	154	154	154	区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	准 医 師 補 佐	90	91	80	91	94	94	90	91	91	医 療 技 術 士	452	461	453	449	444	444	456	444	444	医 療 技 術 士 補 佐	81	85	83	81	81	80	82	81	81	事務 系 員	28	28	28	28	28	28	27	27	28	一 計	651	675	651	653	651	651	651	651	651	区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	准 医 師 補 佐	1	1	1	1	1	1	1	1	1	医 療 技 術 士	114	110	114	115	118	118	120	120	120	医 療 技 術 士 補 佐	26	26	26	26	25	25	25	25	25	事務 系 員	13	13	13	13	13	13	13	13	13	一 計	154	150	154	153	154	154	154	154	154	<p>看護部確保対策の中で企業・養成校主催の就職説明会は、看護学生が看護師長や先輩看護師等と直接話ができることで病院の宣伝だけでなく、看護学生個人が知りたいたい情報を直接伝えられる点で、看護学生個人が知りたいたい情報を直接伝えることができる利点がある。</p> <p>今年度は、養育主催の説明会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となったが、養成校主催の説明会を中心に看護部確保に努めた。</p> <p>今後は、養成校主催の説明会へ昨年引き続き参加をし、現在の学生の動向等をつかみ看護部確保に努める。</p>
区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 師	256	241	234	229	226	226	225	224	224																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
准 医 師	5	5	5	5	5	5	5	5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
准 医 師 補 佐	1,224	1,251	1,317	1,370	1,370	1,366	1,366	1,366	1,366																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士	304	327	320	315	319	333	347	347	347																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務 系 員	1,039	1,118	1,118	1,118	1,128	1,128	1,128	1,128	1,128																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
一 計	1,862	1,941	2,004	2,025	2,024	2,024	2,024	2,024	2,024																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士	1	2	2	2	2	2	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士 補 佐	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士 補 佐 補 佐	27	28	27	25	25	25	25	25	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士 補 佐 補 佐 補 佐	29	31	31	30	30	30	30	30	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
一 計	13	13	13	13	13	13	13	13	13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
准 医 師 補 佐	3	3	4	3	3	3	3	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士	654	678	748	804	806	807	820	820	820																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士 補 佐	196	215	211	208	214	226	227	227	227																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務 系 員	41	49	51	52	52	52	52	52	52																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
一 計	1,020	1,107	1,116	1,127	1,127	1,127	1,127	1,127	1,127																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
准 医 師 補 佐	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士	114	110	114	115	118	118	120	120	120																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士 補 佐	26	26	26	26	25	25	25	25	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務 系 員	13	13	13	13	13	13	13	13	13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
一 計	154	150	154	153	154	154	154	154	154																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
准 医 師 補 佐	90	91	80	91	94	94	90	91	91																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士	452	461	453	449	444	444	456	444	444																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士 補 佐	81	85	83	81	81	80	82	81	81																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務 系 員	28	28	28	28	28	28	27	27	28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
一 計	651	675	651	653	651	651	651	651	651																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
准 医 師 補 佐	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士	114	110	114	115	118	118	120	120	120																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 技 術 士 補 佐	26	26	26	26	25	25	25	25	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務 系 員	13	13	13	13	13	13	13	13	13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
一 計	154	150	154	153	154	154	154	154	154																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			64	<p>・就職説明会への参加、多角的な広報の実施や養成校の訪問などにより、必要な職員の確保を目指す。</p>	<p>看護学生向け就職説明会</p> <table border="1"> <caption>(単位:人)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> <th>18年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医 療 部</td> <td>810</td> <td>949</td> <td>1,012</td> <td>1,378</td> <td>887</td> <td>226</td> <td>676</td> <td>676</td> <td>676</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>257</td> <td>257</td> <td>250</td> <td>246</td> <td>246</td> <td>246</td> <td>246</td> <td>246</td> <td>246</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>198</td> <td>198</td> <td>203</td> <td>206</td> <td>206</td> <td>206</td> <td>206</td> <td>206</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>一 計</td> <td>1,265</td> <td>1,414</td> <td>1,465</td> <td>1,830</td> <td>1,338</td> <td>678</td> <td>1,128</td> <td>1,128</td> <td>1,128</td> </tr> </tbody> </table> <p>本部・各病院(総務)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> <th>21年度</th> <th>20年度</th> <th>19年度</th> <th>18年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医 療 部</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>一 計</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	医 療 部	810	949	1,012	1,378	887	226	676	676	676	こころ	257	257	250	246	246	246	246	246	246	こども	198	198	203	206	206	206	206	206	206	一 計	1,265	1,414	1,465	1,830	1,338	678	1,128	1,128	1,128	区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	医 療 部	17	17	17	17	17	17	17	17	17	こころ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	こども	3	3	3	3	3	3	3	3	3	一 計	21	21	21	21	21	21	21	21	21	<p>看護部確保対策の中で企業・養成校主催の就職説明会は、看護学生が看護師長や先輩看護師等と直接話ができることで病院の宣伝だけでなく、看護学生個人が知りたいたい情報を直接伝えることができる利点がある。</p> <p>今年度は、養育主催の説明会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となったが、養成校主催の説明会を中心に看護部確保に努めた。</p> <p>今後は、養成校主催の説明会へ昨年引き続き参加をし、現在の学生の動向等をつかみ看護部確保に努める。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																														
区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 部	810	949	1,012	1,378	887	226	676	676	676																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
こころ	257	257	250	246	246	246	246	246	246																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
こども	198	198	203	206	206	206	206	206	206																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
一 計	1,265	1,414	1,465	1,830	1,338	678	1,128	1,128	1,128																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
医 療 部	17	17	17	17	17	17	17	17	17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
こころ	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
こども	3	3	3	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
一 計	21	21	21	21	21	21	21	21	21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																						
		【目標値】 ・医師数(総合、こころ、こども) ・看護師数(総合、こころ、こども)	68	⑥海外との視察等を受け入れや派遣など、国際交流の推進を図る。	<p>海外視察・派遣等の派遣・受入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種・職種区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>33</td> <td>54</td> <td>60</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>36</td> <td>41</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>51</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>五好協力施設及び派遣先を締結している中国浙江省の7医院から研修生の10人(医師3名、看護師7名)を受け入れた。</p> <p>浙江大学医学院附属逸夫医院1人、浙江大学医学院附属第一医院2人、浙江大学医学院附属邵逸夫医院1人、浙江省立同德医院1人、浙江省人民医院3人、温州市中醫院1人、浙江省からの研修受入れを平成23年度から実施しており、延べ88人(うち医師61人)の研修生を受入れている。</p> <p>令和元年10月に浙江中医药大学附属第二医院と研究友好協力に係る覚書の締結を行った。</p> <p>その他、JICA研修生(ガーナ等)10名を受け入れた。</p> <p>新型コロナウイルス関連で令和2年2月に浙江省の友好結核病院へ手術用マスク等の支援を行った。</p> <p>・手術用マスク：浙江省人民病院20,000枚、浙江大学医学院附属医院 20,000枚 ・手術用ガウン：浙江省人民病院 225枚、浙江大学医学院附属医院 225枚</p>	職種・職種区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	医師	9	13	33	54	60	73	看護師	36	41	58	59	51	35	<p>浙江中医药大学附属第二医院と研究友好協力に係る覚書を締結する等、友好協力協定を締結している中国浙江省を中心に交流を進めた。</p> <p>その他、JICA研修(中東、アフリカ諸国)の受入れ、UCLAへの研修派遣を実施し、中国以外の国との交流を図っている。</p> <p>また、当院と友好機構を結ぶ浙江省人民医院と浙江大学医学院附属邵逸夫医院からの支援要望に基づき、手術用マスク及びガウンを送付するなど、国際交流・支援を積極的に行なった。</p>																																																																	
職種・職種区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																						
医師	9	13	33	54	60	73																																																																																						
看護師	36	41	58	59	51	35																																																																																						
			69	⑦看護師及びその他の医療従事者のスキルアップを図るため、認定看護師の育成のほか医療従事者等の研修等を推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>職種</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>7</td> <td>認定看護師</td> <td>精神科</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1</td> <td>認定看護師</td> <td>感染管理</td> </tr> </tbody> </table> <p>認定看護師取得者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>7</td> <td>精神科</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1</td> <td>感染管理</td> </tr> </tbody> </table> <p>専門看護師</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門看護師</td> <td>12</td> <td>小児看護 専門・認定領域</td> </tr> </tbody> </table>	職種	人数	職種	専門・認定領域	認定看護師	7	認定看護師	精神科	認定看護師	1	認定看護師	感染管理	区分	人数	専門・認定領域	認定看護師	7	精神科	認定看護師	1	感染管理	区分	人数	専門・認定領域	専門看護師	12	小児看護 専門・認定領域	A																																																											
職種	人数	職種	専門・認定領域																																																																																									
認定看護師	7	認定看護師	精神科																																																																																									
認定看護師	1	認定看護師	感染管理																																																																																									
区分	人数	専門・認定領域																																																																																										
認定看護師	7	精神科																																																																																										
認定看護師	1	感染管理																																																																																										
区分	人数	専門・認定領域																																																																																										
専門看護師	12	小児看護 専門・認定領域																																																																																										
			70	⑧臨床現場に即した、より実践的な研修を提供する。	<p>医師・医学生・看護学生の受け入れ(元生財)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>医師</th> <th>医学生</th> <th>看護師</th> <th>看護学生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>42</td> <td>192</td> <td>18</td> <td>269</td> <td>738</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>208</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>74</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>247</td> <td>374</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>135</td> <td>229</td> <td>18</td> <td>724</td> <td>1,381</td> </tr> </tbody> </table> <p>職員研修参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規採用職員研修</td> <td>144</td> <td>145</td> <td>136</td> <td>126</td> <td>125</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>新年度研修</td> <td>26</td> <td>35</td> <td>19</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>職員研修</td> <td>17</td> <td>20</td> <td>34</td> <td>28</td> <td>15</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>英語研修</td> <td>33</td> <td>31</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>アレルギー研修</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ研修</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>33</td> <td>28</td> <td>22</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ研修</td> <td>30</td> <td>21</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>	区分	医師	医学生	看護師	看護学生	合計	総合	42	192	18	269	738	こころ	19	1	0	208	21	こども	74	36	0	247	374	計	135	229	18	724	1,381	職種	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	新規採用職員研修	144	145	136	126	125	139	新年度研修	26	35	19	4	6	7	職員研修	17	20	34	28	15	21	英語研修	33	31	20	25	30	19	アレルギー研修	29	31	—	—	—	—	インフルエンザ研修	32	28	33	28	22	29	インフルエンザ研修	30	21	35	25	14	29	A
区分	医師	医学生	看護師	看護学生	合計																																																																																							
総合	42	192	18	269	738																																																																																							
こころ	19	1	0	208	21																																																																																							
こども	74	36	0	247	374																																																																																							
計	135	229	18	724	1,381																																																																																							
職種	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																						
新規採用職員研修	144	145	136	126	125	139																																																																																						
新年度研修	26	35	19	4	6	7																																																																																						
職員研修	17	20	34	28	15	21																																																																																						
英語研修	33	31	20	25	30	19																																																																																						
アレルギー研修	29	31	—	—	—	—																																																																																						
インフルエンザ研修	32	28	33	28	22	29																																																																																						
インフルエンザ研修	30	21	35	25	14	29																																																																																						
			71	⑨研修体系系プログラムの整備と研修内容の充実を図る。	<p>医師・医学生・看護学生などを通じて積極的に受け入れ、メカニカルスキルアップセンター等で臨床現場に即したより実践的な研修を提供している。</p> <p>医師・医学生・看護学生などを積極的に受け入れ、メカニカルスキルアップセンター等で臨床現場に即したより実践的な研修を提供している。</p>	A																																																																																						

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																		
(2) 勤務環境の向上 優秀な医療従事者を確保するため、働きやすく、また、働きたいのある病院となるよう、ワーク・ライフ・バランスの向上の推進や職員の精神面を含めた健康保持に配慮するほか、医師をはじめとした医療従事者の業務負担を行うなど、勤務環境の向上を図ること。	(2) 勤務環境の向上 医師をはじめとした医療従事者の業務負担をはじめ、仕事と生活の調和に配慮した雇用形態や勤務時間の設定、時間外勤務の削減、職員の健康保持への配慮や院内保育所の活用など、職員が働きやすく、働きがいを感じる勤務環境づくりを進める。	(2) 勤務環境の向上 ①ワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な雇用形態や勤務時間など柔軟な勤務条件の設定 ②医療従事者が本来業務に専念できる環境の整備 ③職員の意欲を高め、勤務実績が的確に反映される人事・給与制度の検討 ④職員が働きやすい施設等の環境整備 ⑤県立病院院内保育所の活用	72	①柔軟な職員採用や多様な雇用形態・勤務条件の設定を図る。	<p>本部・各病院 (総務)</p> <p>看護師の交代制勤務については、総合病院15病棟、こころの医療センター3病棟、こども病院11病棟となっている。看護師の夜勤専従について、3病棟で試行を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="320 548 454 929"> <caption>アソシエイト採用実績 (各年度4月1日現在) (単位:人)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">29年度</th> <th colspan="4">30年度</th> <th colspan="4">31年度</th> <th colspan="4">32年度</th> </tr> <tr> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>補助職員の配置状況 (各年度4月1日現在) (単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="454 470 742 929"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">28年度</th> <th colspan="4">29年度</th> <th colspan="4">30年度</th> <th colspan="4">31年度</th> <th colspan="4">32年度</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>83</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>74</td> <td>83</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>74</td> <td>83</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>74</td> <td>83</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>74</td> <td>83</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>156</td> <td>155</td> <td>164</td> <td>165</td> <td>156</td> <td>155</td> <td>164</td> <td>165</td> <td>156</td> <td>155</td> <td>164</td> <td>165</td> <td>156</td> <td>155</td> <td>164</td> <td>165</td> <td>156</td> <td>155</td> <td>164</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>252</td> <td>248</td> <td>256</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>248</td> <td>256</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>248</td> <td>256</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>248</td> <td>256</td> <td>252</td> <td>252</td> <td>248</td> <td>256</td> <td>252</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度				30年度				31年度				32年度				28年度	29年度	30年度	31年度	28年度	29年度	30年度	31年度	28年度	29年度	30年度	31年度	28年度	29年度	30年度	31年度	看護師	5	1	-	3	5	1	-	3	5	1	-	3	5	1	-	3	事務	2	2	2	10	2	2	2	10	2	2	2	10	2	2	2	10	コメディカル	-	3	4	3	-	3	4	3	-	3	4	3	-	3	4	3	計	7	6	6	16	7	6	6	16	7	6	6	16	7	6	6	16	区分	28年度				29年度				30年度				31年度				32年度				27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度	総合	83	81	80	74	83	81	80	74	83	81	80	74	83	81	80	74	83	81	80	74	こころ	156	155	164	165	156	155	164	165	156	155	164	165	156	155	164	165	156	155	164	165	こども	13	12	12	13	13	12	12	13	13	12	12	13	13	12	12	13	13	12	12	13	計	252	248	256	252	252	248	256	252	252	248	256	252	252	248	256	252	252	248	256	252	A
区分	29年度				30年度				31年度				32年度																																																																																																																																																																																																																											
	28年度	29年度	30年度	31年度	28年度	29年度	30年度	31年度	28年度	29年度	30年度	31年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																								
看護師	5	1	-	3	5	1	-	3	5	1	-	3	5	1	-	3																																																																																																																																																																																																																								
事務	2	2	2	10	2	2	2	10	2	2	2	10	2	2	2	10																																																																																																																																																																																																																								
コメディカル	-	3	4	3	-	3	4	3	-	3	4	3	-	3	4	3																																																																																																																																																																																																																								
計	7	6	6	16	7	6	6	16	7	6	6	16	7	6	6	16																																																																																																																																																																																																																								
区分	28年度				29年度				30年度				31年度				32年度																																																																																																																																																																																																																							
	27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度	27年度	28年度	29年度	30年度																																																																																																																																																																																																																				
総合	83	81	80	74	83	81	80	74	83	81	80	74	83	81	80	74	83	81	80	74																																																																																																																																																																																																																				
こころ	156	155	164	165	156	155	164	165	156	155	164	165	156	155	164	165	156	155	164	165																																																																																																																																																																																																																				
こども	13	12	12	13	13	12	12	13	13	12	12	13	13	12	12	13	13	12	12	13																																																																																																																																																																																																																				
計	252	248	256	252	252	248	256	252	252	248	256	252	252	248	256	252	252	248	256	252																																																																																																																																																																																																																				
73	②医療従事者の事務的業務の軽減を図り、本来業務に専念できる環境の整備や業務多忙を解消するために、医療秘書・助手等を効果的に配置する。	本部・各病院 (総務)	<p>本部・各病院 (総務)</p> <p>東津波として職員組合と合意し、平成30年4月から試行を開始した人事評価制度については、前期・後期ともに全職員を対象に実施した(ただし、有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)。</p> <p>総合病院では、第1期リニューアル工事において地下更衣室におけるエアクリーニング機の更新及び仮眠室の改修を行った。病棟改修に伴い、コンパイルシステム、仮眠室等のアメニティの充実を図った。また、院内業務への補助金交付申請を行った。工事は令和2年度に着手予定である。院内保育所については、保育所運営協議会において、事務局、委託先、利用者間の意見交換を行った。</p> <p>こころの医療センターでは、施設劣化改修として、職員も利用する管理診療棟のトイレ改修工事を行った。こども病院院内保育所の建替工事については、平成31年3月に竣工し4月より運用開始した。併せて売店スペースについても改修し、コンビニエンスストアを導入し、こども病院にも、院内保育所入所者を対象にインフルエンザ予防接種を実施した。</p>	A																																																																																																																																																																																																																																				
74	③全職員を対象とした人事評価制度の試行を円滑に実施する。	本部・各病院 (総務)	<p>本部・各病院 (総務)</p> <p>東津波として職員組合と合意し、平成30年4月から試行を開始した人事評価制度については、前期・後期ともに全職員を対象に実施した(ただし、有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)。</p> <p>総合病院では、第1期リニューアル工事において地下更衣室におけるエアクリーニング機の更新及び仮眠室の改修を行った。病棟改修に伴い、コンパイルシステム、仮眠室等のアメニティの充実を図った。また、院内業務への補助金交付申請を行った。工事は令和2年度に着手予定である。院内保育所については、保育所運営協議会において、事務局、委託先、利用者間の意見交換を行った。</p> <p>こころの医療センターでは、施設劣化改修として、職員も利用する管理診療棟のトイレ改修工事を行った。こども病院院内保育所の建替工事については、平成31年3月に竣工し4月より運用開始した。併せて売店スペースについても改修し、コンビニエンスストアを導入し、こども病院にも、院内保育所入所者を対象にインフルエンザ予防接種を実施した。</p>	A																																																																																																																																																																																																																																				
75	④勤務環境の改善に向けた院内施設の充実のための検討を進める。	各病院 (企画)	<p>総合病院では、職員のアメニティの充実を目的とした施設改修等を実施した。こころの医療センターでは、施設改修工事を行うことで職員の勤務環境の改善に資することになった。</p> <p>こども病院では、新園舎の運用を開始するとともに、導入したコンパイルシステムによる、院内施設の充実を図り、院内環境の向上に取り組んでいく。</p>	A																																																																																																																																																																																																																																				

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																								
3 医療に関する調査及び研究 医療や県民の健康寿命延伸に関する調査及び研究を行い、県立病院が提供する医療の高度化や本県の医療水準の向上、県民の健康寿命の延伸に寄与すること。	3 医療に関する調査及び研究 県内医療水準の向上と県民の健康寿命延伸に寄与するため、県立病院が提供する医療資源の活用、院外への情報発信、他の機関との連携を図りながら、調査及び研究に取り組む。また、それらを円滑に取るため、診療録の電子・充実等の医療情報基盤の活用・充実強化に努める。	3 医療に関する調査及び研究 県内の医療水準の向上と県民の健康寿命延伸に寄与するため、県立病院としての医療資源の活用、院外への情報発信、他の機関との連携等により調査・研究に取り組む。	76	⑤院内保育の活用を図る。	<p>業務の実績</p> <table border="1" data-bbox="231 526 331 929"> <thead> <tr> <th colspan="2">保育利用人数</th> <th colspan="5">平成30年度</th> <th colspan="5">令和元年度</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>定員</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合（おひさま）</td> <td>100</td> <td>67</td> <td>93</td> <td>96</td> <td>99</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>子どもとり</td> <td>80</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>180</td> <td>88</td> <td>120</td> <td>114</td> <td>112</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>総合・子ども</p>	保育利用人数		平成30年度					令和元年度					区分	定員	28年度	29年度	30年度	31年度	元年度	総合（おひさま）	100	67	93	96	99	73	子どもとり	80	21	21	15	13	16	計	180	88	120	114	112	95	<p>説明</p> <p>意見をしながら勤務する医師や看護師の疲労環境の向上のため、保育メニュー等の更なる充実に努めている。</p> <p>総合病院では、二重保育や夜間保育、土日預かり等の多様なメニューを揃え、子育てしながら働きやすい環境を引き続き提供できている。幼保無償化の影響により入所者数が減少してきているため、正社員マイカルの入所を開始した。ことし病院では、保育所の運営工事が完了し、運用を開始した。定員を従前の30人から80人に増員するとともに、二重保育や病後児保育など新たな保育サービスに対応している。なお、初年度は45人を上限に稼働し、今後段階的に増員する予定としている。令和元年度は、定員に対し、利用者数に開きがあるが、広報紙の発行や、看護部を通じた産育休取得者への働きかけ等を行うことにより、今後、産育休復帰職員の利用率が増加し、稼働率は上昇すると見込む。</p>
保育利用人数		平成30年度					令和元年度																																							
区分	定員	28年度	29年度	30年度	31年度	元年度																																								
総合（おひさま）	100	67	93	96	99	73																																								
子どもとり	80	21	21	15	13	16																																								
計	180	88	120	114	112	95																																								

中期目標	中期計画	年度計画	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>(1) 研究機能の強化</p> <p>各病院が臨床研究に取り組み、その研究成果の発信等により、県内医療水準の向上及び医療人材の確保に努めること。また、県立総合病院のリサーチセンターにおいて、医師・ピッチングデーターを活用した授業、プログラム研究など県が推進する社会健康医学研究に協力すること。さらに、産学官との連携による共同研究や治験に取り組むこと。</p>	<p>(1) 研究機能の強化</p> <p>県立総合病院のリサーチセンターを活用し、各病院が臨床研究に取り組み、その成果を発信することなどにより、県内医療水準の向上と医療人材の確保に努める。また、県が定めた社会健康医学研究推進計画に基づき、社会健康医学の研究推進に協力する。治験や調査研究事業の推進に参画でき、県立大学等の研究機関との共同研究も取り組む。</p>	<p>研究機能の強化</p> <p>(1) 県立総合病院リサーチセンターの臨床研究を行う環境整備及び研究支援体制の充実</p> <p>(2) 県立総合病院リサーチセンターにおいて、静岡県から受託研究として、県民の健康寿命の更なる延伸に向け、社会健康医学研究の実施</p> <p>(3) 治験や調査研究事業に積極的に参画できる体制の整備・充実に努める</p> <p>(4) 県立大学等の研究機関との共同研究</p>	<p>行動計画</p> <p>① 臨床研究や疫学研究の充実・研究員を確保し、円滑な運用を行う。</p> <p>② 研究体制を充実させ、受託研究を円滑に行い、研究成果を体系的に蓄積するとともに、県民への研究成果の還元を行う。</p> <p>③ 研究資金となる奨学寄付金を受入れる。</p> <p>④ 臨床試験管理センターによる臨床研究の支援を行う。</p> <p>⑤ 県立大学との共同研究を行う。</p>	<p>業務の実績</p> <p>① 臨床研究や疫学研究の充実・研究員を確保し、円滑な運用を行う。研究成果を体系的に蓄積するとともに、県民への研究成果の還元を行う。</p> <p>② 研究体制を充実させ、受託研究を円滑に行い、研究成果を体系的に蓄積するとともに、県民への研究成果の還元を行う。</p> <p>③ 研究資金となる奨学寄付金を受入れる。</p> <p>④ 臨床試験管理センターによる臨床研究の支援を行う。</p> <p>⑤ 県立大学との共同研究を行う。</p> <p>⑥ 学術情報受入人数・金額</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">26年度</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数</th> <th>金額(千円)</th> <th>人数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">26年度</td> <td>県立総合病院</td> <td>2</td> <td>100</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>3</td> <td>150</td> <td>4</td> <td>200</td> <td>5</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>静岡医科大学</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>2</td> <td>100</td> <td>2</td> <td>100</td> <td>2</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>第一三共株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>アーステクノ株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">27年度</td> <td>県立総合病院</td> <td>3</td> <td>150</td> <td>4</td> <td>200</td> <td>5</td> <td>250</td> <td>6</td> <td>300</td> <td>7</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>静岡医科大学</td> <td>2</td> <td>100</td> <td>2</td> <td>100</td> <td>3</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>第一三共株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>アーステクノ株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">28年度</td> <td>県立総合病院</td> <td>4</td> <td>200</td> <td>5</td> <td>250</td> <td>6</td> <td>300</td> <td>7</td> <td>350</td> <td>8</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>静岡医科大学</td> <td>3</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>150</td> <td>4</td> <td>200</td> <td>4</td> <td>200</td> <td>4</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>第一三共株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>アーステクノ株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">29年度</td> <td>県立総合病院</td> <td>5</td> <td>250</td> <td>6</td> <td>300</td> <td>7</td> <td>350</td> <td>8</td> <td>400</td> <td>9</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>静岡医科大学</td> <td>4</td> <td>200</td> <td>4</td> <td>200</td> <td>5</td> <td>250</td> <td>5</td> <td>250</td> <td>5</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>第一三共株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>アーステクノ株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">30年度</td> <td>県立総合病院</td> <td>6</td> <td>300</td> <td>7</td> <td>350</td> <td>8</td> <td>400</td> <td>9</td> <td>450</td> <td>10</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>静岡医科大学</td> <td>5</td> <td>250</td> <td>5</td> <td>250</td> <td>6</td> <td>300</td> <td>6</td> <td>300</td> <td>6</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>第一三共株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>アーステクノ株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">元年度</td> <td>県立総合病院</td> <td>7</td> <td>350</td> <td>8</td> <td>400</td> <td>9</td> <td>450</td> <td>10</td> <td>500</td> <td>11</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>静岡医科大学</td> <td>6</td> <td>300</td> <td>6</td> <td>300</td> <td>7</td> <td>350</td> <td>7</td> <td>350</td> <td>7</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>第一三共株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>アーステクノ株式会社</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	区分	区分	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	26年度	県立総合病院	2	100	1	50	3	150	4	200	5	250	静岡医科大学	1	50	1	50	2	100	2	100	2	100	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27年度	県立総合病院	3	150	4	200	5	250	6	300	7	350	静岡医科大学	2	100	2	100	3	150	3	150	3	150	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28年度	県立総合病院	4	200	5	250	6	300	7	350	8	400	静岡医科大学	3	150	3	150	4	200	4	200	4	200	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29年度	県立総合病院	5	250	6	300	7	350	8	400	9	450	静岡医科大学	4	200	4	200	5	250	5	250	5	250	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30年度	県立総合病院	6	300	7	350	8	400	9	450	10	500	静岡医科大学	5	250	5	250	6	300	6	300	6	300	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	元年度	県立総合病院	7	350	8	400	9	450	10	500	11	550	静岡医科大学	6	300	6	300	7	350	7	350	7	350	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<p>説明</p> <p>東が平成30年3月に策定した社会健康医学研究推進基本計画に基づき、リサーチセンターを拠点に、医療ビッグデータの活用に関する研究、効率的な健康増進推進・疾病予防対策のための疫学研究、がんコンポーネント研究を3本の柱とする社会健康医学研究を実施している。さらに、県民の健康寿命延伸のため、研究の推進・人材の育成、成果の還元となる社会健康医学大学院大学の開学に向け、研究員の確保や機器整備等、研究体制の強化に取り組んでいる。なお、今年度も、院内における臨床研究の更なる推進を目的に、臨床試験管理室を研究支援室に改組した。</p> <p>また、きこえとほのセンター（静岡県乳幼児職労支援センター）では乳幼児期の離職や工内耳の装着による聴覚の発達のカギとなることに関する研究を実施している。このことに関連して、新生児聴覚スクリーニング検査の支援体制の構築の取り組みなどにより、令和元年度11月に厚生労働省主催の「健康寿命をのほろよりアワード」令和2年度、慶應義塾大学大学院医学研究科と医師の質の向上を図るため、機構医師の大学院博士課程への入学など人的交流などを行う連携協力に関する協定を締結した。このため、勤務医が働きながら研究ができる環境が整った。</p>
区分	区分	26年度		27年度			28年度		29年度		30年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	人数	金額(千円)	人数	金額(千円)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
26年度	県立総合病院	2	100	1	50	3	150	4	200	5	250																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	静岡医科大学	1	50	1	50	2	100	2	100	2	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
27年度	県立総合病院	3	150	4	200	5	250	6	300	7	350																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	静岡医科大学	2	100	2	100	3	150	3	150	3	150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
28年度	県立総合病院	4	200	5	250	6	300	7	350	8	400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	静岡医科大学	3	150	3	150	4	200	4	200	4	200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
29年度	県立総合病院	5	250	6	300	7	350	8	400	9	450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	静岡医科大学	4	200	4	200	5	250	5	250	5	250																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
30年度	県立総合病院	6	300	7	350	8	400	9	450	10	500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	静岡医科大学	5	250	5	250	6	300	6	300	6	300																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
元年度	県立総合病院	7	350	8	400	9	450	10	500	11	550																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	静岡医科大学	6	300	6	300	7	350	7	350	7	350																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	第一三共株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	アーステクノ株式会社	1	50	1	50	1	50	1	50	1	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>(2) 診療等の情報の活用</p> <p>診療等を通じて得られる情報を県立病院で提供される医療の質の向上のために活用するとともに、他の医療機関へ情報提供すること。</p>	<p>(2) 診療等の情報の活用</p> <p>診療録等医療情報の電子化や管理機能の充実を図り、科学的根拠を基にした分析し、カンファレンス、臨床研究、臨床研究等において活用し、医療の質の向上を図る。また、学会、講習会、研究会等へ情報発信しやすき体制を整備する。</p>	<p>診療等の情報の活用</p> <p>(1) 診療情報等の分析のできるシステムの活用</p> <p>(2) 診療情報等の分析のできるシステム</p>	<p>行動計画</p> <p>③ 医療水準の向上と院内における医療の質の高度化に資するため、新薬開発や臨床研究などに参画する。</p>	<p>業務の実績</p> <p>③ 医療水準の向上と院内における医療の質の高度化に資するため、新薬開発や臨床研究などに参画する。</p> <p>④ DPCの診療情報に基づく症例分析を行う。</p>	<p>説明</p> <p>観察会社等からの依頼を受け、新薬開発に係る治験を行っている。治験が終了し市販に至った薬品があり、新薬提供の一助となっている。市販薬の市販後調査を適正に実施し、安心安全な医薬品に寄与している。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				<p>業務の実績</p> <p>④ DPCの診療情報に基づく症例分析を行う。</p>	<p>説明</p> <p>DPCデータの分析結果を元に、医局会においてCDPC入院期間II以内の退院状況や創傷病名の付与率等を報告し、平均在院日数の短縮やDPCコアデータの適正化に努めた。</p> <p>⑤ DPCコアデータの適正化に努めた。</p> <p>⑥ 医局会発表回数</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 12回 (前年度比 +4回) <p>⑦ 早期のデータ入力や継続して適切なデータ入力を行うことで診療報酬を確保し、請求することができた。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				<p>業務の実績</p> <p>⑤ 医療水準の向上と院内における医療の質の高度化に資するため、新薬開発や臨床研究などに参画する。</p>	<p>説明</p> <p>観察会社等からの依頼を受け、新薬開発に係る治験を行っている。治験が終了し市販に至った薬品があり、新薬提供の一助となっている。市販薬の市販後調査を適正に実施し、安心安全な医薬品に寄与している。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																									
			説明																																																									
4	<p>4 医療に関する地域への支援</p> <p>地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、県立病院が有する医療資源を積極的に活用するなど、積極的な支援を進める。</p>	<p>—</p>	—	—																																																								
4	<p>4 医療に関する地域への支援</p> <p>地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、県立病院が有する医療資源を積極的に活用するなど、積極的な支援を進める。</p>	<p>—</p>	—	—																																																								
4	<p>4 医療に関する地域への支援</p> <p>本県の地域医療の確保のため、県立病院がその支援に大きな役割を果たし、信頼され、必要とされる病院であり続けるよう努めること。</p>	<p>—</p>	—	—																																																								
4	<p>4 医療に関する地域への支援</p> <p>本県の地域医療の確保のため、県立病院がその支援に大きな役割を果たし、信頼され、必要とされる病院であり続けるよう努めること。</p>	<p>—</p>	—	—																																																								
81	<p>①②④地域医療支援病院としての使命を果たすため、医師を派遣し、確保したうえで、医師不足が顕著な公的病院に医師を派遣する。</p>	<p>① 地域の医療機関等との連携・支援</p> <p>② 県の医師派遣事業への協力</p> <p>③ 医師定数の見直し</p> <p>④ ふじのくに地域医療支援センター機能の一部である医師就労等相談窓口業務などの効率的な運営</p> <p>⑤ 県内病院への常勤幹事医師の配置</p> <p>⑥ 専門医制度への対応</p> <p>⑦ 医療機器の共同利用の推進</p> <p>⑧ ICT技術を活用した地域医療機関等との連携及び支援</p>	<p>静岡県立静岡病院、静岡市立総合病院、藤枝市立総合病院、島田市民病院、中東総合医療センター、吉原林研学園診療所に医師を派遣した。また、県の要請に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣した。</p> <p>医師派遣実績 (公的病院等) (単位: 機関、科、人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>5年度</th> </tr> <tr> <td>医療機関等</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>662</td> <td>988</td> <td>1078</td> <td>803</td> <td>202</td> <td>283</td> </tr> </table> <p>※平成29年度までは後期研修医の派遣も含まれている。平成30年度からは小児科専攻医制度の制度変更に伴い、退職扱いの派遣となった。(平成29年度までと同様の算出であれば令和元年度実績は1,014人となる)</p>	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年度	医療機関等	4	7	6	7	5	7	診療科	—	—	—	—	—	—	延べ人数	662	988	1078	803	202	283	<p>静岡県立静岡病院、静岡市立総合病院、藤枝市立総合病院、島田市民病院、中東総合医療センター、吉原林研学園診療所に医師を派遣した。また、県の要請に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣した。</p> <p>医師派遣実績 (公的病院等) (単位: 機関、科、人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>5年度</th> </tr> <tr> <td>医療機関等</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>662</td> <td>988</td> <td>1078</td> <td>803</td> <td>202</td> <td>283</td> </tr> </table>	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年度	医療機関等	4	7	6	7	5	7	診療科	—	—	—	—	—	—	延べ人数	662	988	1078	803	202	283
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年度																																																						
医療機関等	4	7	6	7	5	7																																																						
診療科	—	—	—	—	—	—																																																						
延べ人数	662	988	1078	803	202	283																																																						
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年度																																																						
医療機関等	4	7	6	7	5	7																																																						
診療科	—	—	—	—	—	—																																																						
延べ人数	662	988	1078	803	202	283																																																						
82	<p>①小児1次救急医療への応援を行う。</p>	<p>静岡県急病センター、志太榛原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣した。</p> <p>医師派遣実績 (急病センター) (単位: 機関、科、人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>5年度</th> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>313</td> <td>292</td> <td>295</td> <td>294</td> <td>218</td> <td>214</td> </tr> </table>	区分	28年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年度	医療機関	—	2	2	2	2	2	診療科	—	2	2	2	2	2	延べ人数	313	292	295	294	218	214	<p>静岡県急病センター、志太榛原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣し、地域の小児1次救急医療を支援した。小児1次救急医療の成立のため、派遣要請には可能な限り対応していく必要があると考え、方改革への対応とのバランスをとる必要がある。</p>	<p>静岡県急病センター、志太榛原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣し、地域の小児1次救急医療を支援した。小児1次救急医療の成立のため、派遣要請には可能な限り対応していく必要があると考え、方改革への対応とのバランスをとる必要がある。</p>																												
区分	28年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年度																																																						
医療機関	—	2	2	2	2	2																																																						
診療科	—	2	2	2	2	2																																																						
延べ人数	313	292	295	294	218	214																																																						
83	<p>③ふじのくに地域医療支援センター機能の一部である業務を受託、運営する。</p>	<p>『ふじのくに地域医療支援センター』の機能の一部業務である「県内での勤務を希望する医師および研修医の就業・キャリア形成等の相談」、「静岡県立医学研修センターの勤務先病院の決定支援」の業務を受託し、県内医師確保のための役割の一部を担っている。</p> <p>配置調整医師数及び県内勤務医師数 (職種相当) (単位: 名)</p> <table border="1"> <tr> <th>配置調整医師数</th> <th>28年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>5年度</th> </tr> <tr> <td>動向</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>34</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>うち県内勤務医師数</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>22</td> <td>41</td> <td>39</td> <td>47</td> </tr> </table> <p>※配置調整は各前年度となる。</p>	配置調整医師数	28年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年度	動向	12	14	34	64	64	76	うち県内勤務医師数	6	10	22	41	39	47	<p>『ふじのくに地域医療支援センター』の機能の一部業務である「県内での勤務を希望する医師および研修医の就業・キャリア形成等の相談」、「静岡県立医学研修センターの勤務先病院の決定支援」の業務を受託し、県内医師確保のための役割の一部を担っている。</p>	<p>業務を受託し、県の医師確保施策に寄与できるよう努めた。</p>																																			
配置調整医師数	28年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年度																																																						
動向	12	14	34	64	64	76																																																						
うち県内勤務医師数	6	10	22	41	39	47																																																						

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																			
			81	⑤ 専攻医を受け入れられる体制を整備し、専攻医の募集を行う。	<p>(総合) 平成31年4月、14名が専門研修プログラムに所属し、研修を開始した。令和2年度募集に向けて、院内内外研修生及び学生に知ってプログラム説明会を2回開催し、専門研修プログラムの魅力を発信した。(同日に外科レジデンスオンゼミナールも実施) プログラムの魅力を発信した。(同日に外科レジデンスオンゼミナールも実施) プログラムの魅力を発信した。(同日に外科レジデンスオンゼミナールも実施)</p> <p>(こころ) ホームページでの広報等により、積極的に募集を行った。</p> <p>専攻医募集のため病院紹介の動画を作成し、ホームページ掲載等を行なった。広報活動を行った。又、説明会では希望者にDVDを配布するなど周知を図った。平成31年度4月から研修を開始する専攻医1名を受け入れた(平成30年度開始1名、平成31年度開始1名、計2名) 令和2年度研修開始の専門研修プログラム1名について、日本専門医機構から承認を受けた。</p> <p>(こども) 平成29年度から新制度に準じて実施された小児科専門医制度の基幹施設として、新制度に則った研修を実施している。令和元年度は、当院プログラムの種類のな周知を継続して行い、小児科プログラム説明会への参加者が平成30年度の15名から25名に増加するなど専攻医の確保に努めた。</p>	<p>(総合) 専攻医確保に向けてプログラム説明会を実施するとともに、自作のPR動画を発信するなど、プログラムの魅力が伝わるような募集を行った。 (こころ) 新専門医制度における専攻医研修プログラムを提供している。専攻医を確保し、県内の専門医育成に寄与している。 小児科専門医研修の基幹施設として、県中東部の連携施設10病院と作成した日本小児科学会の承認を受けたプログラムをもとに指導を行っている。今後も継続してプログラムの周知等を行い、専攻医の確保に努める。</p>	A																																		
			85	⑥ 地域の医療機関向けにCT・MRIの地域支援検査枠を増設し、共同利用件数の向上を図る。	<p>平成29年度から従来の紹介・灌漑の方法に加えて、灌漑のみ総合病院で行う共同利用方法をスタートさせている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">CT、MRI 共同利用</th> <th colspan="5">(単位: 件)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>762</td> <td>815</td> <td>919</td> <td>847</td> <td>896</td> <td>881</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>591</td> <td>615</td> <td>621</td> <td>513</td> <td>581</td> <td>595</td> </tr> <tr> <td>共同灌漑のみ</td> <td>133</td> <td>132</td> <td>129</td> <td>131</td> <td>21</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	CT、MRI 共同利用		(単位: 件)					区分	29年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	CT	762	815	919	847	896	881	MRI	591	615	621	513	581	595	共同灌漑のみ	133	132	129	131	21	0	A
CT、MRI 共同利用		(単位: 件)																																							
区分	29年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																			
CT	762	815	919	847	896	881																																			
MRI	591	615	621	513	581	595																																			
共同灌漑のみ	133	132	129	131	21	0																																			
			86	⑦ ふじのくににわごとを活用し、地域の病院・診療所・調剤薬局・訪問看護ステーションとの連携を強化する。 ふじのくににわごにバーチャル・メガホン・スビタル協議会の運営を維持する。	<p>地域医療連携推進事業補助金を活用し、瀬田市立総合病院、菊川市立総合病院及び公立伊豆市立総合病院の更新を進めた。 また、静岡市立静岡総合病院、下田メディカルセンター及び伊豆市立伊豆総合病院の3病院において、令和2年度に新規導入を予定しており、新規システム構築に向けた準備を進めた。</p>	A																																			
			87	⑧ 国内外の医療機関との映像情報システムを用い、カンファレンス等を実施する。	<p>小児医療ネットワークを通じて、浜松医科大学等との合同カンファレンスやマレーシア国立循環器病センター (IJN) との接続試験を兼ねた症例検討会を定期的に実施している。他医療機関と連携し、心エコー画像遠隔診断を実施している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">心エコー画像遠隔診断実績</th> <th colspan="5">(単位: 件)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>症例数</td> <td>91</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	心エコー画像遠隔診断実績		(単位: 件)					区分	29年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	施設数	4	4	4	4	4	4	症例数	91	7	3	7	5	3	A							
心エコー画像遠隔診断実績		(単位: 件)																																							
区分	29年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																			
施設数	4	4	4	4	4	4																																			
症例数	91	7	3	7	5	3																																			

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																														
(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及 鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に対し、県立病院が有する人材や知見を積極的に提供し、県内の医療従事者の養成に貢献すること。	(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及 公的機関からの医療に係る鑑定や調査、講師派遣等の社会的な要請に対し、引き続き柔軟に対応していくほか、医療従事者が他の機関・団体における研修や研究等の活動に参画しや、院体制づくりに取り組む。また、院内研修等の教育研修を県内の医療従事者へ積極的に開放していく。	(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及 ①公的機関からの医療に係る鑑定や調査、講師派遣等の社会的な要請への対応 ②学会や研修会等へ積極的に参加できる仕組みづくり ③認定看護師等の資格保有者の活用 ④県内の医療従事者への教育研修機能の開放	88	①院内外の研修会等を定期的に開催し、地域の医療機関へ情報提供する。 ②他団体の講師派遣依頼に協力する。 ③他団体等が主催する講習会、研究会、学会への講師派遣を推進する。	<p>拡大キャンササボード類</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>院内</td> <td>—</td> <td>161</td> <td>160</td> <td>153</td> <td>194</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>院外</td> <td>—</td> <td>261</td> <td>172</td> <td>128</td> <td>162</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>228</td> <td>422</td> <td>332</td> <td>281</td> <td>356</td> <td>286</td> </tr> </table> <p>講師派遣実績 (単位：件)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>73</td> <td>58</td> <td>62</td> <td>51</td> <td>43</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>72</td> <td>36</td> <td>4</td> <td>41</td> <td>40</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>145</td> <td>94</td> <td>66</td> <td>92</td> <td>83</td> <td>94</td> </tr> </table> <p>院内研修会講師派遣状況(医師)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>派遣回数</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>22</td> </tr> </table> <p>院内研修会講師派遣状況(非医師)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>派遣回数</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>20</td> <td>33</td> </tr> </table> <p>医療観察法の鑑定医として協力するなど、積極的な対応を図っている。</p> <p>医療観察法による鑑定医総数 (単位：件)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>ところ</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	回数	5	6	6	6	6	5	院内	—	161	160	153	194	178	院外	—	261	172	128	162	108	合計	228	422	332	281	356	286	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	医師	73	58	62	51	43	56	その他	72	36	4	41	40	38	計	145	94	66	92	83	94	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	派遣回数	25	30	18	18	21	22	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	派遣回数	30	20	32	28	20	33	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	ところ	10	7	9	12	4	5	—	—	—	—	—	—
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
回数	5	6	6	6	6	5																																																																																																														
院内	—	161	160	153	194	178																																																																																																														
院外	—	261	172	128	162	108																																																																																																														
合計	228	422	332	281	356	286																																																																																																														
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
医師	73	58	62	51	43	56																																																																																																														
その他	72	36	4	41	40	38																																																																																																														
計	145	94	66	92	83	94																																																																																																														
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
派遣回数	25	30	18	18	21	22																																																																																																														
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
派遣回数	30	20	32	28	20	33																																																																																																														
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
ところ	10	7	9	12	4	5																																																																																																														
89	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①特別支援学校や児童相談所など教育機関や福祉機関との連携を強化するため、講師や相談会などを継続的に開催する。	<p>特別支援学校等講師派遣実績</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>小児慢性特定疾患治療研究事業</td> <td>2,158</td> <td>1,901</td> <td>1,891</td> <td>1,842</td> <td>1,837</td> <td>1,771</td> </tr> <tr> <td>児童福祉法</td> <td>657</td> <td>721</td> <td>723</td> <td>471</td> <td>114</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>障害者医療</td> <td>179</td> <td>258</td> <td>240</td> <td>164</td> <td>189</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>134</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>特定児童</td> <td>33</td> <td>157</td> <td>138</td> <td>115</td> <td>88</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>100</td> <td>172</td> <td>181</td> <td>176</td> <td>182</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>精神保健</td> <td>117</td> <td>96</td> <td>102</td> <td>83</td> <td>89</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>112</td> <td>97</td> <td>111</td> <td>119</td> <td>143</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,499</td> <td>3,409</td> <td>3,391</td> <td>2,975</td> <td>2,645</td> <td>2,512</td> </tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	小児慢性特定疾患治療研究事業	2,158	1,901	1,891	1,842	1,837	1,771	児童福祉法	657	721	723	471	114	55	障害者医療	179	258	240	164	189	182	特別支援学校	134	7	6	5	3	7	特定児童	33	157	138	115	88	100	生活保護	100	172	181	176	182	182	精神保健	117	96	102	83	89	69	その他	112	97	111	119	143	146	計	3,499	3,409	3,391	2,975	2,645	2,512	—	—	—	—	—	—																																			
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
小児慢性特定疾患治療研究事業	2,158	1,901	1,891	1,842	1,837	1,771																																																																																																														
児童福祉法	657	721	723	471	114	55																																																																																																														
障害者医療	179	258	240	164	189	182																																																																																																														
特別支援学校	134	7	6	5	3	7																																																																																																														
特定児童	33	157	138	115	88	100																																																																																																														
生活保護	100	172	181	176	182	182																																																																																																														
精神保健	117	96	102	83	89	69																																																																																																														
その他	112	97	111	119	143	146																																																																																																														
計	3,499	3,409	3,391	2,975	2,645	2,512																																																																																																														
90	①医療にかかるといえる患者の協力を得る。②医療にかかるといえる患者の協力を得る。③医療にかかるといえる患者の協力を得る。	①医療にかかるといえる患者の協力を得る。②医療にかかるといえる患者の協力を得る。③医療にかかるといえる患者の協力を得る。	①医療にかかるといえる患者の協力を得る。②医療にかかるといえる患者の協力を得る。③医療にかかるといえる患者の協力を得る。	①医療にかかるといえる患者の協力を得る。②医療にかかるといえる患者の協力を得る。③医療にかかるといえる患者の協力を得る。	<p>精神保健福祉法による鑑定医総数 (単位：件)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>ところ</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	ところ	10	7	9	12	4	5	—	—	—	—	—	—																																																																																											
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
ところ	10	7	9	12	4	5																																																																																																														
91	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①特別支援学校や児童相談所など教育機関や福祉機関との連携を強化するため、講師や相談会などを継続的に開催する。	<p>特別支援学校等講師派遣実績</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>小児慢性特定疾患治療研究事業</td> <td>2,158</td> <td>1,901</td> <td>1,891</td> <td>1,842</td> <td>1,837</td> <td>1,771</td> </tr> <tr> <td>児童福祉法</td> <td>657</td> <td>721</td> <td>723</td> <td>471</td> <td>114</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>障害者医療</td> <td>179</td> <td>258</td> <td>240</td> <td>164</td> <td>189</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>134</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>特定児童</td> <td>33</td> <td>157</td> <td>138</td> <td>115</td> <td>88</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>100</td> <td>172</td> <td>181</td> <td>176</td> <td>182</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>精神保健</td> <td>117</td> <td>96</td> <td>102</td> <td>83</td> <td>89</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>112</td> <td>97</td> <td>111</td> <td>119</td> <td>143</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,499</td> <td>3,409</td> <td>3,391</td> <td>2,975</td> <td>2,645</td> <td>2,512</td> </tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	小児慢性特定疾患治療研究事業	2,158	1,901	1,891	1,842	1,837	1,771	児童福祉法	657	721	723	471	114	55	障害者医療	179	258	240	164	189	182	特別支援学校	134	7	6	5	3	7	特定児童	33	157	138	115	88	100	生活保護	100	172	181	176	182	182	精神保健	117	96	102	83	89	69	その他	112	97	111	119	143	146	計	3,499	3,409	3,391	2,975	2,645	2,512	—	—	—	—	—	—																																			
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
小児慢性特定疾患治療研究事業	2,158	1,901	1,891	1,842	1,837	1,771																																																																																																														
児童福祉法	657	721	723	471	114	55																																																																																																														
障害者医療	179	258	240	164	189	182																																																																																																														
特別支援学校	134	7	6	5	3	7																																																																																																														
特定児童	33	157	138	115	88	100																																																																																																														
生活保護	100	172	181	176	182	182																																																																																																														
精神保健	117	96	102	83	89	69																																																																																																														
その他	112	97	111	119	143	146																																																																																																														
計	3,499	3,409	3,391	2,975	2,645	2,512																																																																																																														
92	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①特別支援学校や児童相談所など教育機関や福祉機関との連携を強化するため、講師や相談会などを継続的に開催する。	<p>特別支援学校等講師派遣実績</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>小児慢性特定疾患治療研究事業</td> <td>2,158</td> <td>1,901</td> <td>1,891</td> <td>1,842</td> <td>1,837</td> <td>1,771</td> </tr> <tr> <td>児童福祉法</td> <td>657</td> <td>721</td> <td>723</td> <td>471</td> <td>114</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>障害者医療</td> <td>179</td> <td>258</td> <td>240</td> <td>164</td> <td>189</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>134</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>特定児童</td> <td>33</td> <td>157</td> <td>138</td> <td>115</td> <td>88</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>100</td> <td>172</td> <td>181</td> <td>176</td> <td>182</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>精神保健</td> <td>117</td> <td>96</td> <td>102</td> <td>83</td> <td>89</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>112</td> <td>97</td> <td>111</td> <td>119</td> <td>143</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,499</td> <td>3,409</td> <td>3,391</td> <td>2,975</td> <td>2,645</td> <td>2,512</td> </tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	小児慢性特定疾患治療研究事業	2,158	1,901	1,891	1,842	1,837	1,771	児童福祉法	657	721	723	471	114	55	障害者医療	179	258	240	164	189	182	特別支援学校	134	7	6	5	3	7	特定児童	33	157	138	115	88	100	生活保護	100	172	181	176	182	182	精神保健	117	96	102	83	89	69	その他	112	97	111	119	143	146	計	3,499	3,409	3,391	2,975	2,645	2,512	—	—	—	—	—	—																																			
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
小児慢性特定疾患治療研究事業	2,158	1,901	1,891	1,842	1,837	1,771																																																																																																														
児童福祉法	657	721	723	471	114	55																																																																																																														
障害者医療	179	258	240	164	189	182																																																																																																														
特別支援学校	134	7	6	5	3	7																																																																																																														
特定児童	33	157	138	115	88	100																																																																																																														
生活保護	100	172	181	176	182	182																																																																																																														
精神保健	117	96	102	83	89	69																																																																																																														
その他	112	97	111	119	143	146																																																																																																														
計	3,499	3,409	3,391	2,975	2,645	2,512																																																																																																														
93	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	①特別支援学校や児童相談所など教育機関や福祉機関との連携を強化するため、講師や相談会などを継続的に開催する。	<p>特別支援学校等講師派遣実績</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> <tr> <td>小児慢性特定疾患治療研究事業</td> <td>2,158</td> <td>1,901</td> <td>1,891</td> <td>1,842</td> <td>1,837</td> <td>1,771</td> </tr> <tr> <td>児童福祉法</td> <td>657</td> <td>721</td> <td>723</td> <td>471</td> <td>114</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>障害者医療</td> <td>179</td> <td>258</td> <td>240</td> <td>164</td> <td>189</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>134</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>特定児童</td> <td>33</td> <td>157</td> <td>138</td> <td>115</td> <td>88</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>100</td> <td>172</td> <td>181</td> <td>176</td> <td>182</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>精神保健</td> <td>117</td> <td>96</td> <td>102</td> <td>83</td> <td>89</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>112</td> <td>97</td> <td>111</td> <td>119</td> <td>143</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,499</td> <td>3,409</td> <td>3,391</td> <td>2,975</td> <td>2,645</td> <td>2,512</td> </tr> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	小児慢性特定疾患治療研究事業	2,158	1,901	1,891	1,842	1,837	1,771	児童福祉法	657	721	723	471	114	55	障害者医療	179	258	240	164	189	182	特別支援学校	134	7	6	5	3	7	特定児童	33	157	138	115	88	100	生活保護	100	172	181	176	182	182	精神保健	117	96	102	83	89	69	その他	112	97	111	119	143	146	計	3,499	3,409	3,391	2,975	2,645	2,512	—	—	—	—	—	—																																			
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																																																																														
小児慢性特定疾患治療研究事業	2,158	1,901	1,891	1,842	1,837	1,771																																																																																																														
児童福祉法	657	721	723	471	114	55																																																																																																														
障害者医療	179	258	240	164	189	182																																																																																																														
特別支援学校	134	7	6	5	3	7																																																																																																														
特定児童	33	157	138	115	88	100																																																																																																														
生活保護	100	172	181	176	182	182																																																																																																														
精神保健	117	96	102	83	89	69																																																																																																														
その他	112	97	111	119	143	146																																																																																																														
計	3,499	3,409	3,391	2,975	2,645	2,512																																																																																																														

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			94	<p>① 研究雑誌や研究旅費等の予算化等により学会や研修会等への参加がしやすい体制を維持する。</p>	<p>(総合) 各病院の業績 (5年連続)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> <tr> <td>業績</td> <td>466</td> <td>472</td> <td>578</td> <td>604</td> <td>596</td> <td>547</td> <td>547</td> </tr> </table> <p>(ことし) 各病院</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>病棟</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>(ことし) 各病院</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>466</td> <td>484</td> <td>584</td> <td>596</td> <td>547</td> <td>547</td> <td>547</td> </tr> <tr> <td>病棟</td> <td>466</td> <td>484</td> <td>584</td> <td>596</td> <td>547</td> <td>547</td> <td>547</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>466</td> <td>484</td> <td>584</td> <td>596</td> <td>547</td> <td>547</td> <td>547</td> </tr> </table> <p>(ことし) 各病院</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>466</td> <td>484</td> <td>584</td> <td>596</td> <td>547</td> <td>547</td> <td>547</td> </tr> <tr> <td>病棟</td> <td>466</td> <td>484</td> <td>584</td> <td>596</td> <td>547</td> <td>547</td> <td>547</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>466</td> <td>484</td> <td>584</td> <td>596</td> <td>547</td> <td>547</td> <td>547</td> </tr> </table> <p>各病院 (総務)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>27</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>30</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>37</td> <td>19</td> <td>57</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>51</td> <td>21</td> <td>57</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>21</td> <td>57</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>各病院 (総務)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>27</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>30</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>37</td> <td>19</td> <td>57</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>51</td> <td>21</td> <td>57</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>21</td> <td>57</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	業績	466	472	578	604	596	547	547		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	看護部	3	3	3	3	3	3	3	病棟	3	3	3	3	3	3	3	計	3	3	3	3	3	3	3		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	看護部	466	484	584	596	547	547	547	病棟	466	484	584	596	547	547	547	計	466	484	584	596	547	547	547		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	看護部	466	484	584	596	547	547	547	病棟	466	484	584	596	547	547	547	計	466	484	584	596	547	547	547		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	看護部	10	4	27	20	18	0	0	25F/7/9L	13	4	11	12	0	0	0	事務	21	11	28	26	0	0	0	看護部	0	0	0	0	0	0	0	25F/7/9L	0	0	0	0	0	0	0	事務	0	1	0	0	0	0	0	看護部	27	9	30	3	7	0	0	25F/7/9L	3	0	0	0	0	0	0	事務	30	9	30	4	7	0	0	看護部	37	19	57	11	7	0	0	25F/7/9L	16	4	0	12	0	0	0	事務	51	21	57	24	11	0	0	計	51	21	57	24	11	0	0		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	看護部	10	4	27	20	18	0	0	25F/7/9L	13	4	11	12	0	0	0	事務	21	11	28	26	0	0	0	看護部	0	0	0	0	0	0	0	25F/7/9L	0	0	0	0	0	0	0	事務	0	1	0	0	0	0	0	看護部	27	9	30	3	7	0	0	25F/7/9L	3	0	0	0	0	0	0	事務	30	9	30	4	7	0	0	看護部	37	19	57	11	7	0	0	25F/7/9L	16	4	0	12	0	0	0	事務	51	21	57	24	11	0	0	計	51	21	57	24	11	0	0	<p>医師や研修医をはじめとする医務スタッフが研究雑誌や研究旅費等の予算化等により国内外の学会や研修会等へ参加し、研究発表を行った。</p> <p>A</p>
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
業績	466	472	578	604	596	547	547																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	3	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
病棟	3	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
計	3	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	466	484	584	596	547	547	547																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
病棟	466	484	584	596	547	547	547																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
計	466	484	584	596	547	547	547																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	466	484	584	596	547	547	547																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
病棟	466	484	584	596	547	547	547																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
計	466	484	584	596	547	547	547																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	10	4	27	20	18	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	13	4	11	12	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	21	11	28	26	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	0	1	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	27	9	30	3	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	3	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	30	9	30	4	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	37	19	57	11	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	16	4	0	12	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	51	21	57	24	11	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
計	51	21	57	24	11	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	10	4	27	20	18	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	13	4	11	12	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	21	11	28	26	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	0	1	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	27	9	30	3	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	3	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	30	9	30	4	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	37	19	57	11	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	16	4	0	12	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	51	21	57	24	11	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
計	51	21	57	24	11	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			95	<p>③ 院内における資格取得を支援し、活用を促進する。</p>	<p>資格等取得助成制度利用実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>27</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>30</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>37</td> <td>19</td> <td>57</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>51</td> <td>21</td> <td>57</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>21</td> <td>57</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>各病院 (総務)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>27</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>30</td> <td>9</td> <td>30</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>37</td> <td>19</td> <td>57</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25F/7/9L</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>51</td> <td>21</td> <td>57</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>21</td> <td>57</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	総合	10	4	27	20	18	0	0	25F/7/9L	13	4	11	12	0	0	0	事務	21	11	28	26	0	0	0	看護部	0	0	0	0	0	0	0	25F/7/9L	0	0	0	0	0	0	0	事務	0	1	0	0	0	0	0	看護部	27	9	30	3	7	0	0	25F/7/9L	3	0	0	0	0	0	0	事務	30	9	30	4	7	0	0	看護部	37	19	57	11	7	0	0	25F/7/9L	16	4	0	12	0	0	0	事務	51	21	57	24	11	0	0	計	51	21	57	24	11	0	0		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	看護部	10	4	27	20	18	0	0	25F/7/9L	13	4	11	12	0	0	0	事務	21	11	28	26	0	0	0	看護部	0	0	0	0	0	0	0	25F/7/9L	0	0	0	0	0	0	0	事務	0	1	0	0	0	0	0	看護部	27	9	30	3	7	0	0	25F/7/9L	3	0	0	0	0	0	0	事務	30	9	30	4	7	0	0	看護部	37	19	57	11	7	0	0	25F/7/9L	16	4	0	12	0	0	0	事務	51	21	57	24	11	0	0	計	51	21	57	24	11	0	0	<p>資格等取得助成制度は、平成24年度から開始し、毎年度一定数の利用者があり、資格取得者は増加している。</p> <p>A</p>																																																																																																																
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
総合	10	4	27	20	18	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	13	4	11	12	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	21	11	28	26	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	0	1	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	27	9	30	3	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	3	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	30	9	30	4	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	37	19	57	11	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	16	4	0	12	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	51	21	57	24	11	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
計	51	21	57	24	11	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	10	4	27	20	18	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	13	4	11	12	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	21	11	28	26	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	0	1	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	27	9	30	3	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	3	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	30	9	30	4	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
看護部	37	19	57	11	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
25F/7/9L	16	4	0	12	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事務	51	21	57	24	11	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
計	51	21	57	24	11	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																							
(3) 県民への情報提供の充実 公開講座や医療相談の開催、ホームページの活用などを通じて県民への情報発信し、県民の健康意識の高揚に努めること。	(3) 県民への情報提供の充実 定期的に公開講座、医療相談会等を開催し、ホームページ等で健康管理・増進などについての情報提供 方法で県民への情報提供を進め県民の健康意識の高揚や健康に関する知識の充実を図る。	(3) 県民への情報提供の充実 ①定期的な公開講座、医療相談会等の開催 ②ホームページ等による健康増進などについての情報提供 ③報道機関等への情報発信	96	①県民向け・医療機関向けの公開講座等を開催する。	<p>各病院、特色を活かした公開講座等を企画、開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院</th> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>職員向け</td> <td>4,062</td> <td>4,024</td> <td>3,712</td> <td>5,214</td> </tr> <tr> <td>患者向け</td> <td>28</td> <td>13</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>職員向け</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>患者向け</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こども</td> <td>職員向け</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>患者向け</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	病院	区分	28年度	29年度	30年度	元年度	総合	職員向け	4,062	4,024	3,712	5,214	患者向け	28	13	27	27	その他	0	0	0	0	こころ	職員向け	0	0	0	0	患者向け	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	こども	職員向け	0	0	0	0	患者向け	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	<p>総合では、8/18県民の日講演会「お茶と健康」、7/26、9/20、11/22入院医療の現実(66歳～80歳の病院見学会)などを開催した。</p> <p>こころでは、外学向け講座として、ポテンティア養成講座を開催し計21名の参加があった。参加者からは、精神疾患への理解が深まったと好評であった。医療機関向けでは、深層催眠療法初任者研修やNST勉強会を開催した。</p> <p>こども病院では、県民向け公開講座としてアレルギーー教室を実施し、定員を超える応募があった。</p> <p>公開講座の開催を通じて、県民・県内医療機関に対して、最新医療に関する情報提供を行うことができたが、年度末には新型コロナウイルス(SARS-COV-2)感染症拡大防止のため、中止した講座等があり、目標には達しなかった。</p>	<p>総合では、例年多くの来場があり、県民の健康意識の高揚や健康に関する知識の充実につながっている。</p>
病院	区分	28年度	29年度	30年度	元年度																																																								
総合	職員向け	4,062	4,024	3,712	5,214																																																								
	患者向け	28	13	27	27																																																								
	その他	0	0	0	0																																																								
こころ	職員向け	0	0	0	0																																																								
	患者向け	0	0	0	0																																																								
	その他	0	0	0	0																																																								
こども	職員向け	0	0	0	0																																																								
	患者向け	0	0	0	0																																																								
	その他	0	0	0	0																																																								
(3) 県民への情報提供の充実 【目標値】 ・公開講座件数(総合、こころ、こども)	(3) 県民への情報提供の充実 【目標値】 ・公開講座件数(総合、こころ、こども)	【目標値】 ・公開講座件数(総合、こころ、こども)	97	①【総/子】県民向けイベントの開催や参加に努める。	<p>(総合) オープンホスピタルを企画、開催した。 来場者約1,200人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>1,000</td> <td>1,200</td> <td>1,400</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>1,000</td> <td>1,200</td> <td>1,400</td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>(こども) 静岡新聞社、静岡放送(株)が主催の「こどもみらいプロジェクト秋まつりinツインタワーズ」に参加し、健康相談及びこども用の医師・ナース服の着用体験のブースを出展した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>22</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>22</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>※別冊「公開講座」を参照</p>	区分	28年度	29年度	30年度	元年度	区	1,000	1,200	1,400	1,200	分	1,000	1,200	1,400	1,200	区分	28年度	29年度	30年度	元年度	区	13	14	22	10	分	13	14	22	10	<p>オープンホスピタルは、例年多くの来場があり、県民の健康意識の高揚や健康に関する知識の充実につながっている。</p>	<p>オープンホスピタルは、例年多くの来場があり、県民の健康意識の高揚や健康に関する知識の充実につながっている。</p>																								
区分	28年度	29年度	30年度	元年度																																																									
区	1,000	1,200	1,400	1,200																																																									
分	1,000	1,200	1,400	1,200																																																									
区分	28年度	29年度	30年度	元年度																																																									
区	13	14	22	10																																																									
分	13	14	22	10																																																									
(3) 県民への情報提供の充実 【目標値】 ・公開講座件数(総合、こころ、こども)	(3) 県民への情報提供の充実 【目標値】 ・公開講座件数(総合、こころ、こども)	【目標値】 ・公開講座件数(総合、こころ、こども)	98	②県民及び他の医療機関従事者に、県立病院機構の有する医療情報等を積極的に提供するため、機構ホームページを定期的に更新する。	<p>機構全体のトピックスやプレスリリース、総合病院の無菌病棟開棟等の最新情報を随時更新するなど、積極的に情報発信を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>316,047</td> <td>271,467</td> <td>214,412</td> <td>218,333</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>1,124,373</td> <td>1,355,313</td> <td>1,881,780</td> <td>2,017,729</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>285,800</td> <td>273,313</td> <td>475,288</td> <td>376,238</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1,019,823</td> <td>1,457,071</td> <td>1,452,281</td> <td>1,572,026</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,855,431</td> <td>4,055,029</td> <td>5,051,661</td> <td>4,082,728</td> </tr> </tbody> </table>	区分	28年度	29年度	30年度	元年度	本部	316,047	271,467	214,412	218,333	総合	1,124,373	1,355,313	1,881,780	2,017,729	こころ	285,800	273,313	475,288	376,238	こども	1,019,823	1,457,071	1,452,281	1,572,026	合計	3,855,431	4,055,029	5,051,661	4,082,728	<p>総合病院の最新情報やトピックスの更新など、積極的にホームページの活用を図ることが出来た。引き続き積極的に情報発信に努める。</p> <p>こころの医療センターでは、医師採用募集の動画の掲載や、看護部デジタルバンフレットで積極的な採用活動を行った。定期的な活動レポートの更新により、積極的な情報発信に努めている。</p>	<p>総合病院の最新情報やトピックスの更新など、積極的にホームページの活用を図ることが出来た。引き続き積極的に情報発信に努める。</p>																								
区分	28年度	29年度	30年度	元年度																																																									
本部	316,047	271,467	214,412	218,333																																																									
総合	1,124,373	1,355,313	1,881,780	2,017,729																																																									
こころ	285,800	273,313	475,288	376,238																																																									
こども	1,019,823	1,457,071	1,452,281	1,572,026																																																									
合計	3,855,431	4,055,029	5,051,661	4,082,728																																																									
(3) 県民への情報提供の充実 【目標値】 ・公開講座件数(総合、こころ、こども)	(3) 県民に病院の運営にかかわる情報を戦略的に広報するため、報道機関向けの情報発信の推進を図る。	【目標値】 ・公開講座件数(総合、こころ、こども)	99	③県民に病院の運営にかかわる情報を戦略的に広報するため、報道機関向けの情報発信の推進を図る。	<p>最先端医療への取組や各病院で開催する県民向けの公開講座、各種イベントなどについて、積極的に情報発信を行い、情報発信の推進を図った。平成28年度から各病院でのプレスリリース実績を共有で管理するようになり、各病院の真摯な対応及び機構全体での情報共有を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区</td> <td>41</td> <td>48</td> <td>47</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>41</td> <td>48</td> <td>47</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>	区分	28年度	29年度	30年度	元年度	区	41	48	47	43	分	41	48	47	43	<p>県民記者クラブへの情報提供について、各病院の実績を共有で管理するようになり、情報発信の推進を図る。記者提供が正確に行われるようになった。提供件数は高い水準を保持しているが、先端医療や北北体駐車場の建設などの大型建築物の設置が完了したことや、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント等を中止するなど前年度と比較して減少している。引き続き、継続して取り組みを強化していく。</p>	<p>県民記者クラブへの情報提供について、各病院の実績を共有で管理するようになり、情報発信の推進を図る。記者提供が正確に行われるようになった。提供件数は高い水準を保持しているが、先端医療や北北体駐車場の建設などの大型建築物の設置が完了したことや、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント等を中止するなど前年度と比較して減少している。引き続き、継続して取り組みを強化していく。</p>																																							
区分	28年度	29年度	30年度	元年度																																																									
区	41	48	47	43																																																									
分	41	48	47	43																																																									

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価
<p>5 災害等における医療救護</p> <p>県民の安心・安全を守るため、医療救護活動の拠点機能を担い、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。</p>	<p>5 災害等における医療救護</p> <p>地震などによる大規模災害の発生が危惧される静岡県内の病院として、災害等への日頃からの備えを進め、発生時においては静岡県医療救護計画等に基づき、医療救護活動に従事する。</p>	<p>5 災害等における医療救護</p> <p>県立病院として、県内外の災害等の発生に対し十分な備えをすることができ、医療救護活動の拠点としての役割を果たす。</p>	<p>100 102</p>	<p>①災害医療訓練を実施する。 ②災害対応マニュアル等の整備、見直しを行い発生時に迅速な対応ができるようにする。 ③【心】・災害等に対する日頃の備えに努め、大規模災害等における本県の精神分野の災害時医療に対応する。 ④【子】・小児医療施設協議会において実施する小児専門医療機関間の災害時における情報交換システムに参加、協力して取り組む。</p>	<p>①災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p> <p>②災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p>	<p>①災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p> <p>②災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p>
<p>5 災害等における医療救護</p> <p>県民の安心・安全を守るため、医療救護活動の拠点機能を担い、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。</p>	<p>5 災害等における医療救護</p> <p>地震などによる大規模災害の発生が危惧される静岡県内の病院として、災害等への日頃からの備えを進め、発生時においては静岡県医療救護計画等に基づき、医療救護活動に従事する。</p>	<p>5 災害等における医療救護</p> <p>県立病院として、県内外の災害等の発生に対し十分な備えをすることができ、医療救護活動の拠点としての役割を果たす。</p>	<p>101</p>	<p>①災害医療訓練を実施する。 ②災害対応マニュアル等の整備、見直しを行い発生時に迅速な対応ができるようにする。 ③【心】・災害等に対する日頃の備えに努め、大規模災害等における本県の精神分野の災害時医療に対応する。 ④【子】・小児医療施設協議会において実施する小児専門医療機関間の災害時における情報交換システムに参加、協力して取り組む。</p>	<p>①災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p> <p>②災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p>	<p>①災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p> <p>②災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p>
<p>5 災害等における医療救護</p> <p>県民の安心・安全を守るため、医療救護活動の拠点機能を担い、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。</p>	<p>5 災害等における医療救護</p> <p>地震などによる大規模災害の発生が危惧される静岡県内の病院として、災害等への日頃からの備えを進め、発生時においては静岡県医療救護計画等に基づき、医療救護活動に従事する。</p>	<p>5 災害等における医療救護</p> <p>県立病院として、県内外の災害等の発生に対し十分な備えをすることができ、医療救護活動の拠点としての役割を果たす。</p>	<p>103</p>	<p>①災害医療訓練を実施する。 ②災害対応マニュアル等の整備、見直しを行い発生時に迅速な対応ができるようにする。 ③【心】・災害等に対する日頃の備えに努め、大規模災害等における本県の精神分野の災害時医療に対応する。 ④【子】・小児医療施設協議会において実施する小児専門医療機関間の災害時における情報交換システムに参加、協力して取り組む。</p>	<p>①災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p> <p>②災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p>	<p>①災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p> <p>②災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p>
<p>5 災害等における医療救護</p> <p>県民の安心・安全を守るため、医療救護活動の拠点機能を担い、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。</p>	<p>5 災害等における医療救護</p> <p>地震などによる大規模災害の発生が危惧される静岡県内の病院として、災害等への日頃からの備えを進め、発生時においては静岡県医療救護計画等に基づき、医療救護活動に従事する。</p>	<p>5 災害等における医療救護</p> <p>県立病院として、県内外の災害等の発生に対し十分な備えをすることができ、医療救護活動の拠点としての役割を果たす。</p>	<p>104</p>	<p>①災害医療訓練を実施する。 ②災害対応マニュアル等の整備、見直しを行い発生時に迅速な対応ができるようにする。 ③【心】・災害等に対する日頃の備えに努め、大規模災害等における本県の精神分野の災害時医療に対応する。 ④【子】・小児医療施設協議会において実施する小児専門医療機関間の災害時における情報交換システムに参加、協力して取り組む。</p>	<p>①災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p> <p>②災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p>	<p>①災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p> <p>②災害医療訓練等、災害の発生を想定し、医療災害拠点病院の役割を担い、行政機関を企画、実施した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実にも努める。 A</p>

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>1 効率的な業務運営体制の強化</p> <p>医療を取り巻く環境の変化とそのスピードに迅速かつ的確に対応するため、医療資源の有効活用や業務の見直し、職員参加型の業務改善等を推進し、業務運営体制の強化を図る。特に、未稼働病床については、その活用方法について検討すること。</p>	<p>1 効率的な業務運営体制の強化</p> <p>医療環境の変化や果民の医療需要に的確に対応されるよう簡素で効果的、効率的な組織づくりを進め、適時適切な意思決定ができる組織運営に努める。</p> <p>果民病院が有する人的、物的等医療資源を有効に活用するたため、常に効率的な業務運営に取り組む、経営情報を共有し職員間の連携を図る。</p> <p>果民病院の病床については、未稼働病床を含め、社会経済情勢や地域医療の状況を踏まえ、最適な方法での配置や活用を図る。</p> <p>業務の改善改革への取組を奨励し、その活動を積極的に評価し、職員の見解が反映されやすい風通しの良い組織運営を進めるなど、職員の意欲が高い活気に溢れた病院づくりに取り組む。</p>	<p>1 効率的な業務運営体制の強化</p> <p>①意思決定の迅速化・情報共有化等、機動的な法人運営</p> <p>②医療ニーズや業務量の適切な把握と組織体制等への反映</p> <p>③人事評価の制度化に向けた取組み</p> <p>④効果的な職員採用</p> <p>⑤柔軟な採用試験の実施等、業務の質と量に応じた人材の適時採用</p> <p>⑥看護師確保のため、看護師修学資金の活用推進や広報活動など多様な確保持策の実施</p> <p>⑦診療報酬など収入の適正な確保</p> <p>⑧業務の質を担保しつつ、多様な契約手法の活用や事務効率化などによるコスト削減</p> <p>⑨経営情報を把握及び適時適切な措置を講じらる体制整備</p> <p>⑩経営情報を職員が共有するなど、職員全員の経営意識の向上</p> <p>⑪業務の改善の取組等を通じた職員の意識向上及び病院運営の活性化</p>	<p>101</p> <p>①②組織の効率化、各種権限の病院長への委任により事務のスピード化を図る。</p> <p>①②理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を毎月開催(8月を除く)、法人の運営情報(8月を除く)を共有し、予算の補正等の緊急な課題に対する即時的な対応を行う。</p> <p>③全職員を対象とした人事評価制度の試行を円滑に実施する。</p>	<p>本部・各病院(総務・企画・経営)</p> <p>勤労成績評価制度試行状況</p> <table border="1" data-bbox="375 526 518 728"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師(管理監督者)</td> <td>平26年10月～</td> </tr> <tr> <td>看護師(副主任以上)</td> <td>平28年4月～</td> </tr> <tr> <td>コメディカル(管理監督者)</td> <td>平27年10月～</td> </tr> <tr> <td>コメディカル(副主任以上)</td> <td>平28年4月～</td> </tr> <tr> <td>事務職員(プロパー職員副主任以上)</td> <td>平28年4月～</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <table border="1" data-bbox="566 660 662 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>27</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>27</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <table border="1" data-bbox="678 660 774 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>1,000</td> <td>1,188</td> <td>1,236</td> <td>1,277</td> <td>1,370</td> <td>1,370</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>600</td> <td>651</td> <td>659</td> <td>652</td> <td>653</td> <td>653</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,899</td> <td>1,811</td> <td>2,004</td> <td>2,056</td> <td>2,084</td> <td>2,113</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <table border="1" data-bbox="790 660 885 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>63</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>112</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>112</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>採用</td> <td>33</td> <td>70</td> <td>40</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <table border="1" data-bbox="901 660 997 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>1,000</td> <td>1,188</td> <td>1,236</td> <td>1,277</td> <td>1,370</td> <td>1,370</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>600</td> <td>651</td> <td>659</td> <td>652</td> <td>653</td> <td>653</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,899</td> <td>1,811</td> <td>2,004</td> <td>2,056</td> <td>2,084</td> <td>2,113</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <table border="1" data-bbox="1013 660 1109 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>63</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>112</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>112</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>採用</td> <td>33</td> <td>70</td> <td>40</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <table border="1" data-bbox="1125 660 1220 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>1,000</td> <td>1,188</td> <td>1,236</td> <td>1,277</td> <td>1,370</td> <td>1,370</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>600</td> <td>651</td> <td>659</td> <td>652</td> <td>653</td> <td>653</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,899</td> <td>1,811</td> <td>2,004</td> <td>2,056</td> <td>2,084</td> <td>2,113</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <table border="1" data-bbox="1236 660 1332 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>63</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>112</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>112</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>採用</td> <td>33</td> <td>70</td> <td>40</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <p>ホームヘルシアケース数</p> <table border="1" data-bbox="1348 660 1444 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>1,000</td> <td>1,188</td> <td>1,236</td> <td>1,277</td> <td>1,370</td> <td>1,370</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>600</td> <td>651</td> <td>659</td> <td>652</td> <td>653</td> <td>653</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,899</td> <td>1,811</td> <td>2,004</td> <td>2,056</td> <td>2,084</td> <td>2,113</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <p>ホームヘルシアケース数</p> <table border="1" data-bbox="1460 660 1556 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>63</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>112</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>112</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>採用</td> <td>33</td> <td>70</td> <td>40</td> <td>48</td> <td>49</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p> <p>ホームヘルシアケース数</p> <table border="1" data-bbox="1572 660 1596 929"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>31</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>試験件数</td> <td>1,000</td> <td>1,188</td> <td>1,236</td> <td>1,277</td> <td>1,370</td> <td>1,370</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>600</td> <td>651</td> <td>659</td> <td>652</td> <td>653</td> <td>653</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,899</td> <td>1,811</td> <td>2,004</td> <td>2,056</td> <td>2,084</td> <td>2,113</td> </tr> </tbody> </table> <p>2025年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度</p>	対象	実施時期	看護師(管理監督者)	平26年10月～	看護師(副主任以上)	平28年4月～	コメディカル(管理監督者)	平27年10月～	コメディカル(副主任以上)	平28年4月～	事務職員(プロパー職員副主任以上)	平28年4月～	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	3	1	-	3	-	-	試験件数	27	7	5	4	3	3	合格者数	27	7	5	4	3	3	計	33	15	10	11	6	6	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	29	33	29	27	31	33	試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370	合格者数	600	651	659	652	653	653	計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	54	55	58	58	63	70	試験件数	112	111	123	123	131	137	合格者数	112	111	123	123	131	137	採用	33	70	40	48	49	44	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	29	33	29	27	31	33	試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370	合格者数	600	651	659	652	653	653	計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	54	55	58	58	63	70	試験件数	112	111	123	123	131	137	合格者数	112	111	123	123	131	137	採用	33	70	40	48	49	44	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	29	33	29	27	31	33	試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370	合格者数	600	651	659	652	653	653	計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	54	55	58	58	63	70	試験件数	112	111	123	123	131	137	合格者数	112	111	123	123	131	137	採用	33	70	40	48	49	44	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	29	33	29	27	31	33	試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370	合格者数	600	651	659	652	653	653	計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	54	55	58	58	63	70	試験件数	112	111	123	123	131	137	合格者数	112	111	123	123	131	137	採用	33	70	40	48	49	44	区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	職員数	29	33	29	27	31	33	試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370	合格者数	600	651	659	652	653	653	計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>-</p> <p>A</p> <p>毎月、機体内での情報の共有化、緊急案件についての対応が問題なく行われた。果民病院として職員組合と合意し、平成30年4月から試行を開始した人事評価制度については、給与へ活用する本格的導入は行っていないものの、令和元年度前期、後期ともに全職員を対象に実施した(ただし、有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)。</p> <p>A</p> <p>効果的な職員採用に繋げるため、看護師や事務職員に続き、コメディカルでもアシエンエド職を採用し、優秀な人材確保を進めた。また、看護師確保のため、就職説明会への参加や各種広報(公共交通機関への広告掲載)、修学資金貸与制度の拡充、養成校訪問など様々な確保対策を進め、採用数の増加に繋げた。</p>
対象	実施時期																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
看護師(管理監督者)	平26年10月～																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
看護師(副主任以上)	平28年4月～																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
コメディカル(管理監督者)	平27年10月～																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
コメディカル(副主任以上)	平28年4月～																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
事務職員(プロパー職員副主任以上)	平28年4月～																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	3	1	-	3	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	27	7	5	4	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	27	7	5	4	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	33	15	10	11	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	29	33	29	27	31	33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	600	651	659	652	653	653																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	54	55	58	58	63	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	112	111	123	123	131	137																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	112	111	123	123	131	137																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
採用	33	70	40	48	49	44																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	29	33	29	27	31	33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	600	651	659	652	653	653																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	54	55	58	58	63	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	112	111	123	123	131	137																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	112	111	123	123	131	137																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
採用	33	70	40	48	49	44																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	29	33	29	27	31	33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	600	651	659	652	653	653																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	54	55	58	58	63	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	112	111	123	123	131	137																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	112	111	123	123	131	137																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
採用	33	70	40	48	49	44																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	29	33	29	27	31	33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	600	651	659	652	653	653																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	54	55	58	58	63	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	112	111	123	123	131	137																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	112	111	123	123	131	137																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
採用	33	70	40	48	49	44																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	25年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
職員数	29	33	29	27	31	33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
試験件数	1,000	1,188	1,236	1,277	1,370	1,370																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
合格者数	600	651	659	652	653	653																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	1,899	1,811	2,004	2,056	2,084	2,113																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																	
			106	⑦未収金の圧縮を図るため、未収金の収納勧奨等について外部の専門会社を活用する。 ⑧医療費に係る相対体系的な未収金対策を講じる。	<p>平成24年度から弁護士法人へ委託先を変更。 令和元年度3月未収金回収率(弁護士連年委託分) (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>委任金額</th> <th>回収額</th> <th>累計回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24~26年度</td> <td>139</td> <td>60</td> <td>43.4%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>23</td> <td>13</td> <td>45.2%</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>47.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>38</td> <td>17</td> <td>47.1%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>49.4%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>26</td> <td>20</td> <td>52.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>本部・各病院(経営)</p>	年度	委任金額	回収額	累計回収率	24~26年度	139	60	43.4%	27年度	23	13	45.2%	28年度	24	15	47.5%	29年度	38	17	47.1%	30年度	23	16	49.4%	元年度	26	20	52.0%	<p>元年度23年度以前に委託していたサードパーティーの回収率が20.4%だったのと比較し、非常に高い回収率を維持している。</p> <p style="text-align: center;">A</p>																					
年度	委任金額	回収額	累計回収率																																																				
24~26年度	139	60	43.4%																																																				
27年度	23	13	45.2%																																																				
28年度	24	15	47.5%																																																				
29年度	38	17	47.1%																																																				
30年度	23	16	49.4%																																																				
元年度	26	20	52.0%																																																				
			107	⑨積極的に施設基準を取得する。 ・診療報酬の適正請求にかかわる研修会等を実施する。	<p>(総合) 医療・看護必要度については繰り返し検証を行うことにより、高数値を継続することができた。 新規医療技術については、適正な評価を受けるため、施設基準を満たす項目は新規届出を行った。(食道、子宮のダ・ヴィンチ手術等) 精神科医師の採用により、緩和ケアチームに引き継いで精神科リエン지니어を充足した。 病種改修により無痛病棟を増築した。今後、血液内科だけでなく、多くの診療科での利用を促進する。 診療報酬に係る研修を開催し、適正な収入確保に取り組んだ。 令和元年5月、DPC請求に関する講演会(2回) 令和2年3月：新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期(ご遠慮) 併設小児科を病変量測定を7月から届出を行った。 がん拠点病院加算2、がん治療連携管理料3について施設基準を満たしており、請求をしている。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>施設基準の新規及びランゲージアップの届出を積極的にを行い、診療単価が向上した。研修会等を通じて、病院長として適正請求に関する意識を高めるよう努めている。</p>																																																	
			108	⑩SPD導入により、薬品・診療材料の期限切れ、病棟の在庫額減少に努める。	<p>薬品・診療材料在庫額 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品</td> <td>1,511</td> <td>1,573</td> <td>2,127</td> <td>2,832</td> <td>2,931</td> <td>2,279</td> </tr> <tr> <td>診療材料</td> <td>1,271</td> <td>2,132</td> <td>4,615</td> <td>675</td> <td>969</td> <td>973</td> </tr> <tr> <td>薬品・診療材料在庫額</td> <td>2,782</td> <td>3,705</td> <td>6,742</td> <td>3,507</td> <td>3,900</td> <td>3,252</td> </tr> </tbody> </table> <p>薬品・診療材料在庫額 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品</td> <td>179,830</td> <td>114,860</td> <td>101,066</td> <td>102,777</td> <td>92,244</td> <td>136,684</td> </tr> <tr> <td>診療材料</td> <td>169,947</td> <td>179,533</td> <td>191,861</td> <td>216,079</td> <td>224,292</td> <td>221,511</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">総合</p>	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	薬品	1,511	1,573	2,127	2,832	2,931	2,279	診療材料	1,271	2,132	4,615	675	969	973	薬品・診療材料在庫額	2,782	3,705	6,742	3,507	3,900	3,252	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	薬品	179,830	114,860	101,066	102,777	92,244	136,684	診療材料	169,947	179,533	191,861	216,079	224,292	221,511	<p>薬品及び診療材料について、使用期限を確認し、期限切れの表示や使用頻度の高い部署へ移管を行うことにより、多くのロスを防ぐなどSPD業務の改善を図った。 薬品は、SPDによる在庫管理に加え、3病室間における移管や担当職員の関与により、期限切れ廃棄額の削減と在庫減少に努めた。 診療材料は、手術室において期限切れの品をカートを設置し、使用を促したが、ピッキングリストの見直し提案を行う等、在庫の削減に努めた。</p> <p style="text-align: center;">A</p>
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																	
薬品	1,511	1,573	2,127	2,832	2,931	2,279																																																	
診療材料	1,271	2,132	4,615	675	969	973																																																	
薬品・診療材料在庫額	2,782	3,705	6,742	3,507	3,900	3,252																																																	
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度																																																	
薬品	179,830	114,860	101,066	102,777	92,244	136,684																																																	
診療材料	169,947	179,533	191,861	216,079	224,292	221,511																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																										
				<p>⑥材料費等の削減のための対策を実施する。</p>	<p>業務の実績</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">診療材料コスト削減実績 (単位：千円)</td> <td colspan="2">2019年度</td> <td colspan="2">2020年度</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>4,314</td> <td>68,409</td> <td>34,307</td> <td>83,809</td> <td>82,971</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>19,850</td> <td>6,771</td> <td>8,370</td> <td>6,345</td> <td>18,733</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24,164</td> <td>75,180</td> <td>42,724</td> <td>90,154</td> <td>86,715</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">診療材料削減率 (単位：%)</td> <td colspan="2">2019年度</td> <td colspan="2">2020年度</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>41.8</td> <td>14.2</td> <td>34.4</td> <td>11.0</td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>3,850</td> <td>171</td> <td>4,023</td> <td>1,294</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20,421</td> <td>1,051</td> <td>21,358</td> <td>3,051</td> <td>21.4</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">元年度末 薬品 後発品割合率 (単位：%)</td> <td colspan="2">2019年度</td> <td colspan="2">2020年度</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>27.2</td> <td>31.3</td> <td>31.4</td> <td>36.9</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>20.5</td> <td>22.3</td> <td>22.4</td> <td>22.4</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>各病院 (企画)</p>	診療材料コスト削減実績 (単位：千円)		2019年度		2020年度		区分	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	増減	総合	4,314	68,409	34,307	83,809	82,971	センター	0	0	0	0	0	センター	19,850	6,771	8,370	6,345	18,733	合計	24,164	75,180	42,724	90,154	86,715	診療材料削減率 (単位：%)		2019年度		2020年度		区分	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	増減	総合	41.8	14.2	34.4	11.0	6.4	センター	0	0	0	0	0	センター	3,850	171	4,023	1,294	56	合計	20,421	1,051	21,358	3,051	21.4	元年度末 薬品 後発品割合率 (単位：%)		2019年度		2020年度		区分	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	増減	総合	27.2	31.3	31.4	36.9	6.5	センター	20.5	22.3	22.4	22.4	0	<p>業務の実績</p> <p>各病院において、徹底した価格交渉や価格調査を行い、入札・見積合わせ等により競争性を確保することにより、効率的な購入及び管理のほかに、スケールメリットを生かした複数台購入も実行している。</p> <p>機種選定では複数機種を原則とし、1機種に限定する場合でも複数業者間の競争を維持するよう努めている。</p> <p>価格調査では、他病院実績の調査や関係団体への照会、ベンチマーク調査により目安となる金額の把握を徹底し、適正な金額設計に生かしている。</p> <p>保守委託では、3病院一括の契約を結ぶなど、機器に応じた契約や必要になった保守機器の随時の見直しを行いコスト低減を図っている。</p>	<p>元年度末 薬品 後発品割合率 (単位：%)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>27.2</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>20.5</td> <td>22.3</td> </tr> </table> <p>各病院 (企画)</p>	区分	2019年度	2020年度	総合	27.2	31.3	センター	20.5	22.3
診療材料コスト削減実績 (単位：千円)		2019年度		2020年度																																																																																																												
区分	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	増減																																																																																																											
総合	4,314	68,409	34,307	83,809	82,971																																																																																																											
センター	0	0	0	0	0																																																																																																											
センター	19,850	6,771	8,370	6,345	18,733																																																																																																											
合計	24,164	75,180	42,724	90,154	86,715																																																																																																											
診療材料削減率 (単位：%)		2019年度		2020年度																																																																																																												
区分	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	増減																																																																																																											
総合	41.8	14.2	34.4	11.0	6.4																																																																																																											
センター	0	0	0	0	0																																																																																																											
センター	3,850	171	4,023	1,294	56																																																																																																											
合計	20,421	1,051	21,358	3,051	21.4																																																																																																											
元年度末 薬品 後発品割合率 (単位：%)		2019年度		2020年度																																																																																																												
区分	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	増減																																																																																																											
総合	27.2	31.3	31.4	36.9	6.5																																																																																																											
センター	20.5	22.3	22.4	22.4	0																																																																																																											
区分	2019年度	2020年度																																																																																																														
総合	27.2	31.3																																																																																																														
センター	20.5	22.3																																																																																																														
			109	<p>⑥効率的な医療機器購入及び管理のための対策を実施する。</p>	<p>業務の実績</p> <p>各病院において、徹底した価格交渉や価格調査を行い、入札・見積合わせ等により競争性を確保することにより、効率的な購入及び管理のほかに、スケールメリットを生かした複数台購入も実行している。</p> <p>機種選定では複数機種を原則とし、1機種に限定する場合でも複数業者間の競争を維持するよう努めている。</p> <p>価格調査では、他病院実績の調査や関係団体への照会、ベンチマーク調査により目安となる金額の把握を徹底し、適正な金額設計に生かしている。</p> <p>保守委託では、3病院一括の契約を結ぶなど、機器に応じた契約や必要になった保守機器の随時の見直しを行いコスト低減を図っている。</p>	<p>元年度末 薬品 後発品割合率 (単位：%)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>27.2</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>20.5</td> <td>22.3</td> </tr> </table> <p>各病院 (企画)</p>	区分	2019年度	2020年度	総合	27.2	31.3	センター	20.5	22.3																																																																																																	
区分	2019年度	2020年度																																																																																																														
総合	27.2	31.3																																																																																																														
センター	20.5	22.3																																																																																																														
			110	<p>⑥効率的な医療機器購入及び管理のための対策を実施する。</p>	<p>業務の実績</p> <p>各病院において、徹底した価格交渉や価格調査を行い、入札・見積合わせ等により競争性を確保することにより、効率的な購入及び管理のほかに、スケールメリットを生かした複数台購入も実行している。</p> <p>機種選定では複数機種を原則とし、1機種に限定する場合でも複数業者間の競争を維持するよう努めている。</p> <p>価格調査では、他病院実績の調査や関係団体への照会、ベンチマーク調査により目安となる金額の把握を徹底し、適正な金額設計に生かしている。</p> <p>保守委託では、3病院一括の契約を結ぶなど、機器に応じた契約や必要になった保守機器の随時の見直しを行いコスト低減を図っている。</p>	<p>元年度末 薬品 後発品割合率 (単位：%)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>27.2</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>20.5</td> <td>22.3</td> </tr> </table> <p>各病院 (企画)</p>	区分	2019年度	2020年度	総合	27.2	31.3	センター	20.5	22.3																																																																																																	
区分	2019年度	2020年度																																																																																																														
総合	27.2	31.3																																																																																																														
センター	20.5	22.3																																																																																																														
			111	<p>⑥複数年契約や複約化等による契約方法の見直しを継続的に実施する。</p>	<p>業務の実績</p> <p>各病院において、徹底した価格交渉や価格調査を行い、入札・見積合わせ等により競争性を確保することにより、効率的な購入及び管理のほかに、スケールメリットを生かした複数台購入も実行している。</p> <p>機種選定では複数機種を原則とし、1機種に限定する場合でも複数業者間の競争を維持するよう努めている。</p> <p>価格調査では、他病院実績の調査や関係団体への照会、ベンチマーク調査により目安となる金額の把握を徹底し、適正な金額設計に生かしている。</p> <p>保守委託では、3病院一括の契約を結ぶなど、機器に応じた契約や必要になった保守機器の随時の見直しを行いコスト低減を図っている。</p>	<p>元年度末 薬品 後発品割合率 (単位：%)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>27.2</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>20.5</td> <td>22.3</td> </tr> </table> <p>各病院 (企画)</p>	区分	2019年度	2020年度	総合	27.2	31.3	センター	20.5	22.3																																																																																																	
区分	2019年度	2020年度																																																																																																														
総合	27.2	31.3																																																																																																														
センター	20.5	22.3																																																																																																														
				<p>⑥複数年契約や複約化等による契約方法の見直しを継続的に実施する。</p>	<p>業務の実績</p> <p>各病院において、徹底した価格交渉や価格調査を行い、入札・見積合わせ等により競争性を確保することにより、効率的な購入及び管理のほかに、スケールメリットを生かした複数台購入も実行している。</p> <p>機種選定では複数機種を原則とし、1機種に限定する場合でも複数業者間の競争を維持するよう努めている。</p> <p>価格調査では、他病院実績の調査や関係団体への照会、ベンチマーク調査により目安となる金額の把握を徹底し、適正な金額設計に生かしている。</p> <p>保守委託では、3病院一括の契約を結ぶなど、機器に応じた契約や必要になった保守機器の随時の見直しを行いコスト低減を図っている。</p>	<p>元年度末 薬品 後発品割合率 (単位：%)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>2019年度</td> <td>2020年度</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>27.2</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>センター</td> <td>20.5</td> <td>22.3</td> </tr> </table> <p>各病院 (企画)</p>	区分	2019年度	2020年度	総合	27.2	31.3	センター	20.5	22.3																																																																																																	
区分	2019年度	2020年度																																																																																																														
総合	27.2	31.3																																																																																																														
センター	20.5	22.3																																																																																																														

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																
			112	⑩毎月の理事会や病院幹部会議において、経営状況を報告・分析することともに、それらの経営状況の職員への周知を図る。 ⑪機構の直近の経営状況を職員(特に病院の幹部職員、県からの新しい派遣職員や新規採用職員)に認識させるため、会議や研修、広報紙等を通じて周知徹底する。	理事会や運営会議において、毎月の月次決算より経営状況を分析し、報告を行っている。3病院合同幹部会議において各病院の幹部職員に定期的に報告し、周知を図っている。 職員研修などにおいて、病院経営や効率的な業務運営に関する取組等の項目を設け、意識の醸成を図った。 院内コミュニケーション(ヒアリング等)を通じて、理事や資料等の経営情報を全職員に向け提供し、意識醸成を図っている。 主に平成27年度から、上記取り組みを継続して行うことにより、経営情報の把握や適切な措置を講じられる体制の整備を図っている。	A																																																
			113	⑪院内コミュニケーションシステムを活用するなどして、職員が経営・業務改善を常時提案できる体制を整備する。	業務改善について、院内コミュニケーションシステム等を利用して、誰もが改善を常時提案できる体制の整備に努めた。また、他職員の改善提案を確認している。	B																																																
			114	⑪利益剰余金について、機構内の各部署の業務改善が評価される制度を構築し、各病院の医療の質の向上や職員のモチベーションの向上等に資するよう活用する。	下記の方針について、県と協議し、第3期中期計画期間中に制度を構築することとした。 ・利益剰余金については、県への返納が生じない仕組みを構築。 ・運営費負担金についても政策医療・採算医療に係る経費の適切な積算を行う。 令和元年度は、がんセンターの取組を参考とするため訪問調剤を専任した。なお機構では、利益剰余金について各病院の医療の質の向上や職員のモチベーションの向上等に資するよう活用を検討していく。	B																																																
2 事務部門の専門性の向上	【目標値】 ・業務改善運動推進制度実績件数(総合、ごころ、本部)	2	115	①階層や職務に応じた効果的な研修の実施。 ②異動方針の弾力的な運用及び各部署におけるOJT(on-the-job training)をはじめとする人材の育成・研修の推進 ③診療情報管理機能の強化	事務改善運動推進制度実績件数 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">研修年度</th> <th colspan="2">総合</th> <th colspan="2">ごころ</th> <th colspan="2">本部</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>12</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>64</td> <td>63</td> <td>71</td> <td>50</td> <td>34</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>10</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>127</td> <td>114</td> <td>166</td> <td>178</td> <td>140</td> <td>203</td> </tr> </table>	研修年度	総合		ごころ		本部		実績	目標	実績	目標	実績	目標	平成27年度	6	0	6	0	5	0	平成28年度	12	34	36	20	24	58	平成29年度	64	63	71	50	34	71	本部	12	11	16	19	10	19	計	127	114	166	178	140	203	第3期中期計画期間中に制度構築に向けた取組を行っている。 階層別、業務に必要なスキルを身につける専門研修を実施した。
研修年度	総合		ごころ		本部																																																	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標																																																
平成27年度	6	0	6	0	5	0																																																
平成28年度	12	34	36	20	24	58																																																
平成29年度	64	63	71	50	34	71																																																
本部	12	11	16	19	10	19																																																
計	127	114	166	178	140	203																																																
2 事務部門の専門性の向上	【目標値】 ・業務改善運動推進制度実績件数(総合、ごころ、本部)	2	116	①階層や職務に応じた効果的な研修の実施。 ②異動方針の弾力的な運用及び各部署におけるOJT(on-the-job training)をはじめとする人材の育成・研修の推進 ③診療情報管理機能の強化	事務改善運動推進制度実績件数 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">研修年度</th> <th colspan="2">総合</th> <th colspan="2">ごころ</th> <th colspan="2">本部</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>12</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>64</td> <td>63</td> <td>71</td> <td>50</td> <td>34</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>10</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>127</td> <td>114</td> <td>166</td> <td>178</td> <td>140</td> <td>203</td> </tr> </table>	研修年度	総合		ごころ		本部		実績	目標	実績	目標	実績	目標	平成27年度	6	0	6	0	5	0	平成28年度	12	34	36	20	24	58	平成29年度	64	63	71	50	34	71	本部	12	11	16	19	10	19	計	127	114	166	178	140	203	診療情報管理機能の強化を促すため、診療情報管理士資格の取得支援制度を活用し、必要な資格者を育成するとともに、適切な人員配置を行っている。
研修年度	総合		ごころ		本部																																																	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標																																																
平成27年度	6	0	6	0	5	0																																																
平成28年度	12	34	36	20	24	58																																																
平成29年度	64	63	71	50	34	71																																																
本部	12	11	16	19	10	19																																																
計	127	114	166	178	140	203																																																

中期目標	中期計画	年度計画	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																
<p>3 収益の確保と費用の節減</p> <p>新たな診療報酬の取得可能性やDPCの係数向上等について積極的に検討を行うほか、診療報酬制度の改定に迅速に対応し、収益の確保を図ること。また、診療報酬請求漏れの防止や未収金の発生防止及び早期回収に努めること。</p> <p>費用面においては、診療材料・医薬品等の適切な管理によるコスト削減に努めるほか、経営状況の分析を随時行い、費用対効果の改善に向けた進捗管理に取組むこと。</p>	<p>3 収益の確保と費用の節減</p> <p>診療報酬制度の改定に迅速に対応し、収益の確保を図る。また、様々な診療報酬の取得可能性やDPCの係数向上等について積極的に検討を行うほか、診療報酬請求漏れの防止、未収金の発生防止や早期回収に努める。費用面においては、診療材料・医薬品等の適切な管理によるコスト削減に努めるほか、経営状況の分析を随時行い、費用対効果の改善に向けた進捗管理に取組むこと。</p>	<p>3 収益の確保と費用の節減</p> <p>①平均在院日数の短縮に向け、取組む。 ②医薬品、診療材料の期限切れ廃棄の削減 ③未収金対策の強化 ④消費税増税対策</p>	<p>117</p> <p>①平均在院日数の短縮に向け、DPC入院期間Ⅱ以内での退院を促進する。 【こころ】①長期入院患者の退院促進に取り組む。</p>	<p>業務の実績</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合</td> <td colspan="2">28年度</td> <td colspan="2">29年度</td> <td colspan="2">30年度</td> <td colspan="2">31年度</td> <td colspan="2">32年度</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>58.2</td> <td>57.9</td> <td>61.3</td> <td>59.9</td> <td>61.4</td> <td>61.4</td> <td>61.3</td> <td>61.4</td> <td>61.3</td> <td>61.3</td> <td>61.3</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>58.2</td> <td>57.9</td> <td>61.3</td> <td>59.9</td> <td>61.4</td> <td>61.4</td> <td>61.3</td> <td>61.4</td> <td>61.3</td> <td>61.3</td> <td>61.3</td> </tr> </table>	DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度		区分	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	区	58.2	57.9	61.3	59.9	61.4	61.4	61.3	61.4	61.3	61.3	61.3	区	58.2	57.9	61.3	59.9	61.4	61.4	61.3	61.4	61.3	61.3	61.3	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>—</p>
DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度																																											
区分	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績																																										
区	58.2	57.9	61.3	59.9	61.4	61.4	61.3	61.4	61.3	61.3	61.3																																										
区	58.2	57.9	61.3	59.9	61.4	61.4	61.3	61.4	61.3	61.3	61.3																																										
<p>118</p> <p>②診療材料、薬品の廃棄状況を要因別・部門別に明らかにし、廃棄・破損について、削減のための対策を講じる。</p>	<p>119</p> <p>③No.106</p>	<p>120</p> <p>④消費増税の影響に対し、月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を図る。</p>	<p>118</p> <p>②診療材料、薬品の廃棄状況を要因別・部門別に明らかにし、廃棄・破損について、削減のための対策を講じる。</p>	<p>業務の実績</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">元年度末</td> <td colspan="2">28年度</td> <td colspan="2">29年度</td> <td colspan="2">30年度</td> <td colspan="2">31年度</td> <td colspan="2">32年度</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>5.097</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>5.097</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> <td>4.1839</td> </tr> </table>	元年度末		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度		区分	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	区	5.097	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	区	5.097	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>—</p>
元年度末		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度																																											
区分	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績																																										
区	5.097	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839																																										
区	5.097	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839	4.1839																																										
<p>119</p> <p>③No.106と同様</p>	<p>120</p> <p>④消費増税の影響に対し、月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を図る。</p>	<p>120</p> <p>④消費増税の影響に対し、月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を図る。</p>	<p>119</p> <p>③No.106と同様</p>	<p>業務の実績</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">理事会等における月次決算の報告回数</td> <td colspan="2">28年度</td> <td colspan="2">29年度</td> <td colspan="2">30年度</td> <td colspan="2">31年度</td> <td colspan="2">32年度</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </table>	理事会等における月次決算の報告回数		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度		区分	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	区	—	—	—	9	9	9	9	9	9	9	9	区	—	—	—	9	9	9	9	9	9	9	9	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>—</p>
理事会等における月次決算の報告回数		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度																																											
区分	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績																																										
区	—	—	—	9	9	9	9	9	9	9	9																																										
区	—	—	—	9	9	9	9	9	9	9	9																																										
<p>120</p> <p>④消費増税の影響に対し、月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を図る。</p>	<p>120</p> <p>④消費増税の影響に対し、月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を図る。</p>	<p>120</p> <p>④消費増税の影響に対し、月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を図る。</p>	<p>120</p> <p>④消費増税の影響に対し、月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を図る。</p>	<p>業務の実績</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">理事会等における月次決算の報告回数</td> <td colspan="2">28年度</td> <td colspan="2">29年度</td> <td colspan="2">30年度</td> <td colspan="2">31年度</td> <td colspan="2">32年度</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> <td>計画</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </table>	理事会等における月次決算の報告回数		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度		区分	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	区	—	—	—	9	9	9	9	9	9	9	9	区	—	—	—	9	9	9	9	9	9	9	9	<p>元年度実績 自己評価</p> <p>説明</p> <p>—</p>
理事会等における月次決算の報告回数		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度																																											
区分	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績																																										
区	—	—	—	9	9	9	9	9	9	9	9																																										
区	—	—	—	9	9	9	9	9	9	9	9																																										

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績	元年度実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とする。</p> <p>業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握するとともに、社会保障制度の改定や診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対して適切な対応を図る。中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図ること。</p>	<p>第4 予算、収支計画及び資金計画</p> <p>「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とする。</p> <p>業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握し、社会保障制度の改定や診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対しても適切な対応を図り、経営情報を職員が共有するなど、職員全員の経営意識の向上に努める。これら取組を通じて、中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図る。</p>	<p>第3 予算、収支計画、資金計画及び収支予算等</p>	<p>—</p>	<p>—</p> <p>・新施設設置取得などによる増収への取組みと業務見直しによる支出削減への取組みを効果的に進めることにより、各年度での3病院黒字化を図る。</p>	<p>業務の実績</p> <p>—</p> <table border="1" data-bbox="279 1624 391 1839"> <thead> <tr> <th colspan="2">経常収支の状況</th> <th colspan="2">(単位: %)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>101.9</td> <td>102.2</td> <td>100.4</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>101.9</td> <td>100.4</td> <td>100.8</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>32年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>33年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>34年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>35年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>36年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>37年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>38年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>39年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>40年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>41年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>42年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>43年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>44年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>45年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>46年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>47年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>48年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>49年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>50年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>51年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>52年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>53年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>54年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>55年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>56年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>57年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>58年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>59年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>60年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>61年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>62年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>63年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>64年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>65年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>66年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>67年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>68年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>69年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>70年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>71年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>72年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>73年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>74年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>75年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>76年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>77年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>78年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>79年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>80年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>81年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>82年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>83年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>84年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>85年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>86年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>87年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>88年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>89年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>90年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>91年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>92年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>93年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>94年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>95年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>96年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>97年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>98年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>99年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> <tr> <td>100年度</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> </tr> </tbody> </table>	経常収支の状況		(単位: %)		区分	26年度	27年度	28年度	26年度	101.9	102.2	100.4	27年度	101.9	100.4	100.8	28年度	100.6	100.6	100.6	29年度	100.6	100.6	100.6	30年度	100.6	100.6	100.6	31年度	100.6	100.6	100.6	32年度	100.6	100.6	100.6	33年度	100.6	100.6	100.6	34年度	100.6	100.6	100.6	35年度	100.6	100.6	100.6	36年度	100.6	100.6	100.6	37年度	100.6	100.6	100.6	38年度	100.6	100.6	100.6	39年度	100.6	100.6	100.6	40年度	100.6	100.6	100.6	41年度	100.6	100.6	100.6	42年度	100.6	100.6	100.6	43年度	100.6	100.6	100.6	44年度	100.6	100.6	100.6	45年度	100.6	100.6	100.6	46年度	100.6	100.6	100.6	47年度	100.6	100.6	100.6	48年度	100.6	100.6	100.6	49年度	100.6	100.6	100.6	50年度	100.6	100.6	100.6	51年度	100.6	100.6	100.6	52年度	100.6	100.6	100.6	53年度	100.6	100.6	100.6	54年度	100.6	100.6	100.6	55年度	100.6	100.6	100.6	56年度	100.6	100.6	100.6	57年度	100.6	100.6	100.6	58年度	100.6	100.6	100.6	59年度	100.6	100.6	100.6	60年度	100.6	100.6	100.6	61年度	100.6	100.6	100.6	62年度	100.6	100.6	100.6	63年度	100.6	100.6	100.6	64年度	100.6	100.6	100.6	65年度	100.6	100.6	100.6	66年度	100.6	100.6	100.6	67年度	100.6	100.6	100.6	68年度	100.6	100.6	100.6	69年度	100.6	100.6	100.6	70年度	100.6	100.6	100.6	71年度	100.6	100.6	100.6	72年度	100.6	100.6	100.6	73年度	100.6	100.6	100.6	74年度	100.6	100.6	100.6	75年度	100.6	100.6	100.6	76年度	100.6	100.6	100.6	77年度	100.6	100.6	100.6	78年度	100.6	100.6	100.6	79年度	100.6	100.6	100.6	80年度	100.6	100.6	100.6	81年度	100.6	100.6	100.6	82年度	100.6	100.6	100.6	83年度	100.6	100.6	100.6	84年度	100.6	100.6	100.6	85年度	100.6	100.6	100.6	86年度	100.6	100.6	100.6	87年度	100.6	100.6	100.6	88年度	100.6	100.6	100.6	89年度	100.6	100.6	100.6	90年度	100.6	100.6	100.6	91年度	100.6	100.6	100.6	92年度	100.6	100.6	100.6	93年度	100.6	100.6	100.6	94年度	100.6	100.6	100.6	95年度	100.6	100.6	100.6	96年度	100.6	100.6	100.6	97年度	100.6	100.6	100.6	98年度	100.6	100.6	100.6	99年度	100.6	100.6	100.6	100年度	100.6	100.6	100.6	<p>—</p> <p>消費増税等の影響により、病院経営は厳しさを増しているが、効果的な病院経営を推進した結果、経常収支比率100%以上の目標は3病院ともに達成できた。</p>
経常収支の状況		(単位: %)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	26年度	27年度	28年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
26年度	101.9	102.2	100.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
27年度	101.9	100.4	100.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
28年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
29年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
30年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
31年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
32年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
33年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
34年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
35年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
36年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
37年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
38年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
39年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
40年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
41年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
42年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
43年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
44年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
45年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
46年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
47年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
48年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
49年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
50年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
51年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
52年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
53年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
54年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
55年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
56年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
57年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
58年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
59年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
60年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
61年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
62年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
63年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
64年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
65年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
66年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
67年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
68年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
69年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
70年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
71年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
72年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
73年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
74年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
75年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
76年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
77年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
78年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
79年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
80年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
81年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
82年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
83年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
84年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
85年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
86年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
87年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
88年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
89年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
90年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
91年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
92年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
93年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
94年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
95年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
96年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
97年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
98年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
99年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
100年度	100.6	100.6	100.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>中期目標</p>	<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>No</p>	<p>行動計画</p>	<p>業務の実績</p>	<p>元年度実績 自己評価</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p>	<p>第4 予算、収支計画及び資金計画</p>	<p>第3 予算、収支計画、資金計画及び収支予算等</p>	<p>121</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握し、社会保障制度の改定や診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対して適切な対応を図る。中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図ること。</p>	<p>「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とする。</p> <p>業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握し、社会保障制度の改定や診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対しても適切な対応を図り、経営情報を職員が共有するなど、職員全員の経営意識の向上に努める。これら取組を通じて、中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図る。</p>	<p>第3 予算、収支計画、資金計画及び収支予算等</p>	<p>121</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

(参考) 用語解説

用語 (50音順)	解 説
ACT	ACTとは、Assertive Community Treatment(包括型地域生活支援プログラム)の略で、重い精神障害を持つ人たちに対して、住み慣れた地域で支援する、集中型・包括型ケースマネジメントプログラム。
CCU	CCUとは、Coronary Care Unitの略で、冠疾患集中治療室と呼ばれ、主に心筋梗塞などの冠動脈疾患の急性危機状態の患者を収容し、専門の医師・看護師により、厳重な監視モニター下で持続的・集中的に管理・治療する部門。 ※こども病院では、CCUをCardiac(心臓病の)ICUと位置付けている。
DMAT	DMATとは、Disaster Medical Assistance Teamの略で、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持ち、専門的な訓練を受けた医療チーム(DMAT:ディーマツト)
DPAT	DPATとは、disaster psychiatric assistance teamの略で、大規模災害発生後、被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う災害派遣精神医療チーム(DPAT:ディーパツト)
DPC	DPCとは、Diagnosis Procedure Combinationの略で、診断群分類のこと。これに基づく診断群分類包括評価(しんだんぐんぶんるいほうかつひょうか)により、日本の急性期入院医療費の定額支払制度が平成18年から(試行は平成15年から)運用されている。(総合:H20.7導入、こども:H21.7導入)
ESCO	ESCOとは、Energy Service Companyの略で、1970年代アメリカで始まり、1990年代後半に日本に導入された省エネ化を目指す事業で、省エネルギーに関わる一連の業務を一括して請け負うことや、計画した省エネ効果が出なかった場合、省エネ相当分を顧客に補償する義務を負うことなどが特徴。
HCU	HCUとは、High Care Unitの略で、集中治療室に準ずる機能を持つ高度な治療室。看護配置数は集中治療室の1/2であるが、一般の病棟よりはるかに多いため両者の中間に位置する病室。集中治療室から一般病棟への転室は落差が大き過ぎ、移行が難しいため、一般病棟への移行を円滑に行うために設置される。手術後の患者や集中治療を脱した重症患者の経過観察を受け持つことが多い。
ICU	ICUとは、Intensive Care Unitの略で、集中治療室と呼ばれ、内科系・外科系を問わず呼吸、循環、代謝そのほかの重篤な急性機能不全の患者を収容し、強力かつ集中的に治療看護を行う部門。
m-ECT	m-ECTとは、修正型電気けいれん療法で麻酔科医による全身麻酔の下、筋弛緩剤の投与により体幹のけいれんを起こさせないもので、うつ病、躁うつ病、統合失調症などの治療に用いられており、従来の有けいれん療法に比べ、安全で有効な治療法とされている。
MFIUCU	MFIUCUとは、Maternal Fetal Intensive Care Unitの略で、重い妊娠中毒症、前置胎盤、合併症妊娠、切迫早産や胎児異常など、ハイリスク出産の危険度が高い母体・胎児に対応するための設備と医療スタッフを備えた集中治療室
MSW	MSWとは、Medical Social Workerの略で、疾病を有する患者が、病気になることで生じる生活上の様々な困難に対して、自立した生活を送ることができるように、社会福祉の立場から、患者の生活全体を支援していく専門家のこと。
NICU	NICUとは、Neonatal Intensive Care Unitの略で、未熟児をはじめとするハイリスク新生児は専門的な医療機関で集中治療・管理する必要がある、このような医療を展開する場所全体を一般的に広義の新生児集中治療室と呼んでいる。
PCI	血管に刺入する管(カテーテルという)を用いて冠動脈疾患に様々な治療を行うことを総称して(経皮的)冠動脈インターベンション(PCI)と呼ぶ。 風船療法(カテーテルの先端の風船(バルーン)で狭窄した冠動脈を拡げる)や経皮的冠動脈ステント留置術(拡げた冠動脈にステントという金属のコイルを内側に張り付けて血管を支え再狭窄を防ぐ)やDCA(カッターで狭窄病変部位を削り取り拡げる治療法)やローターブレードというドリルのような先端を回転させて病変を削り取るなどの治療法がある。

用語 (50音順)	解 説
P E T	P E Tとは、Positron Emission Tomography (ポジトロン・エミッション・トモグラフィ)の略で、PET検査とは、陽電子 (ポジトロン) を放出する放射性核種 (ポジトロン核種) で標識した薬剤を静脈から注射して、細胞の活動状態を画像化する診断技術である。 がん等の診断、治療効果・治療後の経過観察に有用な最先端の検査法で、同様にがんの早期発見にも有用である。
P I C U	P I C Uとは、Pediatric Intensive Care Unitの略で、小児集中治療室と呼ばれ、専属の専門医が配置され独立病棟として24時間小児重症患者を受け入れている。
P S W	P S Wとは、Psychiatric Social Workerの略で、精神保健福祉士と言い、社会福祉学を学問的基盤として、精神障害者の抱える生活問題や社会的問題の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通じて、患者を支援していく専門家のこと。
S P D	S P Dとは、Supply Processing Distributionの略で、物品・物流の包括的管理業務のことを指す。物品の発注、検収、入庫、払出、搬送、格納、出庫、在庫確認、棚卸を一元管理すること。
T A V I	T A V Iとは、Transcatheter Aortic Valve Implantationの略で、「経カテーテル大動脈弁留置術」と訳されます。T A V Iは、胸を開かずに、心臓が動いている状態で、カテーテルを用いて人工弁を患者の心臓に装着する治療法である。
葵カード	連携安心カードともいい、病院から診療所に紹介する際に、病状悪化等で入院が必要になった場合に、葵カードを提示すれば県立総合病院が必ず対応するので安心してください、という意味で患者に渡すカードのこと。静岡市では、医師会と各病院が、病院の医師と診療所の医師の両方が役割分担して連携して患者を診る仕組みを運用している。
医療観察制度	心神喪失又は心神耗弱の状態で大変な他害行為を行った人を対象として、国の責任による手厚い専門的な医療と、退院後の継続的な医療を確保するための仕組み等によって、その円滑な社会復帰を促進することを目的とした制度であり、こころの医療センターにおいては、平成21年3月24日付で指定入院医療機関指定書（東海北陸厚生局長指定、第0004号）により指定入院医療機関として指定された。
医療秘書（医師事務作業補助者）	クラークとも言われ、病院勤務医の負担軽減を図るため、医師の事務作業を補助する職員のこと。 医師の指示の下、診断書の文章作成補助、診療記録への代行入力、医療の質の向上に資する事務作業（診療に関するデータ整理、院内がん登録等の統計・調査、医師の教育や臨床研修のカンファレンスのための準備作業等）並びに行政上の業務（救急医療情報システムへの入力等）への対応を行う。
看護師修学資金制度	当機構への就職を希望する看護学生に対して、資質の向上に資することを目的に修学資金（月5万円）を貸与する制度のこと。なお、当機構に看護師として就職した期間に相当する額の返還が免除される。 また、既に静岡県外の病院等から貸与を受けている同種の修学資金に対して、借り換えをするための資金（返還資金）を貸与するメニューも用意している。
緩和ケア	主に治癒を目的とする治療ではなく、全人的なケアで、痛み、その他の症状コントロール、心理面、社会面、精神面のケアを行うもの。
がんセンターボード	がんの症例について、手術・化学療法・放射線治療・緩和医療、画像診断、病理診断等、院内のがん診療・診断に携わる医師をはじめ、看護師、薬剤師等関連する専門職が、診療科や職種の垣根を越えて一堂に集まって、さらに連携する地域の医療者（医師会の医師、看護師、薬剤師、訪問看護師、介護関係職等）にも参加してもらい、それぞれの専門的な知識・技能を集約して、がん患者の症状・状態や治療法・治療方針等の情報を共有して意見交換し、最適な治療方針を協議・決定する場のことを言う。

用語（50音順）	解 説
クリニカルパス	<p>クリニカルパスとは、ある病気の治療や検査に対して、標準化された患者様のスケジュールを表にまとめたもので、1つの治療や検査ごとに1つずつ作られている。</p> <p>クリニカルパスには、病院用、患者様用と2つ準備されており、患者用クリニカルパスには、「入院診療計画書」として、患者が入院してからの食事や処置、検査・治療、そのための準備、退院後の説明等が日ごとに詳しく説明されている。</p>
クロザピン	<p>クロザピンは抗精神病薬で、H21.4月に製造承認され、7月より発売開始となった。クロザピンの使用にあたっては、高い治療効果の反面、重篤な副作用（白血球の減少）が報告されていることから、安全管理体制の整備が義務付けられている。</p>
固定チームナーシング	<p>入院患者への看護は、24時間体制で求められている。しかし、看護師ひとりでは、対応しきれないため、「看護提供方式」を活用して24時間の看護を提供している。「固定チームナーシング」は、いくつかある看護提供方式の内のひとつの方式のこと。</p> <p>1年間固定したチームメンバーで活動することを原則に、チームで患者の看護を行う方式である。固定チームの受け持ち患者を分担して受け持ち、入院から退院まで24時間チームメンバーにより看護が展開される。看護師メンバーが固定されることで、継続的な看護が提供される。</p>
コーディング	<p>疾病や手術、検査などをコード化する仕事。</p> <p>最近、病院では診療情報を活用するために、あるいはDPCやがん登録などの国の制度の義務付けにより、標準化されたコードへのコーディングとそのシステムへの登録が必要となり、そのためコーディングする人の需要が、増えている。正しいコーディングのためには、コード体系の知識とともに医学知識やカルテを読み解く能力が要求される。</p> <p>疾病のコーディング：膝の関節炎⇒M13.96（Mは骨・筋肉などを示す。13は関節炎を示す。9は詳細不明を示す。6は膝を示す）</p>
コメディカル	<p>薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・歯科衛生士・理学療法士・作業療法士などの、医師・看護師以外の医療従事者の総称のこと。</p>
ジェネリック医薬品（後発医薬品）	<p>特許権が消滅した医薬品について、特許権者ではなかった医薬品製造メーカーがその特許権の内容を利用して製造した医薬品のこと。</p>
紹介率・逆紹介率	<p>・紹介率とは、初診患者のうち、他の医療機関から紹介状により紹介された患者の数が占める割合のことである。</p> $\text{紹介率} = (\text{初診患者のうち紹介患者数}) \div \text{初診患者数} \times 100$ <p>・逆紹介率とは、地域医療支援病院の全患者のうちから他の医療機関に紹介した者で、診療情報提供料を算定したもの数（同一人に複数回又は複数紹介先算定の場合あり）と、初診患者の総数との比較のことである。</p> $\text{逆紹介率} = \text{逆紹介患者数} \div \text{初診患者数} \times 100$
初期臨床研修医 後期臨床研修医	<p>免許取得の後に、臨床研修の名で上級医の指導の下に臨床経験を積む卒後教育が制度化された。病院独自に「前期・後期研修医」の名称を使用することがあるが、研修医（広義、1-5年目程度）= 研修医（狭義、=前期研修医、1-2年目）+ 後期研修医（3-5年目程度）としていることが一般的である。</p> <p>一般に「研修医」の語を使う場合、「前期研修医」を指す。後期研修医とほぼ同義の語として、専修医、修練医、などがあるが、各々の病院独自のものである。</p>
新専門医制度	<p>新専門医制度とは、平成29年度以降に専門研修を開始する医師を主な対象として開始を予定していた制度で、今まで各学会が独自に定めた基準により認定をしていた専門医資格を、中立的第三者機関である日本専門医機構が統一的に専門研修プログラムの審査・承認を行い、承認を受けたプログラムに基づいて専門研修施設群がカリキュラムの修了を判定。その判定をもとに日本専門医機構が専門医の認定を行うものとされていたものである。</p> <p>ただし、医師の地域偏在への懸念が解消されなかったことから1年の延期が決定された。（小児科学会（小児科専門医）はH29より先行実施）</p>

用語（50音順）	解 説
心理教育・家族教室	<p>心理教育とは、精神障害やエイズなど受容しにくい問題を持つ人たちに、病気に関する必要な基礎知識を提供するとともに、療養生活を営む自信と地域で暮らしていく力量を身につけ、医療機関で提供される各種リハビリテーションプログラムや、地域の援助プログラムを主体的に利用することを促すことによって、医療機関における治療や援助から、精神障害者を日常的に支える地域リハビリテーションへの連続的な移行を目指して行う支援法のこと。</p> <p>患者の家族だけを対象に行う支援を家族教室と言う。</p>
心理・社会的治療	<p>精神科における薬物療法と電気けいれん療法以外の心理療法的プログラムの総称で、多職種のチーム医療が原則である。</p> <p>デイケア、作業療法、認知行動療法、心理教育・家族教室、ACTなどの各種治療法を含む。</p>
診療情報管理士	<p>診療情報管理士とは、四病院団体協議会（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会）および医療研修推進財団が資格付与する民間資格のこと。</p> <p>主な業務内容として、診療録の物理的な管理や内容の精査を行う「物の管理」、診療情報をコーディングするなどしてデータベースを構築する「情報の管理」、構築されたデータベースから必要な情報を抽出・加工・分析する「情報の活用」がある。</p>
ダ・ヴィンチ	<p>3D画像を確認しながら、離れた場所からロボットアームを操作して内視鏡下手術を行うもので、皮膚切開を最小限にすることで、患者の負担をできるだけ抑えることが可能（術中の出血量が少ない、術後の疼痛が少ない）。</p>
地域医療支援病院	<p>1997年（平成9年）4月の医療法の第3次改正で制度化された医療機関の機能別区分のひとつ。</p> <p>目的としては、地域の病院、診療所などを後方支援するという形で医療機関の役割分担と連携を目的に創設された。都道府県知事によって承認される。</p> <p>（承認要件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の規模は原則として病床数が200床以上の病院であること。 ・紹介率及び逆紹介率が基準を満たしていること。 ・他の医療機関に対して高額な医療機器や病床を提供し共同利用すること。 ・地域の医療従事者の向上のための生涯教育等の研修を実施していること。 ・救急医療を提供する能力を有すること。
地域連携クリニカルパス	<p>病院の医師と診療所の医師、疾患によってはリハビリ施設など地域の医療提供施設が役割分担して連携して患者を診る仕組みの中で、疾患別に、以降の診療予定をスケジュール表の形式で表わしたもの。患者は診療所にいつ受診し、病院にいつ受診し、あるいはリハビリ施設にいつ受診し、どういう治療を受けるのかが分かり、医療施設は患者の診療の進捗管理をし、施設間で情報を共有するために使われる。診療報酬点数表上では、疾患が限られているが、「地域連携計画書」といい、計画管理料や退院時指導料等が算定できる。</p>
ドクターカー	<p>平成20年4月25日に道路交通法施行令の一部が改正され緊急自動車の指定対象に追加された乗用車型のドクターカー（患者搬送のための特別な構造又は装置を有しない医師派遣用自動車）。静岡市消防局の要請により「ドクターカー」に当院の救命救急センターのスタッフが搭乗し、災害や事故の現場に急行したり、搬送途中の救急車とドッキングして治療を開始する。</p>
認知行動療法	<p>認知行動療法とは、人間の気分や行動が認知のあり方（ものの考え方や受け取り方）の影響を受けることから認知の偏りを修正し、問題解決を手助けすることによって精神疾患を治療することを目的とした精神療法であり、2010年から、一部保険点数化がされた。</p>
認定看護師	<p>認定看護師とは、日本看護協会及び日本精神科看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、水準の高い看護実践を通して看護師に対する指導・相談活動を行う者をいう。</p>

用語（50音順）	解 説
ハイブリッド手術室	<p>据置型血管撮影装置（アンギオ）を設置した手術室であり、カテーテル血管内治療と外科的手術の双方に対応が可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併症などの緊急時の対応が可能。（カテーテル治療から外科的手術への移行） ・手術のみでは到達困難な部位に対する治療が可能。 ・カテーテルのみでは治療できない緊急時の病変に対しても外科的手術を同時に行うことで対応が可能。 ・鮮明な透視画像により治療精度が向上
マイトラクリップ (M i t r a C l i p)	<p>マイトラクリップ (M i t r a C l i p) とは、手術リスクの高い僧帽弁閉鎖不全症患者に対して行う経カテーテル僧帽弁クリップ術である。</p> <p>2003年にヨーロッパで始まり、欧米を中心に6万人以上の治療実績を有する。日本では2017年10月に認可があり、全国12施設で約300症例に対して治療が行われている。</p>
リニアック	<p>リニアックとは、日本語では「直線加速器」といわれるもので、荷電粒子を一直線上で加速させて発生した放射線を当てることで、がんなどの治療をする機器です。</p> <p>多方向からピンポイントで放射線を当てることにより、正常組織への放射線の照射量を低減し、腫瘍部分の放射線量が高くなり細胞を死滅させる治療方法。</p>
レジデント	<p>初期臨床研修医はジュニアレジデント、初期レジデント、スーパーローテーターなどと呼ばれ、それ以降に専門科での研修を行うものを単にレジデントと呼んだり、後期研修医、後期レジデント、シニアレジデント、専攻医などと呼ばれている。</p>